

特定非営利活動法人日本歯科保存学会 2026年度評議員会・総会次第

日時 2026年6月4日（木）13:30-14:50

場所 鎌倉芸術館（第1会場・大ホール）

1. 開会の辞（村松 敬 財務担当理事）

2. 理事長挨拶（北村 知昭 理事長）

3. 大会長挨拶（向井 義晴 大会長）

4. 黙祷

5. 議長・副議長選出

6. 議事録署名人の確認

7. 報告事項

1) 理事長報告

2) 会務報告

(1)総務関係報告(野杻常任理事) P.1~4

(2)財務関係報告(村松常任理事)

(3)機関誌関係報告(武市常任理事) P.5

(4)各種委員会委員追加、ならび幹事交代について(北村理事長) P.6

3) 各種委員会報告

(1)編集委員会(武市委員長) P.7

(2)医療合理化委員会(前田委員長) P.8~15

(3)教育問題委員会(山田委員長) P.16

(4)学術委員会(河野委員長) P.17~20

(5)学会のあり方委員会(横瀬委員長) P.21

(6)学術用語委員会(増田委員長) P.22

(7)渉外委員会(吉村委員長) P.23

(8)国際交流委員会(齋藤委員長) P.24~29

(9)認定委員会(諸富委員長) P.30~35

(10)認定歯科衛生士審査委員会(湯本委員長) P.36~38

(11)広報委員会(野杻委員長) P.39

(12)表彰委員会(柴委員長) P.40~44

(13)定款委員会(柴委員長) P.45

(14)倫理/COI委員会(向井委員長) P.46

(15)選挙管理委員会(山本委員長) P.47

(16)積立金管理運用委員会(北村委員長)

4) その他の報告

(1)2025年度秋季学術大会(第163回)開催報告(吉村大会長) P.48~52

(2)2026年度秋季学術大会(第165回)準備状況報告(増田大会長) P.53

(3)今後の学術大会の開催予定と今年度の年間スケジュール(北村理事長) P.54

(4)70周年記念式典について(北村理事長) P.55~56

(5)日本歯科医学会報告(北村理事長) P.57~61

(6)日本歯科医学会連合報告(北村理事長) P.62

(7)日本歯科専門医機構報告(北村理事長、島田歯科保存専門医認定委員長) P.63~67

(8)日本学術会議関係報告(北村理事長) P.67

(9)日本歯学系学会協議会報告(北村理事長) P.68

(10)歯学系学会社会保険委員会連合会報告(北村理事長)

(11)消費税・インボイス対応について(北村理事長、村松常任理事) P.69

(12)その他

・厚生労働省 「歯科健診等のあり方等に関する検討会」

構成委員推薦のお願い(北村理事長) P.69

・歯科再生医療推進ネットワーク協議会報告(河野委員長) P.69~70

・「学術大会時等における学会発表とプレスリリースにおける申し合わせ」制定について

(向井委員長) P.71

8. 協議事項

- 1) 次期理事長選挙結果の件(山本委員長) P.72
- 2) 理事（1・2号）承認の件(北村理事長) P.73
- 3) 次期4号理事（臨床医）について(吉村委員長) P.74
- 4) 名誉会員承認の件(北村理事長) P.74
- 5) 2025年度事業報告の件(北村理事長) P.75
- 6) 2025年度決算報告の件(監査報告)(村松常任理事、中村監事、桃井監事) P.76～88
- 7) 2026年度事業計画(案)の件(北村理事長) P.89
- 8) 2026年度予算(案)の件(村松常任理事) P.90～94
- 9) 学会認定医・上級医英語表記について(諸富委員長) P.95
- 10) Cons Asia（アジア保存歯科学会）への加入について(齋藤委員長) P.95
- 11) その他

9. 閉会の辞（向井 義晴 副理事長）

7. 報告事項

2) 会務報告

(1) 総務関係報告(野杵常任理事)

1. 会員数について (2026年3月31日現在)

・会員総数：4,775人

| | | | |
|----|-------------|--------|-----------------------------|
| 内訳 | 名誉会員 | 98人 | |
| | 正会員 | 4,578人 | |
| | (うち資格所持者内訳) | | |
| | 認定医 | 778人 | |
| | 上級医 | 483人 | 歯科保存専門医 243人 (含、歯内療法学会分) |
| | 指導医 | 111人 | 歯科保存専門医指導医 173人 (含、歯内療法学会分) |
| | (うち会費区分) | | |
| | 正会員A | 4,236人 | |
| | 正会員B | 342人 | |
| | 賛助会員 | 31社 | |
| | 外国会員 | 5人 | |

・会員動向 (2025年4月1日～2026年3月31日)

新入会員 290人 (正会員A 233人、正会員B 56人、賛助会員 1社)

退会会員 272人 (名誉会員3人 (ご逝去)、正会員A 245人、正会員B 23人、賛助会員 1社)
うち4年未納者9月末退会処理：正会員A 116人、正会員B 5人)

2. 会費納入率 (2026年3月31日現在：正会員AおよびB 4,578人)

完納者 3,821人 (納入率：83.4%、2025年度同時期納入率：78.6%)

未納者 757人

| | | |
|----|---------------------|------|
| 内訳 | 1年未納者 (2025年) | 447人 |
| | 2年未納者 (2024年～2025年) | 199人 |
| | 3年未納者 (2023年～2025年) | 111人 |

3. 日本歯科医師会・日本歯科医学会・日本歯科医学会連合・日本歯科専門医機構

(2025年10月1日～2026年3月31日)

| | |
|--------|---|
| 10月1日 | 日本歯科医学会より「歯科におけるオンライン診療に関する研修について」を拝領し、理事各位へ報告した。 |
| 10月1日 | 日本歯科医学会より「(ご依頼) 歯科医師国家試験出題基準改定について」を拝領し、理事各位へ報告した。集まった意見を執行部で確認の上、回答した。 |
| 10月10日 | 日本歯科心身医学会より「歯科専門医機構共通研修単位認定連携のご依頼」があった。執行部で検討した結果、お断りの旨、回答した。 |
| 10月21日 | 日本歯科医学会より、「令和7年度 医療事故調査制度に係る管理者・実務者セミナー」の開催について」を拝領し、理事各位へ報告した。 |
| 10月22日 | 日本歯科医学会より「令和7年度助成金の交付等について (通知)」を拝領した。 |
| 10月27日 | 日本歯科医学会より「令和7年度9月末 会員数の照会について (依頼)」を拝領し、事務局にて回答した。 |
| 10月16日 | 日本歯科医学会より「令和7年度プロジェクト研究費申請公募についてご依頼」を拝領し、理事各位へ報告した。 |
| 10月30日 | 日本歯科医学会連合より「CST事業について (照会)」を拝領し、第2回理事会にて協議し、未定と回答した。 |
| 10月30日 | 日本歯科専門医機構より「令和7年度第2回臨時社員総会 (メール会議)」を拝領し、承諾の旨回答した。 |
| 10月30日 | 日本歯科医学会より令和7年度9月末 会員数の照会について (依頼) を拝受し、事務局にて回答した。 |
| 10月31日 | 日本歯科専門医機構より「2025年度第2期運用審査申請のお願い (期限11/28 17:00) と2024年第2期運用審査ヒアリング指摘事項回答お願い」を拝受した。ヒアリング |

指摘事項に関してはすでに回答済みの旨、返答した。

| | |
|--------|---|
| 11月4日 | 日本歯科医学会より「日本歯科医学会誌第45巻への執筆（依頼）」を拝受し、北村理事長が「学会活動報告」について執筆され、提出した。 |
| 11月6日 | 日本歯科専門医機構より「役員候補者選考会議」の委員候補者に係るご意見についてを拝受し、異議なしと回答した。 |
| 11月7日 | 日本歯科医学会より都道府県別医療事故報告件数について(情報提供)を拝受した。 |
| 11月11日 | 日本歯科医師会より「公益財団法人8020推進財団 財団設立25周年記念フォーラム開催のご案内について」が届き、理事に周知した。 |
| 11月19日 | 日本歯科医学会より「献血血液の研究開発等への仕様に関する公募の実施について」を拝領し、事務局保管とした。 |
| 11月21日 | 日本歯科医学会より「令和8年度専門分科会総会開催等の照会について」を拝受し、事務局にて回答した。 |
| 12月1日 | 日本歯科医学会より「歯科におけるオンライン診療に関する研修について」を拝領し、理事各位へ報告した。 |
| 12月12日 | 日本歯科医学会連合より「会員数の照会について（依頼）」を拝領し、事務局にて回答した。 |
| 12月15日 | 日本歯科医学会より「【情報提供】オーラ注歯科用カートリッジ1.0mL・1.8mL 出荷再開のご案内」を拝領し、理事各位へ報告した。 |
| 12月16日 | 日本歯科医学会より、「（ご依頼）令和8年度診療報酬改定における基本的な考え方の作成等について」を拝領し、社会保険小委員会にて対応することとした。 |
| 12月24日 | 日本歯科医学会および日本歯科医師会より「特定細胞加工物等の製造の許可証及び認定証の書換え交付及び再交付の電子申請について」を拝領した。 |
| 12月24日 | 日本歯科専門医機構より、「次期役員候補者推薦について」を拝領し、北村知昭理事長を推薦することとした。 |
| 12月26日 | 日本歯科専門医機構より「令和7年度臨時社員総会のご案内（3月5日開催）」を拝領し、島田康史歯科保存専門医認定委員会・委員長が出席予定の旨、回答した。 |
| 1月6日 | 日本歯科医学会より「第41回歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集いについて」のポスターと抄録を拝領し、理事各位へ報告した。 |
| 1月13日 | 日本歯科医学会連合より「日本歯科医学会連合雑誌」を拝領した。 |
| 1月16日 | 日本歯科医学会より「（中医協総会）医療技術の評価について」（情報提供）を拝領した。 |
| 1月19日 | 日本歯科医師会より「「AMR対策歯科臨床セミナー」の開催について」を拝受し、理事各位へ報告した。 |
| 1月21日 | 日本歯科医師会より「日本歯科医師会への入会について」を拝領し、理事各位へ報告した。 |
| 1月27日 | 日本歯科医学会連合より「オンデマンド研修システム」に関するアンケート調査協力依頼を拝領し、北村理事長が回答した。 |
| 1月28日 | 日本歯科医学会より、都道府県歯科医師会社会保険担当理事連絡協議会（令和8年度診療報酬改定に係る改定内容の説明会）（3月7日開催）の案内が届き、細矢哲康社会保険対策小委員長出席と回答した。 |
| 2月5日 | 歯科保存専門医制度運用審査が日本歯科専門医機構で行われ、島田康史歯科保存専門医認定委員会委員長、諸富同認定小委員会委員長が出席した。 |
| 2月10日 | 日本歯科医師会より、【情報提供】セプトカイン配合注カートリッジ 限定出荷解除のお知らせが届き、理事各位へ報告した。 |
| 2月13日 | 日本歯科医学会より「（中医協総会）令和8年度診療報酬改定についての答申書（情報提供）」が届き、医療合理化委員会前田英史委員長と社会保険小委員会委員へ報告した。 |
| 2月16日 | 日本歯科医師会より、【情報提供】セプトカイン配合注カートリッジ 再度限定出荷に関するお詫びとお知らせが届き、理事各位へ配信した。 |
| 2月19日 | 日本歯科医学会より「第117回評議員会の決定事項について」が届いた。 |
| 2月19日 | 日本歯科医学会より「令和8年度 診療ガイドライン作成のためのワークショップ」が届き、全会員へ配信した。 |
| 2月18日 | 日本歯科医学会連合より「2026年度 学会活動の情報提供のお願い」が届き、事務 |

| | |
|-------|--|
| | 局にて回答した。 |
| 2月19日 | 日本歯科医学会より「日本歯科医学会第117回評議員会の決定事項について」を拝領し、常任理事会にて報告した。 |
| 2月26日 | 日本歯科医学会より「世界口腔保健デー記念特別講演会のお知らせ(3月19日開催)」の案内が届き、理事各位へ配信した。 |
| 3月5日 | 日本歯科医学会より「令和8年度診療報酬改定に係る留意事項通知等について」を受領した。社会保険対策小委員会へ報告した。 |
| 3月5日 | 日本歯科専門医機構令和7年度臨時社員総会がAP市ヶ谷で開催され、島田歯科保存専門医認定委員会委員長が出席した。 |
| 3月6日 | 日本歯科医学会より「令和8年度プロジェクト研究に係る公募用テーマの募集について」を受領した(提出〆切:4月10日)。理事各位へ意見を募った。 |
| 3月7日 | 都道府県歯科医師会社会保険担当理事連絡協議会が歯科医師会館で開催され、細矢社会保険対策小委員会委員長が出席した。 |
| 3月13日 | 日本歯科医学会連合より「国際活動委員会フォーラム2026開催のご案内」を受領した。 |
| 3月16日 | 日本歯科医学会より「学会誌第45巻オンラインジャーナル掲載のご報告とアンケート回答のお願い」「都道府県別医療事故報告件数について」が届き、理事各位へ配信した。 |
| 3月26日 | 日本歯科医学会より「オーラ注歯科用カートリッジ1.8mL 出荷状況のご案内(第11報)」が届き、理事各位へ配信した。 |
| 3月31日 | 日本歯科医学会より「医療事故調査・支援センター2025年年報の公表について」「医療法施行規則の一部を改正する省令等の公布等について」が届き、理事各位へ配信した。 |

4. 日本学術会議・日本歯学系学会協議会・歯学系学会社会保険委員会連合・文部科学省・厚生労働省(2025年10月1日～2026年3月31日)

| | |
|---------------|--|
| 10月31日 | 歯保連より「『歯保連試案2025』最終稿修正について」を拝領し、社会保険小委員会へ報告した。 |
| 10月31日 | 歯保連より「2025年度第1回総会議事録要旨」を拝領した。 |
| 11月25日 | 日本歯学系学会協議会より「被選挙人(次期理事)候補者推薦について(依頼)」を拝受し、北村理事長を被選挙人として推薦した。 |
| 3月16日 -31日 | 歯学系学会社会保険委員会連合より「2026-27年度役員改選に関するメール会議」が開催された。協議の結果、承認された。 |

5. 役員会・委員会等の開催(2025年10月1日～2026年6月6日)

2025年

- 10月 3日 第2回常任理事会
- 10月 4日 2025年度第2回歯科保存専門医筆記試験
- 10月13日 第1回上級医試験(追加日程)
- 10月27日 診療ガイドラインに関するWeb講演会
- 11月 5日 第2回理事会、各種委員会
- 11月 6日 社会保険対策小委員会
- 11月 7日 編集連絡委員会
- 11月 7日-8日 う蝕治療ガイドライン小委員会
- 11月17日 歯科保存専門医認定委員会
- 11月18日-25日 第2回理事会
- 11月23日 学会設立70周年記念式典
- 12月19日 第3回常任理事会

2026年

- 1月22日 学会のあり方委員会
- 1月26日 表彰委員会・編集委員会
- 2月 5日 歯科保存専門医制度運用審査
- 2月10日 選挙管理委員会

- 2月27日 第4回常任理事会
- 3月 1日 2025年度第2回上級医試験（1日目）
- 3月 8日 2025年度第2回上級医試験（2日目）ならびに認定医試験
- 4月14日 学術委員会
- 4月30日 会計監査、ならびに常任理事会
- 5月 7日 歯科保存専門医認定委員会
- 5月26日 学会のあり方委員会
- 6月 3日 各種委員会ならびに理事会
- 6月 4日 総会ならびに社会保険小委員会
- 6月 6日 2026年度第1回歯科保存専門医筆記試験

6. その他（2026年12月1日～2026年3月31日）

- 12月1日 公益社団法人日本歯科衛生士会より「創立75周年記念式典祝賀会のご案内」が届き、向井副理事長出席予定の旨、返答した。
- 1月5日 日本学術会議より「協力学術研究団体における男女共同参画推進状況に関するアンケート調査について」を拝領し、事務局にて回答した。
- 1月8日 日本学術会議より「研究者の交流・ネットワークに関する調査（2024年対象調査）のお願い」を拝領し、事務局にて回答した。
- 1月13日 日本学術会議より「日本学術会議会員候補者の推薦について」を拝領し、北村理事長を推進することとした。
- 2月4日 厚生労働省歯科保健課より「歯科健診等のありかた等に関する検討会」構成委員推薦のお願いを拝領し、北村理事長を被推薦者として回答した。
- 2月12日 歯科再生医療推進ネットワークより「第11回協議会開催のご案内」を拝領し、高柴先生出席として回答した。
- 2月22日 日本歯科衛生士会創立75周年記念式典が開催され、向井副理事長が出席した。
- 3月26日 大学改革支援・学位授与機構より「国立大学教育研究評価に係る専門委員の選出について（ご報告）」を受領した。

(2)財務関係報告(村松常任理事)

年度初めのため、特にございませぬ。

(3)機関誌関係報告(武市常任理事)

機 関 誌 関 係 報 告

(R7.11.7~R8.6.2)

学会誌の発行および編集状況

- 1) 第69巻1号の発行について
令和8年2月28日発行
〈掲載論文〉
総説：宮崎真至先生
ミニレビュー(学術賞受賞者)：大倉直人先生，新海航一先生
一般投稿：5編[修復(1)，歯内(1)，歯周(2)，その他(1)]
〈その他の掲載内容〉
総会議事録，定款，倫理規程，役員・委員会名簿，編集連絡委員名簿，投稿規程，投稿の手引き，編集後記(長野孝俊委員)，賛助会員名簿，投稿票
- 2) 第69巻2号の発行について
令和8年4月30日発行
〈掲載論文〉
総説：宮治裕史先生(秋季学術大会認定研修会)
総説：栗原慎太郎先生(秋季学術大会専門医機構共通研修)
誌上シンポジウム(2025年秋季学術大会)：
和田尚久先生・増田宣子先生(座長)，北村和夫先生，樋口 惣先生，山口文誉先生
一般投稿：5編[修復(4)，歯内(0)，歯周(1)，その他(0)]
〈その他の掲載内容〉
秋季学術大会大会長挨拶，秋季学術大会案内，市民フォーラム開催記，投稿規程，編集後記(前田博史委員)，賛助会員名簿，投稿票
- 3) 第69巻3号の発行について
令和8年8月31日発行予定
〈掲載予定論文〉
総説：湯本浩通先生 (2025年秋季歯科衛生士教育講演)
誌上シンポジウム (2025年秋季学術大会歯科衛生士シンポジウム)：
亀山敦史先生 (座長)，有水智香先生，下田哲子先生，久保田祥子先生
一般投稿：3編[修復(1)，歯内(0)，歯周(1)，その他(1)]
〈その他の掲載内容〉
優秀発表賞受賞者，投稿規程，編集後記 (山田 聡委員)，賛助会員名簿，投稿票，認定医制度規則・施行細則，専門医制度規則・施行細則
- 4) “Operative Dentistry, Endodontology and Periodontology”5巻1号について
令和7年12月31日発行
〈掲載論文〉
10編 [修復 (1)，歯内 (6)，歯周 (3)，その他 (0)]
〈その他の掲載内容〉
投稿規程および投稿の手引き・奥付・広告 (和文)
- 5) “Operative Dentistry, Endodontology and Periodontology”6巻1号について
令和8年7月31日発行予定 (2026年のみ7月発行)
〈掲載予定論文〉
5編[修復(1)，歯内(1)，歯周(2)，その他(1)]
〈その他の掲載内容〉
投稿規程および投稿の手引き・奥付・広告(和文)

(4)各種委員会委員追加、ならび幹事交代について

委員追加の件

- ・編集委員会 : 高橋慶壮先生ご退任のため
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科歯科保存学分野 鈴木茂樹先生 ご内諾済み
- ・表彰委員会 : 米田雅裕先生ご退任のため
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科歯周病学分野 白方良典先生 ご内諾済み
- ・う蝕治療ガイドライン小委員会 : 委員の退職に伴い新しい委員へのバトンタッチをスムーズにおこなう。また、委員の一人が、職場環境（官公庁）により出張・会議等への参加時間が制限されており、マンパワー低下を防止する意味合い
日本大学歯学部保存学教室修復学講座 石井 亮 先生（助教） ご内諾済み
- ・倫理委員会 : 原顧問弁護士をお迎えする。
- ・認定委員会 : 認定医・上級医申請増による対応
青山 典生（神奈川歯科大学教育企画部）
石原 裕一（ライオン歯科衛生研究所）
内山 敏一（日本大学松戸歯学部保存修復学講座）
嘉藤 弘仁（大阪歯科大学歯周病学講座）
高橋 雄介（大阪大学大学院歯学研究科歯科保存学講座）
谷本 啓彰（大阪歯科大学附属病院歯科保存学講座）
英 将生（鶴見大学歯学部保存修復学講座）
林 誠（日本大学歯学部保存学教室歯内療法学講座）
山田志津香（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯科補綴学分野）
山本 雄嗣（鶴見大学歯学部保存修復学講座）

幹事交代の件

- ・財務担当幹事 : 学内異動のため
石塚 久子先生（東京歯科大学保存修復学講座）から
関矢日向子先生（東京歯科大学歯内療法学講座）へ交代

3) 各種委員会報告

日本歯科保存学会

2026年度 第1回理事会用資料

2026年 5月13日 作成

(編集 委員会) 委員長名：武市 収

報告事項：

1. 2026年から、英文誌ODEPを年2回、和文誌を年4回の発行とすることを、常任理事会および理事会で審議の結果、決定した。

ODEP1号を6月末日発行、2号を従来どおり12月末日発行とする。なお、ODEP1号の投稿締切が3月15日と、周知から締切までの期間が短いため、今回に限り締切を4月15日に延長し、発行を7月末日とすることとした。

2. 和文誌および英文誌に掲載された論文を対象に優秀論文賞の選考を行い、その結果を表彰委員会に上程した。

協議事項：

(医療合理化 委員会)

委員長名：前田英史

報告事項：

1) 中医協総会より医療技術の評価結果の通知 (1月16日)

評価結果：

① 妥当性が示された提案

- ・ NiTi ローターファイルによる根管形成加算の施設基準の見直し (歯科用CTの必要性の撤廃)

② 評価すべき医学的な有用性が十分に示されていないと判断された提案

- ・ CAD/CAMインレー保護コーティング
- ・ 根面露出象牙質硬さ検査
- ・ 重度要介護高齢者等に対する充填処置加算
- ・ 臼歯複雑窩洞充填時の隔壁加算
- ・ 直接歯髄保護処置における特定保険医療材料料としてMineral Trioxide Aggregate (MTA)の算定
- ・ 電氣的根管長測定検査における根管側枝検査加算
- ・ 一部抜直の廃止

③ 使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できないと判断された提案

- ・ う蝕リスク検査

④ 中医協総会において、全部又は一部に係るテーマについて議論が行われている提案

- ・ CAD/CAMインレー修復

2) 革新的歯科医療技術の開発に関する打合せ (web開催) (2月9日)

参加者：北村知昭 理事長、河野哲 学術委員会委員長、齋藤正寛 学術委員会副委員長、
保坂啓一 先生、八幡祥生 先生、前田英史

3) 「CAD/CAMインレーについてISO規格化」(英語版)の本委員会での事業化

- ・ 3月8日 メール会議を実施し、承認された。
 - ・ 4月8日 上記事業の実務を担っている、桃井保子先生より、「Basic Concepts of CAD/CAM Inlays for Clinical Application (臨床応用に向けたCAD/CAMインレーの基本的な考え方)」が提出され、本委員会で確認し、承認した。
- ・・・資料1

【社会保険対策小委員会】**1) 「CAD/CAMインレーに関する基本的な考え方」(改訂版)の作成** ……資料2

- ・ 12月15日：厚労省と「CAD/CAMインレーに関する基本的な考え方」についてweb会議を実施
- ・ 本学会、厚労省および歯科医学会に提出し、検討・確認を経て一部変更版を作成し、日本歯科医学会ホームページに掲載された。
- ・ 「CAD/CAMインレーに関する基本的な考え方」(改訂版)を元にISO規格化へ展開予定

2) 今後の予定

- ① 令和8年度診療報酬改定に向けた、本学会提案に関する総括
- ② 不採択となった提案の今後の取り扱いに関する検討

【う蝕治療ガイドライン作成小委員会】**1) 根面う蝕の診療ガイドライン (CQ追加版)**

- ・ 11月7日 (金) 小委員会開催

Fバーニッシュ (根面う蝕新CQ) の推奨確認・草案まとめ、外部評価委員の追加、根面う蝕の管理・治療に関するフローチャート作成・治療指針の提案に関する議論、Fバーニッシュ適応拡

- 大・5,000 ppm F 歯磨剤国内承認への模索、診療ガイドライン説明動画作成について
- ・11月17日（月）「根面う蝕の診療ガイドライン（CQ追加版）（仮）」作成打合せ
永末書店とのWeb会議
 - ・12月23日（火）：原稿完成
 - ・1月23日（金）：初校戻り（永末書店）、校正作業中
 - ・3月16日（月）：第2稿戻り（永末書店）、校正作業
 - ・4月6日（月）：校正後原稿を並行して外部評価へ依頼（外部評価者7名）、評価終了
北村知昭理事長へ巻頭原稿作成依頼（4月7日拝受）
外部評価後再編集中、5月校了予定

2) う蝕リスク評価キットに関する打合せ

- ・10月31日（金）、11月21日（金）ジーシー昭和薬品とう蝕リスク評価キット（RDテスト「昭和」）の体外診断用医薬品申請についてWeb会議
薬機法承認申請に向けて診療ガイドライン内容との整合性確認、その後の保険収載へ向けた意見交換

3) う蝕治療ガイドライン作成小委員会 委員の交代

- ・朝日大学名誉教授 二階堂 徹 委員の退任に伴い、新委員として、日本大学歯学部保存学教室 修復学講座助教 石井 亮 先生の就任が、4月30日（木）第1回常任理事会において承認された。

4) 今後の予定

- ① う蝕治療ガイドライン説明動画作成：ホワイトクロス担当者との打合せ

協議事項：

なし

The Japanese Society of Conservative Dentistry (JSCD) April 2026

1. Introduction

Computer-aided design/computer-aided manufacturing crown restorations (CAD/CAM crowns) were first covered by the Japanese national health insurance system in 2014. Subsequently, in 2022, CAD/CAM inlays were included in the insurance system. CAD/CAM inlays represent an indirect restorative option that responds to areas that are difficult to restore with the direct restoration, patients’ esthetic demands and the recent trend toward digital dentistry.

The Japanese Society of Conservative Dentistry released this technical guideline to disseminate appropriate clinical application for the CAD/CAM inlay restorations.

2. Definition of a CAD/CAM Inlay

- CAD (Computer-Aided Design): computer-assisted design of the restoration
- CAM (Computer-Aided Manufacturing): computer-assisted milling or fabrication of the restoration

A CAD/CAM inlay is a dental inlay that is designed and fabricated using a dental CAD/CAM system

3. Indicated Cases

Limited to complex cavities involving the proximal surfaces of premolars and molars:

- Use in premolars
- Use in molars
- Use in primary molars with congenitally missing permanent successors

Not recommended in the following cases:

- Cases involving premolars and molars subjected to high occlusal loads
- Cases involving premolars and molars in patients with habitual bruxism
- Cases which cannot meet the criteria for cavity preparation (see Figs 1 - 6)

4. Key Points for Cavity Preparation in CAD/CAM Inlays

1) Round all line angles and point angles within the cavity (Fig. 1).

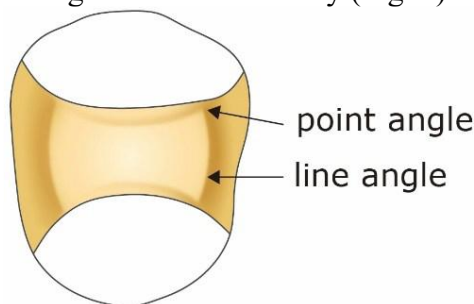


Fig. 1 Line and point angle

2) Avoid placing the margin in contact with opposing or adjacent teeth (Fig. 2).

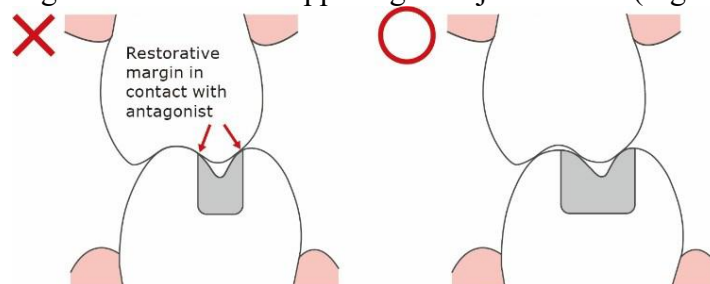
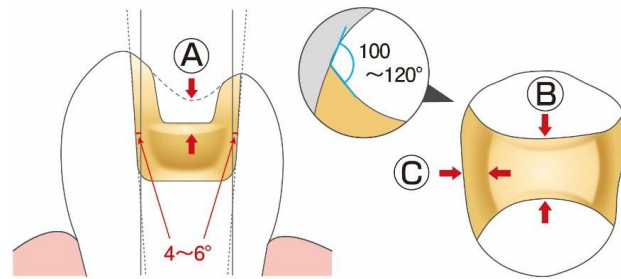


Fig. 2 Cavity margin setting

- 3) Ensure the isthmus to have a width of at least 1.5 mm (Fig. 3).
- 4) Prepare the cavity wall with greater angle than that of metal inlays (Fig. 3).
- 5) In the pit and fissure, prepare the cavity to have a depth of at least 1.0 mm in premolars and 1.5 mm in molars (Fig. 3).



| | premolar | molar |
|-------------------|----------|----------|
| Ⓐ pit and fissure | ≥ 1.0 mm | ≥ 1.5 mm |
| Ⓑ isthmus | ≥ 1.5 mm | ≥ 1.5 mm |
| Ⓒ gingival wall | ≥ 1.0 mm | ≥ 1.0 mm |

Fig. 3 Cavity preparation

- 6) Ensure the cavity margin has a butt joint without any bevel (Fig. 4).

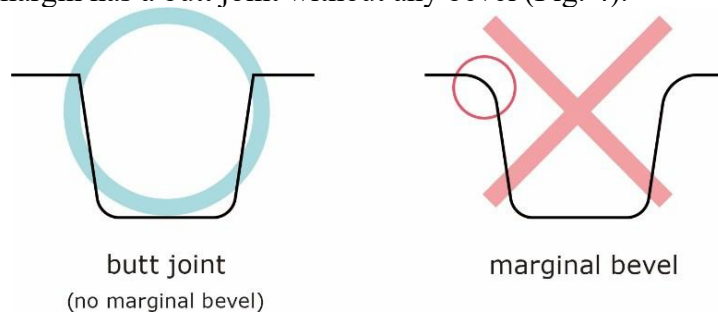


Fig. 4 Cavity margin

- 7) Avoid rough margins.

- 8) Prepare the gingival margin as a rounded shoulder or deep chamfer (Fig. 5).

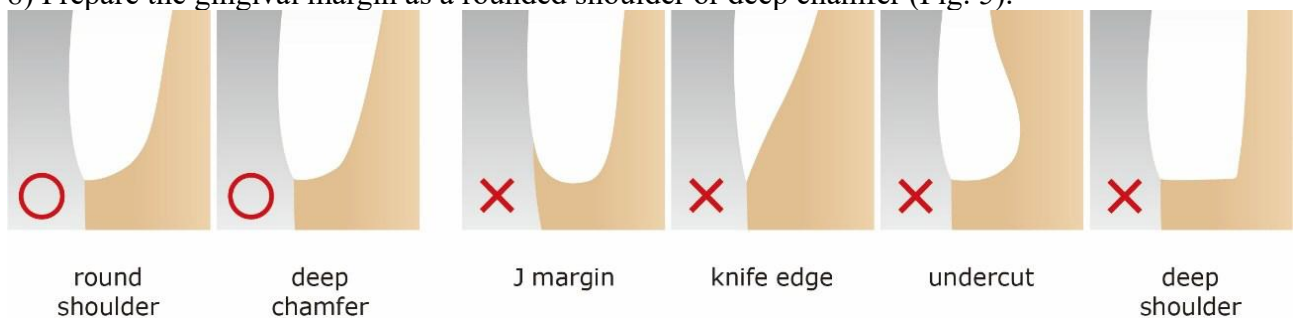


Fig. 5 Cavity margin

5. Impression Taking and Occlusal Registration

1) Conventional impression methods

- Perform gingival retraction according to standard procedures to clearly expose the finish line.
- Take the impression using agar-alginate or silicone rubber impression materials.
- Perform occlusal registration as clinically indicated.

2) Optical impression method (using an intraoral scanner [IOS])

- Perform scanning according to the manufacturer's instructions of each IOS.

- Care should be taken, as line angles may interfere with proper reflection of the IOS light, preventing accurate data capture (Fig. 6).

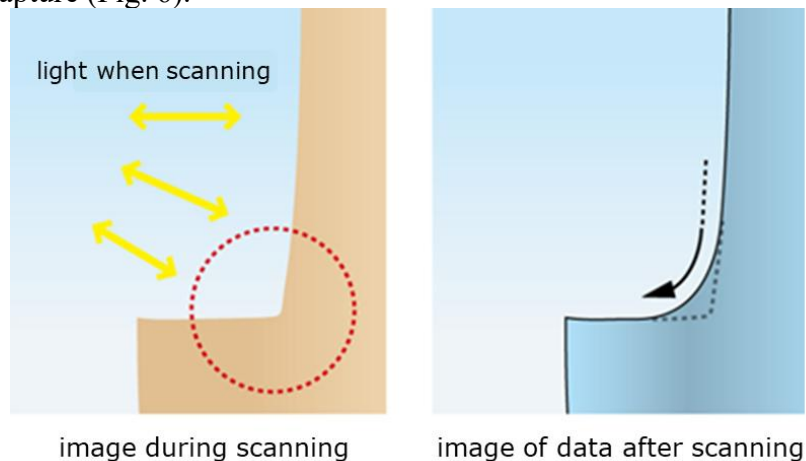


Fig. 6 Intraoral scanning at line angle

6. Placement of CAD/CAM Inlays

- 1) Adhesive resin cement must always be used for placement.
- 2) Alumina sandblasting: After intraoral trial fitting, sandblast the internal surface of the inlay immediately before placement using low pressure (0.1 – 0.2 MPa).
- 3) Silane coupling treatment: Apply a primer containing a silane coupling agent to the internal surface of the inlay. Combining sandblasting with silane treatment significantly enhances the bond strength between the inlay and the tooth surface.
- 4) After preparing the tooth surface according to the manufacturer's instructions, perform bonding using dental adhesive resin cement.
- 5) Occlusal adjustment should be carried out after inlay placement to prevent fracture due to occlusal forces.
- 6) After removing excess cement, it is recommended to protect the cement line at the butt-joint from the poor polymerization that occurs with Oxygen-exposure.

7. Control and Management of CAD/CAM Inlays

- Traceability refers to the ability to track the distribution pathway of materials from production to consumption. It is desirable to maintain traceability for all dental laboratory procedures, including those involving CAD/CAM inlays.
- When materials for CAD/CAM inlays are provided with a traceability label indicating the lot number, medical institutions and dental laboratories are encouraged to retain and manage the label (e.g., by affixing it to the patient's clinical record).

8. Conclusion

The wave of digital transformation (DX) in healthcare is steadily extending into dentistry. In recent years, the concept of metal-free dental treatment has also begun to gain public acceptance. The Japanese Society of Conservative Dentistry will continue to play a significant role in supporting the mission, “keep 28 teeth throughout our lives”, by striving to ensure safe and reliable dental care for the public.

Note

This technical guideline was developed based on the information provided by YAMAKIN CO., LTD (Kounan, Kochi, Japan).

1. はじめに

日本歯科保存学会編「う蝕治療ガイドライン」（第1版；2009年、第2版；2015年）では、MI（Minimal Intervention）に基づく歯質保存的な修復処置を推奨している。直接コンポジットレジン修復法が最も歯質保存的な修復法ではあるが、CAD/CAMインレーは、患者の審美的要求や昨今のデジタルデンティストリーの潮流に対応する間接修復法である。日本歯科保存学会では、CAD/CAMインレー修復の適切な治療における術式を周知するため、この「CAD/CAMインレーに関する基本的な考え方」を策定する。

2. 「CAD/CAMインレー」とは

CAD=Computer-Aided Design の略：コンピューターを使った設計支援。

CAM=Computer-Aided Manufacturing の略：コンピューターを使った製造支援。「CAD/CAMインレー」とは、歯科用CAD/CAM装置を用いて設計、作製されたインレーのことである。

3. 適応症例

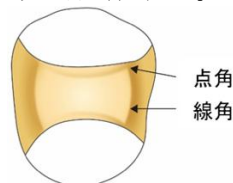
小臼歯および大臼歯の隣接面を含む複雑窩洞、後継永久歯が先天性に欠如している乳臼歯の複雑窩洞、および、直接法による修復が困難な複雑窩洞の症例のいずれかに該当する **もの場合が該当する**。

ただし、以下の①～③は推奨できない。

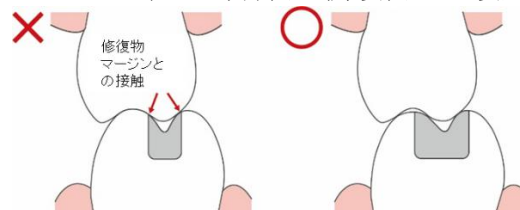
- ① 強い咬合圧を受ける臼歯に対する症例
- ② 習慣性ブラキシズムのある臼歯に対する症例
- ③ 窩洞形成に際し基準を満たせない症例

4. 窩洞形成

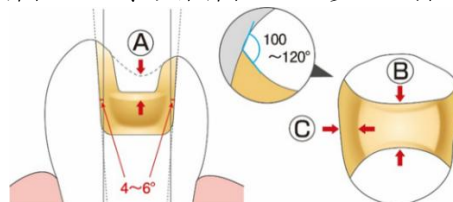
- ① 窩洞内のすべての線角や点角は丸く形成する。



- ② マージン（フィニッシュライン）は対合歯・隣接歯との接触を避けて設定する。



- ③ イスマスは1.5mm以上の幅を確保する。
- ④ 窩洞側壁の勾配角はメタルインレーよりも大きくする。
- ⑤ 小窩裂溝部は小臼歯1.0mm、大臼歯1.5mm以上の深さで形成することが望ましい。



| | 小臼歯 | 大臼歯 |
|-----------|----------|----------|
| ⑤ A 小窩裂溝部 | 1.0 mm以上 | 1.5 mm以上 |
| ③ B イスマス | 1.5 mm以上 | 1.5 mm以上 |
| ④ C 歯肉壁 | 1.0 mm以上 | 1.0 mm以上 |

⑥ 窩縁斜面（マージナルベベル）は付与せずバットジョイント形態にする。



⑦ ラフマージンを避ける。

⑧ 歯肉側マージンはラウンドショルダーまたはディープシャンファーにする。



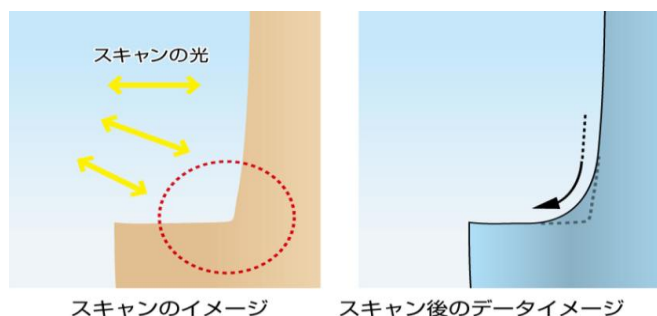
5. 印象・咬合採得

① 光学印象法以外の場合

- ・ 通法に従って、隣接面歯肉側マージン部は歯肉圧排操作を確実にし、マージンを明示する。
- ・ 寒天-アルジネート印象材またはシリコンゴム印象材を用いて連合印象採得する。
- ・ 状況に応じた咬合採得を実施する。

② 光学印象法（デジタル印象採得装置・口腔内スキャナー・IOSを用いる場合）

- ・ 通法に従って、隣接面歯肉側マージン部は歯肉圧排操作を確実にし、マージンを明示する。
- ・ それぞれのIOSの使用法に従ってスキャニングする。
- ・ 口腔内直接法による印象採得並びに咬合採得は光学印象を用いる採得法とする。
- ・ 線角が存在するとIOSの光がきれいに反射せずにデータに反映されないので注意が必要である。



線角が存在するとIOSの光がきれいに反射せずにデータに反映されないので注意が必要である。

6. 装着

- ① 歯科用接着性レジンセメントによる装着に限る。
- ② CAD/CAMインレー内面のアルミナ・サンドブラスト処理：
口腔内試適後、装着直前にインレー内面を弱圧（0.1～0.2 MPa）でサンドブラスト処理することが推奨される。
- ③ CAD/CAMインレー内面のシランカップリング処理：
シランカップリング剤含有のプライマーをインレー内面に塗布する。サンドブラスト処理とシランカップリング処理の組み合わせにより、インレー体と歯面との接着強さは大きく向上する。
- ④ インレーの隣接面接触点の調整後に辺縁部の適合を確認する。
- ⑤ 歯科用接着性レジンセメントを用いて歯面処理を行った後に装着操作を行う。
- ⑥ 咬合調整は、咬合によるインレー体の破壊を回避するため、インレー装着後に行う。

⑦ 余剰セメントの除去後は咬合縁に残ったバットジョイント部のセメントラインを保護することが望ましい。

7. CAD/CAMインレーの管理

- ① 物品の流通経路を生産段階から消費段階まで追跡が可能な状態をトレーサビリティ (traceability) という。CAD/CAM インレーを含む歯科技工全般において追跡調査が可能な状態にしておくことが望ましい。
- ② CAD/CAMインレー用材料に、Lot番号を記載したトレーサビリティシールが添付されている場合、これを保存して管理すること（診療録に貼付する等）が医療機関及び歯科技工所に望まれる。

8. CAD/CAMインレー用材料

CAD/CAMインレーに使用できるコンポジットハイブリッドブロックは、小白歯にはCAD/CAM冠用材料 (I) および (II) が、大白歯にはCAD/CAM冠用材料 (III) が用いられる。

以下にCAD/CAM冠用材料 (I) ~ (III) の定義の概要を示す

| 機能区分 | CAD/CAM冠用材料 (I) | CAD/CAM冠用材料 (II) | CAD/CAM冠用材料 (III) |
|------------|---|---------------------------------|---------------------------------|
| 適用歯種範囲 | 小白歯 | | 大白歯 |
| 無機質フィラー含有量 | 60%以上 | 60%以上 | 70%以上 |
| HV硬さ | — | 55HV0.2以上 | 75HV0.2以上 |
| 3点曲げ強さ | — | 160MPa以上 | 240MPa以上 |
| 吸水量 | — | 32 $\mu\text{g}/\text{mm}^3$ 以下 | 20 $\mu\text{g}/\text{mm}^3$ 以下 |
| その他 | CAD/CAM冠用材料 (II) 及びCAD/CAM冠用材料 (III) に該当しないこと | CAD/CAM冠用材料 (III) に該当しないこと | — |

9. おわりに

医療のDX化の波は、確実に歯科医療にも波及している。昨今のメタルフリーの考え方も国民に受け入れられ始めている。日本歯科保存学会は国民の安心・安全な歯科治療の実現に向けて、人生100-100年時代をしっかりとサポートする役割を、これからも果たして参ります。

10. 参考文献

- ① CAD/CAMインレーの臨床指針：特定非営利活動法人 日本歯科保存学会編；2023年11月。
- ② 第6章間接修復VII 歯科用CAD/CAMによる修復法歯科用CAD/CAMによる修復法；千田彰，宮崎眞真至，林美加子，向井義晴，齋藤隆史編；第7版保存修復学（2022年1月20日発行，医歯薬出版株式会社，東京）(P216-224)。
- ③ 新たな感染症を踏まえた歯科診療の指針第2-2版令和3-3年11-1-1月 (P141-4)：公益社団法人日本歯科医師会；
https://www.jda.or.jp/dentist/coronavirus/upd/file/20211115_coronavirus_shikashinryoushishin2.pdf
- ④ The effect of preparation designs on the marginal and internal gaps in Cerec3 partial ceramic crowns：Deoggyu Seo, Youngah Yi, Byoungduck Roh；J. Dent. 37(2009), 37:347374-382. (該当ページ；P381Conclusion).
- ⑤ 日本歯科材料工業協同組合規格 (団体規格No.112):JDMAS 245:2017;CAD/CAM冠用歯科切削加工用レジン材料：日本歯科材料工業協同組合 (平成29-2-9年3-3月17-1-7日制定)；日本歯科材料工業協同組合規格 (団体規格No.112)JDMAS 245:2017.
- ⑥ Microtensile bond strength testing of luting cements to prefabricated CAD/CAM ceramic and composite blocks：Ahmed A. El Zohairy, Anton J. De Gee, Mohamed M. Mohson, Albert J. Feilzer；Dent.Mater. 19-2003. 19:P575-583.
- ⑦ 一般財団法人ヤマキン学術文化振興財団. 歯科用デジタルハンドブック別冊 知っておきたいCAD/CAMインレーのポイント. 2022; 6-20.
https://www.yamakin-gold.co.jp/technical_support/webrequest/pdf/inraybook1.pdf
(2026年1月13日アクセス)
- ⑧ 一般財団法人ヤマキン学術文化振興財団. 歯科用デジタルハンドブック5. 2022; 8-8-19.

(教育問題委員会) 委員長名：山田 嘉重

報告事項：

(1) 保存2科統合顎模型について

- (i) 前回の委員会の協議で、委員から別の議題についての検討を主題にすべきとの意見が強く出され、顎模型の検討については一旦休止とした。
- (ii) その後、日本歯内療法学会の教育検討委員会でこの顎模型を使用してもらう機会があり、使用感など良好な意見をもらった。
その結果をニッシンの担当者にも共有し、再度検討しなおした。
- (iii) 現段階で日本歯科専門医機構が歯科専門医に求めている保存修復学、歯内療法学の難症例についてほぼ対応できる顎模型と人工歯を作成できるめどがついた。
- (iv) 顎模型のさらなる詳細の修正については本大会中に開催される教育問題委員会で協議していく。
- (v) 本年度中に試作顎模型と試作人工歯を作成し披露する予定である。

(2) 新たな委員会における検討事項について

前回の委員会で、委員から各教科間において教科書で記載されている内容が異なる事象が幾つかみられることが指摘された。それら相違がある内容等については教育問題委員会で把握し、今後改訂案などを検討していく必要性が提案された。

協議事項：

報告事項に載せた保存2科統合顎模型の試作費用について、今年度の歯科保存学会の経費から支出することの是非を理事会で協議していただきたい。

(学術委員会)

委員長名：河野 哲

報告事項：

学会主導型プログラムについて

- ①2026年度秋季学術大会（第165回）（大会長：松本歯科大学 増田宜子教授）
・ 渉外委員会からのご提案で日本歯科審美学会との共催シンポジウム
- ②2027年度春季学術大会（第166回）（大会長：愛知学院大学 諸富孝彦教授）
・ 「Asia Young Generation Symposium (仮)」開催予定
・ 保存修復、歯内療法、歯周病の3領域におけるアジアで活躍している若手研究者
・ 引き続き、学術委員会にて、各領域のテーマ等を含めて検討中
- ③2027年度秋季学術大会（第167回）（大会長：福岡歯科大学 松崎英津子教授）
・ 渉外委員会からのご提案で日本歯科医学教育学会との共催シンポジウム
- ④2028年度春季学術大会（第168回）（大会長：北海道大学 友清 淳教授）
・ 引き続き、学術委員会にて、プログラム内容を含めて策定中

市民フォーラムについて

- ①2025年度開催（開催報告、会計報告）（別添資料：開催報告・収支決算報告）
- ・ 鶴見大学：山本雄嗣教授
2月18日（水）13:00～14:30
「健康なお口で美味しく楽しく」
講師：佐藤信二先生、山本雄嗣先生
鶴見医師歯科医師会館、参加人数25名
 - ・ 九州大学：和田尚久教授
3月18日（水）13:30～15:30
「口から健康寿命を延ばそう！ 一歯から全身の健康まで」
講師：松崎英津子先生、御手洗裕美先生、有水智香先生
九州大学病院キャンパス、参加人数61名

②2026年度開催

- ・ 林 丈一朗教授（明海大学）
- ・ 河野 哲教授（朝日大学）

その他

『新規保険収載を目指す革新的歯科医療技術の開発』に関して、日本歯科保存学会学として以下の2項目について、ガイドライン作成のため学術委員会の下に小委員会を配置し、現在、各小委員会中心に検討を開始している。

1. デジタル技術を用いたダイレクトブリッジ治療

小委員長：保坂啓一教授（徳島大学）

【メンバー】

西谷佳浩先生（鹿児島大学大学院 歯科保存学分野・教授）

池田正臣先生（東京科学大学 口腔医療工学分野・教授）

高見澤 俊樹先生（日本大学歯学部保存学教室修復学講座・教授）
鎌野優弥先生（東北大学大学院 歯科保存学分野・講師）
井上 剛先生（東京科学大学 う蝕制御学分野・講師）
田代浩史先生（静岡県浜松市・開業医）
三木仁志先生（大阪府大阪市・開業医）
高橋真広先生（東京都・開業医）

2. 病巣感染としての根尖性歯周炎に対する新規治療技術の開発
小委員長：八幡祥生教授（東京科学大学）

協議事項：

学会主導型プログラム

2027年度春季学術大会（第166回）（大会長：愛知学院大学 諸富孝彦教授）

「Asia Young Generation Symposium (仮)」開催にあたり、アジア（韓国、台湾）の保存修復、歯内療法、歯周病の3領域の若手研究者招聘費用に関して（別添資料：海外招聘にあたり）

日本歯科保存学会市民公開フォーラム

開催日時：2026年2月18日（水）
主管：鶴見大学歯学部保存修復学講座

収支決算報告書

収入の部

(単位：円)

| 科目 | 決算額 | |
|-------|---------|--|
| 開催補助金 | 500,000 | |
| | 500,000 | |

支出の部

(単位：円)

| 科目 | 決算額 | |
|--------------|---------|-------------------------|
| 招聘関連費 | 123,476 | 講演費（講師2名）、昼食代、交通費 等 |
| 打ち合わせ費 | 42,884 | スタッフ8名、打ち合わせ3回分 |
| 開催告知媒体作成・連絡費 | 264,750 | チラシ・ポスター作成、郵送費等 |
| 雑費 | 68,890 | 贈答資料作成費、贈答口腔ケア用品、筆記用具 等 |
| | 500,000 | |

上記のとおり、収支決算についてご報告申し上げます。

2026年3月5日
鶴見大学歯学部保存修復学講座
山本 雄嗣

2027年度春季学術大会（第166回）（大会長：愛知学院大学 諸富孝彦教授）
学会主導型プログラム（Asia Young Generation Symposium仮）海外講師招聘に関する
予算案

作成：河野 哲

プログラム内容

：修復、歯内、歯周の3領域で、それぞれ領域別で若手研究者が興味を持つようなテーマとする。

シンポジスト参加国

：韓国、台湾の修復、歯内、歯周の3領域の若手研究者を1名ずつ（計6名）招聘予定。

予算編成の基本方針

本学会主導型プログラムを円滑に遂行するため、海外（ソウル・台北）から招聘する講師の移動・滞在に係る経費を計上する。なお、昨今の航空運賃の高騰および為替変動を考慮し、現実的な市場相場に基づいた算定を行う。

予算内訳

（韓国・ソウル）79,000円/1名

| 項目 | 予算額 | 備考 |
|-------|---------|-------------------|
| 航空運賃 | ¥50,000 | 仁川・金浦～中部（往復） |
| 宿泊費 | ¥24,000 | 名古屋市内（2泊） |
| 国内交通費 | ¥5,000 | 空港～名古屋市内、名古屋国際会議場 |

（台湾・台北）109,000円/1名

| 項目 | 予算額 | 備考 |
|-------|---------|-------------------|
| 航空運賃 | ¥80,000 | 桃園～中部（往復） |
| 宿泊費 | ¥24,000 | 名古屋市内（2泊） |
| 国内交通費 | ¥5,000 | 空港～名古屋市内、名古屋国際会議場 |

予算総額

韓国より3名、台湾より3名招聘する場合、上記予算内訳より、564,000円が必要となる試算となった。

(学会あり方委員会) 委員長名：横瀬 敏志

報告事項：報告事項：

5/26にオンライン委員会を開催した。

議 題：『学術大会アンケートの改善について』

アンケートをいかに多くの3領域（保存・歯内・歯周）、歯科衛生士学会会員に回答していただくか委員会内で検討後、口腔保健協会コンベンション事業部と実施可能か否かの協議を行った。

・ Google Formの随時送信を**実施する。**

1. 今年の春・秋の学術大会における対策として、

- ① オンデマンドサイトの目立つ部分にアンケートのアイコンを設置
- ② 会員向けメール配信で協力依頼を行う（オンデマンド開始前、中間日当たり、最終2日前）
- ③ 理事会・評議委員会でも周知徹底をする。

2. 歯周病会員の参加者増加対策として、学会あり方委員会から各委員会への提案事項を検討する。

協議事項：

特になし

| |
|-------------------------------|
| （ 学術用語委員会） 委員長名： 増田 宜子 |
|-------------------------------|

報告事項：

1) 調査結果について

- ①歯内療法学の第6版の新用語、削除用語を第5版と比較しリストアップ
- ②歯内療法用語集、保存修復用語集、補綴用語集で共通する用語リストアップ

全ての委員から調査結果の提出があった。

2) 歯内療法学専門用語集改訂へむけて歯内療法学会と連携協議するため歯内療法学会への依頼を行った。(2026年2月)

(現在保存学会用語委員会で追加・削除用語の検討段階であり歯内療法学会でも同様に追加・削除用語の検討を始める)

3) ロードマップ(案)の作成 (2026-5-8)

2025年12月 新規用語・削除用語のピックアップ完了

2026年2月 歯内療法学会へ依頼

2026年6月～2027年11月 保存学会用語委員会内での新規用語・削除用語案, 既存用語の変更案確定・歯内療法学会用語委員会による新規用語・削除用語等のピックアップ完了

2027年11月～ 保存学会内で用語委員会案の承認、歯内療法学会用語委員会内での案の確定

2027年12月 両学会案のすり合わせ

2028年2月～ 編集部作業・校正作成

2028年4月 両学会による校正開始

2028年7月 編集部作業・再校校正作成

2028年10月 両学会による再校確認

2028年12月 編集部作業・両学会との細部の調整

2029年2月 最終編集部作業

2029年3月 発行

今後の予定

- ①共通用語の解釈の違いの検討
- ②新用語・削除用語の優先順位の検討

保存修復学専門用語集について

- 日本歯科理工学用語検討委員会と連携し、用語の食いちがい、ズレを避ける。
- 日本口腔衛生学会用語委員会と連携し、カリオロジー領域の用語の食いちがい、ズレを避ける。
- ISO 1942 Dentistry-Vocabulary (歯科-用語集) と照らし合わせ、用語の英文表記が国際標準用語とズレないようにする。

・保存修復学の教科書『保存修復学』(医歯薬出版)の改訂版発行が2027年7月頃を見込んでいる(おそらく『保存修復学21』の改訂版も2027～8年頃発行の可能性が高い)。

そのため保存修復学専門用語集と同時期の発行は難しい。(歯内療法学用語集が早いと思われる)

・前回は、保存修復学専門用語集は歯科理工学会の用語委員長に校正の段階で用語解説の確認をしていただいた。

協議事項：

特になし

日本歯科保存学会

2026年度 第1回理事会用資料

2026年 5月 9日 作成

(渉外 委員会) 委員長名：吉村 篤利

報告事項：

1. 2026年度秋季大会(松本歯科大学)学会主導型シンポジウムについて、連携学会である日本歯科審美学会より下記3名のシンポジストの推薦があった。

高見澤 俊樹 先生 (日本大学歯学部)

椋 由理子 先生 (むくのき歯科医院)

品川 淳一 先生 (上野品川歯科・矯正歯科)

2. 2027年度秋季大会(福岡歯科大学)学会主導型シンポジウムの詳細について、日本歯科医学教育学会と協議中。シンポジスト推薦を依頼予定。

3. 渉外委員会規程第2条(1)に基づく4号理事(臨床医)2名のうち、1名が今期任期中に任期満了を迎える。次期理事候補に中島貴子先生(新潟市なかじま歯科クリニック)を選出し、常任理事会で承認。

協議事項：

1. 渉外委員会規程第2条(1)に基づく4号理事(臨床医)候補について

候補者：新潟県新潟市 なかじま歯科クリニック 院長 中島貴子先生(歯周領域)

(国際交流 委員会) 委員長名：齋藤正寛

報告事項：

- a. 2031年に主管する時の財政シュミレーション
- b. 主な懸念事項と委員会の見解
- c. 日本開催が学会・会員にもたらす効果

1. ConsAsiaに参加するための下記のことについて委員会で協議した。**2. フランス歯内療法学会とのMOUについて**

先方からのMOU締結にむけての交渉が進んでいる。日本歯内療法学会と連携して進める

3. ConsEuroとの連携

次回ConsEuro (2026年5月7-9日/イタリア・ボローニャ) へ視察に行き、ConsAsiaとの連携について確認予定。また現地でConsAsiaの主要メンバーと会談し、学会を主催した場合の規模および予算のヒアリングする予定

4. 日・台・韓 連携シンポジウムについて

2025年度第3回常任理事会で開催提案が承認された。シンポジウムの具体的な開催時期および韓国、台湾側への提案タイミングについて。

【前回委員会資料より抜粋】

- ・若手セッションについては3カ国とも積極的な姿勢である。
- ・今後は學術委員会からの提案をベースに、韓国側と具体化に向けた議論を進め、実施時期については継続検討
- ・上記のシンポジウムを実施するため、韓国サイドより日・台・韓のMOUの締結の打診を受けている。各々のMOUが20年近く前になるので、見直しが必要と提案を受けている。

5. 第28回日韓歯科保存学会学術大会対応について

日時 2026年11月19日～20日 (松歯大担当)

- ・韓国招待講演の招聘演者について
- ・この他、接遇対応について

協議事項：

1. 台湾MOU締結：牙體復形・歯内療法2学会との連携について、2025年度第2回常任理事会で提携を進めることの承認がなされた。(添付資料1参照)**2. ConsAsiaへの入会にむけて委員会および運用積立金の設置 (添付資料2参照)****【ConsAsia (アジア保存歯科学会) について】**

- ・活動領域：当初懸念された「保存修復のみ」ではなく、エンド、ペリオ、材料、予防、小児歯科等も包括していることを確認
- ・運営への関与：学会プログラムは委員会決定のため、こちらの意向を反映させるには保存学会から委員を派遣し、参画する必要があります
- ・費用・負担：
 - 年会費：1,000ドル
 - 主催義務：今回入会した場合、2031年大会を主催 (2027年マレーシア、2029年香港が決定済)。
※開催時の具体的な費用負担については不明瞭なため、別途ウェブミーティングにて直接確認する
- ・今後の活動を行うため、年会費は1,000ドルのため問題はないが、予定されている2031年大会の主催にむけて企画委員会の設置および大会運営準備積立金を設置を提案したい

Message from Taiwan

資料1

Chia-Lun Tsai <manganese927@hotmail.com>
2026年2月12日 9:47

To: 齋藤正寬 <masahiro.saito.c5@tohoku.ac.jp>
Cc: 陳冠良' <klcjim@hotmail.com>, AEROC中華民國牙髓病學會 <endo@aeroc.org.tw>

Dear Professor Saito,

Please accept my sincere apologies for the delayed reply and thank you very much for the message and continued collaboration with AEROC.

As AEROC has recently transitioned to a new board composition, our current priority is to carefully establish and develop the sister-society exchanges already planned for this year. In this context, we are currently aligning perspectives internally regarding future sister-society initiatives and would prefer to proceed step by step.

We sincerely value the communication with JSCD and hope to continue exchanging information. Learning more about your society's current plans and future activities. Looking forward to staying in touch and thank you again for your kind message.

With best regards,

Chia-Lun Tsai

Rép. : Proposal for International Collaboration between JSCD and the French Society of Endodontics

Alexis Gaudin <alexis.gaudin@univ-nantes.fr>
2026年2月11日 17:44

To: masahiro.saito.c5@tohoku.ac.jp
Cc: Nicolas Gardon <nc.gardon@orange.fr>

Dear Professor Saito,

Thank you very much for your kind follow-up message and for your continued interest in strengthening the relationship between the Japanese Society of Conservative Dentistry and the French Society of Endodontics. I am pleased to confirm that the proposal for collaboration has been positively received, and we are very supportive of moving forward with this initiative.

We believe that establishing a formal partnership between our societies represents an excellent opportunity to promote academic exchange, joint scientific activities, and collaboration for the benefit of our members.

As a next step, discussions toward the preparation of a Memorandum of Understanding will be coordinated from outside by our Director of External Relations, Dr Nicolas Gardon. We look forward to working closely with you and your colleagues.

With warm regards,

Professor Alexis Gaudin
President, French Society of Endodontics

ConsAsia 2031 日本開催

資料2

Asian-Oceanian Federation of Conservative Dentistry

日本歯科保存学会主催における開催可能性シミュレーション（詳細版）

作成：国際交流委員会

1. はじめに：本提案の目的と背景

本資料は、日本歯科保存学会がConsAsia（Asian-Oceanian Federation of Conservative Dentistry: AOFCD主催）を日本で開催する場合の実現可能性と財政的影響を詳細に検討したものです。

ConsAsiaは2016年に9か国が参加して構想が始まり、2019年に韓国ソウルで第1回大会、2023年には台湾台北で第2回大会が開催されました。第3回（2025年）はインド、第4回（2027年）はマレーシア、第5回（2029年）は香港での開催が決定しており、第6回となる2031年の開催地が現在議論の対象となっています。

国際交流委員会では、以下の点から日本開催が学会にとって大きなプラスになると考え、本シミュレーションを提示します。

- アジア・オセアニア地域における日本の歯科保存学の存在感・発信力の強化
- 若手・中堅研究者の国際ネットワーク構築と国際競争力の向上
- 国内会員への国際水準の学術情報提供
- 財政的には適切なリスク管理のもとで収支均衡が見込まれること

2. ConsAsiaとは

2-1. 組織の概要

| | |
|-------------|---|
| 正式名称 | Asian-Oceanian Federation of Conservative Dentistry (AOFCD) |
| 略称 | ConsAsia |
| 設立 | 2018年1月（ソウル） |
| 参加国 | オーストラリア、香港、インド、日本、韓国、シンガポール、ニュージーランド、台湾（計8か国・地域） |
| 開催頻度 | 2年ごと（隔年秋） |
| 参考：ConsEuro | 欧州版（EFCD）をモデルとして設立 |

2-2. 過去の開催実績

| 回 | 開催年 | 開催地 | 参加者数 |
|-----|------------|-----------|-----------|
| 第1回 | 2019年11月 | 韓国・ソウル | （初回） |
| 第2回 | 2023年9月 | 台湾・台北 | 約500名 |
| 第3回 | 2025年 | インド・チェンナイ | 確認できず |
| 第4回 | 2027年（決定） | マレーシア | （準備中） |
| 第5回 | 2029年（決定） | 香港 | （準備中） |
| 第6回 | 2031年（本提案） | 日本（本提案） | 500名以上を目標 |

2023年台湾大会では約500名の参加者を集めており、本提案はこれを参考値としています。

3. 開催形式（案）

日本歯科保存学会学術大会とConsAsiaを「併催」する形式を提案します。これにより、事務局・会場・広報コストの効率化を図りつつ、ConsAsia独自の国際プログラムを確保します。

3-1. プログラム構成

| 日程 | 内容 |
|-------|---|
| Day 1 | 日本歯科保存学会学術大会（1日目） ※ハイブリッド開催 |
| Day 2 | 日本歯科保存学会学術大会（2日目） ※ハイブリッド開催 + ConsAsia Joint Session（現地開催） + ConsAsia Gala Dinner（現地開催） |
| Day 3 | ConsAsia Symposium（現地開催） 各国代表演者による招待講演・シンポジウム |

※ConsAsia部分（Joint Session・Gala Dinner・Symposium）はオンライン配信を行わず現地参加のみ。これにより現地参加のインセンティブを高めます。

3-2. 開催地の候補について

開催都市については今後検討が必要ですが、国際アクセス（空港直結・ホテル集積）・大型会議施設・観光資源の観点から、東京・大阪・名古屋・横浜・仙台などが候補として考えられます。最終決定は組織委員会で行います。

4. 財政シミュレーション

4-1. 費用の内訳

| 費用項目 | 金額（目安） | 備考 |
|-------------------------|----------|--------------|
| 通常の保存学会大会費用（仙台大会比×1.5） | 約2,000万円 | 事務局・中村氏と協議済み |
| ConsAsia開催追加費用（合計） | 約1,000万円 | |
| うち 会場費（ConsAsia用追加ホール等） | （内数） | |
| うち 各国代表スピーカー渡航費・滞在費 | （内数） | 8か国×2名程度を想定 |
| うち Gala Dinner費用 | （内数） | 160名規模 |
| 総費用（概算） | 約3,000万円 | |

4-2. 収入の内訳

| 収入項目 | 単価 | 人数 | 金額 | 備考 |
|----------------------------|---------|------|----------|-------------------|
| 【ConsAsia追加収入】 | | | | |
| 海外参加費（一般研究者） | 30,000円 | 200名 | 600万円 | （参考）2023年台湾大会500名 |
| 海外参加費（学生） | 20,000円 | 100名 | 200万円 | |
| 国内ConsAsia追加参加費（保存学会参加者対象） | 10,000円 | 200名 | 200万円 | |
| Gala Dinner参加費 | 15,000円 | 160名 | 240万円 | |
| ConsAsia追加収入 小計 | | | 約1,240万円 | |
| 通常の保存学会大会収入（参考） | | | 約2,000万円 | 企業展示・参加費等 |

| | | |
|---------|--|----------|
| 総収入（概算） | | 約3,240万円 |
|---------|--|----------|

※上記試算において、ConsAsiaのための、追加学会補助金・追加企業展示（スポンサーシップ）収入は含んでいません。これらを確保できれば収支はさらに改善します。

※現段階で、為替変動、物価変動は考慮しておりません

4-3. 収支まとめ

| 項目 | 金額 |
|---------|----------|
| 総費用（概算） | 約3,000万円 |
| 総収入（概算） | 約3,240万円 |
| 収支差額 | 240万円 |

損益分岐点は海外一般参加者150名（想定75%）and学生80名(想定80%)and国内150名(想定75%)の場合です。

「次世代への負担」となるような財政的リスクは、現時点の試算では発生しません。なお、企業協賛・学会補助を一部確保できれば、余剰金を若手研究者支援基金等に充てることも可能です。

5. 主な懸念事項と国際交流委員会の見解

反対意見として挙げられている主要な懸念事項について、以下に整理します。

| 懸念事項 | 国際交流委員会の見解 |
|--------------------------|---|
| ① 財政的リスク・次世代への負担 | 収支シミュレーション（4章）の通り、保守的な試算でも収支均衡が見込まれます。台湾大会（500名参加）の実績を踏まえており、参加者数の見込みは現実的です。また、企業協賛を積極的に募ることでリスクを低減します。 |
| ②学会の運営負担・事務局への過重負荷 | 日本歯科保存学会の通常大会と「併催」とすることで、事務局・会場手配・広報の重複を最小化します。中村氏を含む事務局と協議済みであり、体制上の懸念は一定程度解消されています。 |
| ③日本の国際学术界での立場・外交的負担 | ConsAsiaは参加8か国・地域が持ち回りで主催する対等なパートナーシップです。過度な外交的負担を負う構造ではなく、むしろ日本が積極的に貢献することで、アジア・オセアニア地域における日本の歯科学の発信力が高まります。 |
| ④若手・外部の研究者の育成に直結するか | 国際大会の国内開催は、国内若手研究者が世界標準の研究に触れる最良の機会です。海外渡航が困難な若手・学生にとっても「国内で国際学会を経験できる」メリットは大きく、次世代育成への積極的な投資と捉えることができます。 |
| ⑤ConsAsiaへの「加盟」と「開催」は別問題 | 日本はすでにAOFCFDの設立参加国であり、国際交流委員会も積極的に連携してきました。「開催」は参加国としての責任ある関与であり、新たな加盟義務が生じるわけではありません。 |

6. 日本開催が学会・会員にもたらす効果

6-1. 学術的・国際的効果

- アジア・オセアニア地域のトップ研究者との直接交流・共同研究の推進
- 日本の歯科保存学会の研究成果を国際的に発信する絶好の機会
- 将来的なAOFCFDでの役職・リーダーシップポジション獲得への布石
- 国際誌への投稿・引用増加など、日本研究者の国際的visibility向上

6-2. 会員・若手研究者への効果

- 国内にいながら国際学術大会に参加できる機会の提供
- 海外招待演者の講演・討論を通じた教育的効果
- 若手研究者の英語発表経験・国際ネットワーク構築
- 学生・大学院生に対する国際的キャリアパスの可視化

6-3. 学会組織としての効果

- 日本歯科保存学会の国際的ブランド強化
- アジア・オセアニア諸国の関連学会との恒常的パートナーシップ確立
- 大会参加者増・会員増につながる可能性

7. 今後の検討スケジュール（案）

| 時期 | マイルストーン |
|--------------|------------------------------|
| 2026年（今年度） | 理事会・常任理事会での本提案審議・方針決定 |
| 2027年マレーシア大会 | AOFCF総会にて2031年日本開催の意向表明・招致申請 |
| 2027～2028年 | 開催都市・会場選定・組織委員会設立 |
| 2029～2030年 | プログラム委員会設立・演者交渉開始・企業協賛募集開始 |
| 2031年（開催年） | ConsAsia 2031 日本大会開催 |

8. まとめ

本シミュレーションにおいて、日本歯科保存学会がConsAsia 2031を開催する場合の収支は概ね均衡することと思われます。

一方で、開催によって得られるメリットは多岐にわたります。日本の歯科保存学研究者がアジア・オセアニア地域のリーダーとして存在感を示すこと、若手研究者が国内で国際大会を経験できること、そして学会全体の国際的ブランドが向上につながります。

国際交流委員会として、今後も慎重かつ積極的に検討を進め、学会としての決定を最大限支援してまいります。ご審議のほど、よろしく願い申し上げます。

日本歯科保存学会 国際交流委員会

（参考）本資料は保坂教授作成の費用シミュレーション初案（国際交流委員会資料）をもとに国際交流委員会にて詳細化したものです。

(認定 委員会) 委員長名：諸富孝彦

報告事項：

- 1) 第26回（2025年度第2回）認定医試験結果（2026年3月8日実施）
申請者37名、受験者37名、合格者34名、不合格者3名
- 2) 第66回（2025年度第2回）上級医試験結果（2026年3月1日および3月8日実施）
申請者27名、受験者17名、合格者15名、合格保留者2名（書類不備による次回以降受験予定者10名）
- 3) 認定医試験における症例試験（書類審査）書類の見直しについて
歯周症例用診査用紙を中心に、審査書類の書式等を見直すことを検討中
- 4) 第27回（2026年度第1回）認定医試験および第67回（2025年度第3回）上級医試験について
 - 第27回認定医試験：2026年8月2日（AP東京八重洲）
 - 第67回上級医試験：2026年8月2日（オンライン）および11月21日（対面実施：松本商工会議所）
- 5) 第68回（2025年度第4回）上級医試験日程
2026年12月中および2027年2～3月にオンラインにて実施予定（受験者多数により、これまでと同様に2日を確保する予定）
- 6) 第164回大会における認定医・上級医/歯科保存専門医優秀症例発表賞の審査員について

協議事項：

- 1) 認定医・上級医・指導医認定および更新者について
- 2) 認定医更新延長について
- 3) 第163回大会における認定医・上級医/歯科保存専門医優秀症例発表賞受賞候補者の件
- 4) 日本歯科保存学会認定医の英語表記について
認定医 Certified Dentist of The Japanese Society of Conservative Dentistry (JSCD)

特定非営利活動法人日本歯科保存学会

第26回認定医合格者名簿

(試験：2026年3月8日、認定：2026年6月3日)

【申請者37名(大学：35名、臨床：2名)：合格34名、不合格 3名】

| 認定医番号 | 会員番号 | 氏名 | フリガナ |
|---------|--------|--------|-----------|
| (認-897) | 428529 | 本田 虎太郎 | ホンダ コウタロウ |
| (認-898) | 425748 | 杉山 怜央 | スギヤマ レオ |
| (認-899) | 430535 | 大鹿 水由季 | オオシカ ミユキ |
| (認-900) | 433764 | 松井 渚 | マツイ ナキサ |
| (認-901) | 433765 | 長谷川 彩 | ハセガワ アヤ |
| (認-902) | 410272 | 高木 仲人 | タカキ ナカト |
| (認-903) | 431815 | 有田 拓矢 | アリタ タクヤ |
| (認-904) | 436144 | 増田 実紗 | マスタ ミサ |
| (認-905) | 434950 | 小泉 郁佳 | コイズミ フミカ |
| (認-906) | 173244 | 山田 理絵 | ヤマダ リエ |
| (認-907) | 433755 | 齋藤 瑠郁 | サイトウ ルイ |
| (認-908) | 434902 | 大谷 万由子 | オオタニ マユコ |
| (認-909) | 434230 | 柿崎 周斗 | カキザキ シュウト |
| (認-910) | 436206 | 古川 佳奈 | フルカワ カナ |
| (認-911) | 425699 | 神田 智子 | カンダトモコ |
| (認-912) | 186790 | 今枝 常晃 | イマエダ ノブアキ |
| (認-913) | 434515 | 遠山 美紗実 | トオヤマ フサミ |
| (認-914) | 432371 | 末吉 峻幸 | スエヨシ タクユキ |
| (認-915) | 403770 | 中村 心 | ナカムラシン |
| (認-916) | 435812 | 千生 倫 | センキリン |
| (認-917) | 179506 | 石井 通勇 | イシイミチタケ |
| (認-918) | 420287 | 森田 舜佳 | モリタ シュンカ |
| (認-919) | 431148 | 田中 伸武 | タナカノブタケ |
| (認-920) | 428216 | 辻 悠貴子 | ツジユキコ |
| (認-921) | 433748 | 森 大朗 | モリ ヒロアキ |
| (認-922) | 435062 | 城村 綾香 | ジョウムラアヤカ |
| (認-923) | 175916 | 松村 浩禎 | マツムラ ヒロシ |
| (認-924) | 435293 | 齋藤 麻梨奈 | サイトウ マリナ |
| (認-925) | 430544 | 辻上 陽平 | ツジガミヨウヘイ |
| (認-926) | 434492 | 野口 知勢 | ノグチ トモセ |
| (認-927) | 435808 | ジョ 恵真 | ジョ ヘジン |
| (認-928) | 430716 | 小林 昂太 | コバヤシコウタ |
| (認-929) | 433768 | 岡野 真之 | オカノマサユキ |
| (認-930) | 422536 | 勝海 怜一 | カツウミ レイイチ |

特定非営利活動法人日本歯科保存学会

第66回上級医合格者名簿

(試験：2026年3月1日及び3月8日、認定：2026年6月3日)

【申請者27名：合格15名、保留（再ケーブル）2名、審査継続（書類不備）10名】

| 上級医番号 | 会員番号 | 氏名 | フリガナ |
|-------|--------|-------|-----------|
| 1337 | 153352 | 加藤昭人 | カノウ アキヒト |
| 1338 | 408153 | 大林 翔 | オオバヤシ ショウ |
| 1339 | 406687 | 牧圭一郎 | マキ ケイイチロウ |
| 1340 | 403943 | 外園真規 | ソトゾノ マキ |
| 1341 | 410895 | 今井 昂 | イマイアキラ |
| 1342 | 169049 | 三宅直子 | ミヤケ ナオコ |
| 1343 | 194117 | 関谷美貴 | セキヤミキ |
| 1344 | 407880 | 鍵岡琢実 | カギオカ タクミ |
| 1345 | 419678 | 古澤誉彰 | フルサワヨシアキ |
| 1346 | 402992 | 松本和磨 | マツモトカズマ |
| 1347 | 147050 | 大森一弘 | オオモリカズヒロ |
| 1348 | 187638 | 津田優香 | ツタユウカ |
| 1349 | 182962 | 松浦孝典 | マツウラタカリ |
| 1350 | 195922 | 伊田百美香 | イダユミカ |
| 1351 | 103954 | 細野隆也 | ホソノタカヤ |

特定非営利活動法人日本歯科保存学会

2025年度第2回指導医申請者一覧（理事会：2026.6.3承認）

※指導医(1)

上級医の資格を得た後、10年以上の日本歯科保存学会上級医歴を有し、その間に日本歯科保存学雑誌に3編以上の研究論文発表があり、認定委員会の推薦を経て理事会で承認を受けた者。

| 受付No. | 申請者氏名 | フリガナ | 会員番号 | 入会年月日 | 上級医 登録年月日 | 上級医 登録番号 | 審査 | 合 否 理事会 |
|----------|-------|----------|--------|------------|--------------|-------------|----|------------|
| 2025-2-1 | 北垣次郎太 | キタガキ ジロウ | 142075 | 1999/7/27 | 2014/6/18 | 1183 | 合格 | |
| 2025-2-2 | 八幡祥生 | ヤハタ ヨシオ | 159924 | 2005/05/10 | 2013/6/26 | 1167 | 合格 | |

※指導医(2)

上級医の資格を得た後、5年以上の日本歯科保存学会上級医歴を有し、その間に5編以上の研究論文の発表があり、認定委員会の推薦を経て理事会で承認を受けた者。研究論文のうち、2編は日本歯科保存学雑誌に掲載され、そのうちの1編は筆頭著者であること（5編すべて日本歯科保存学雑誌も可）。

| 受付No. | 申請者氏名 | フリガナ | 会員番号 | 入会年月日 | 上級医 登録年月日 | 上級医 登録番号 | 審査 | 合 否 理事会 |
|-------|-------|------|------|-------|--------------|-------------|----|------------|
| | 申請者なし | | | | | | | |

※指導医(3)

認定委員会の推薦を経て、理事会で承認を受けた者。

| 受付No. | 申請者氏名 | フリガナ | 会員番号 | 入会年月日 | 上級医 登録年月日 | 上級医 登録番号 | 審査 | 合 否 理事会 |
|-------|-------|------|------|-------|--------------|-------------|----|------------|
| | 申請者なし | | | | | | | |

| | 会員番号 | 名前 | 番号 | 登録年月日 | 現有効期間 | 新有効期間 | 備考 |
|-------|--------|-----------|-----|------------|------------|------------|---------------|
| 認定医更新 | 137622 | 京泉 秀明 | 86 | 2014/6/18 | 2024/6/30 | 2029/6/30 | 理由書あり |
| 認定医更新 | 146310 | 松田 康裕 | 160 | 2015/11/11 | 2025/11/30 | 2030/11/30 | 理由書あり |
| 認定医更新 | 183874 | 大槻 和正 | 179 | 2015/11/11 | 2025/11/30 | 2030/11/30 | 理由書あり |
| 認定医更新 | 181039 | 三田 郁美 | 183 | 2015/11/11 | 2025/11/30 | 2030/11/30 | 理由書あり |
| 認定医更新 | 188321 | 佐野陽祐 | 186 | 2015/11/11 | 2025/11/30 | 2030/11/30 | 理由書あり |
| 認定医更新 | 171854 | 竹生 寛恵 | 191 | 2015/11/11 | 2025/11/30 | 2030/11/30 | 理由書あり |
| 認定医更新 | 180009 | 月野和 隆 | 195 | 2015/11/11 | 2025/11/30 | 2030/11/30 | 理由書あり |
| 認定医更新 | 119112 | 滝口 尚 | 197 | 2015/11/11 | 2025/11/30 | 2030/11/30 | 理由書あり・上級医申請あり |
| 認定医更新 | 188313 | 岩崎 悠子 | 204 | 2016/6/8 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 174009 | 小武家誠司 | 206 | 2016/6/8 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 187578 | 藤原 ひかり | 208 | 2016/6/8 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 180019 | 住岡 龍一 | 210 | 2016/6/8 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 180016 | 米田 直道 | 211 | 2016/6/8 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 154140 | 吉峰正彌 | 217 | 2016/6/8 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 407879 | 平井 早穂 | 458 | 2019/6/26 | 2024/6/30 | 2029/6/30 | 理由書あり |
| 認定医更新 | 408160 | 寺本 賢史 | 485 | 2019/11/6 | 2024/11/30 | 2029/11/30 | 理由書あり |
| 認定医更新 | 403021 | 久野 裕介 | 500 | 2019/11/6 | 2024/11/30 | 2029/11/30 | 理由書あり |
| 認定医更新 | 142318 | 讃井 彰一 | 519 | 200/10/23 | 2025/10/31 | 2030/10/31 | 理由書あり |
| 認定医更新 | 137763 | 寺田 裕 | 534 | 2020/10/23 | 2025/10/31 | 2030/10/31 | 理由書あり |
| 認定医更新 | 403039 | 林 孝太朗 | 542 | 2020/10/23 | 2025/10/31 | 2030/10/31 | 理由書あり |
| 認定医更新 | 175918 | 前野 雅彦 | 545 | 2020/10/23 | 2025/10/31 | 2030/10/31 | 理由書あり |
| 認定医更新 | 406857 | 越田清祐 | 551 | 2020/10/23 | 2025/10/31 | 2030/10/31 | 理由書あり |
| 認定医更新 | 410842 | 岡 真太郎 | 568 | 2021/6/9 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | 上級医申請あり |
| 認定医更新 | 410884 | 藤川 さやか | 569 | 2021/6/9 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | 旧姓：船崎 |
| 認定医更新 | 403640 | 三好 弥恵 | 573 | 2021/6/9 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 403943 | 外園 真規 | 574 | 2015/4/27 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | 上級医申請あり |
| 認定医更新 | 187638 | 津田 優香 | 576 | 2021/6/9 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | 上級医申請あり |
| 認定医更新 | 175898 | 芝 多佳彦 | 578 | 2021/6/9 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 134935 | 津谷 佳代 | 579 | 2021/6/9 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 187074 | 横山 章人 | 580 | 2021/6/9 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 412873 | 宮國 茜 | 581 | 2021/6/9 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 412872 | 中村 圭吾 | 582 | 2021/6/9 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 172882 | 池田 淳史 | 583 | 2021/6/9 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 404076 | 岡村貞之介 | 586 | 2021/6/9 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 412625 | 岡田 將司 | 589 | 2021/6/9 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 149114 | 依田 陽子 | 591 | 2021/6/9 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 151402 | 加藤千景 | 590 | 2021/6/9 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 183945 | 大家知子 | 207 | 2016/6/8 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 187628 | 杉山弘起 | 215 | 2016/6/8 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 406128 | 川原健介 | 565 | 2021/6/9 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 160210 | 若松里佳 | 218 | 2016/6/8 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 110740 | 平曜輔 | 563 | 2021/6/9 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 194124 | 染谷(廣江)ひとみ | 265 | 2016/10/26 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 407620 | 巽勇介 | 598 | 2021/10/27 | 2025/10/31 | 2030/10/31 | |
| 認定医更新 | 406833 | 小野瀬里奈 | 603 | 2021/10/27 | 2025/10/31 | 2030/10/31 | |
| 認定医更新 | 188736 | 角掛愛 | 605 | 2021/10/27 | 2025/10/31 | 2030/10/31 | |
| 認定医更新 | 193971 | 辻麻衣子 | 240 | 2016/10/26 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 192635 | 関谷紗世 | 244 | 2016/10/26 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 認定医更新 | 417466 | 山本柚衣 | 621 | 2021/10/27 | 2025/10/31 | 2030/10/31 | |

【更新延長願い】

| | 会員番号 | 名前 | 番号 | 登録年月日 | 現有効期間 | 新有効期間 | 延長理由 |
|-------|--------|------|-----|------------|------------|-------|-------|
| 認定医更新 | 183560 | 渡辺由佳 | 167 | 2015/11/11 | 2025/11/30 | | 海外留学中 |
| 認定医更新 | 410257 | 桑島 彩 | 599 | 2021/10/27 | 2026/10/31 | | 海外留学中 |

| | 会員番号 | 名前 | 番号 | 登録年月日 | 現有効期間 | 新有効期間 | 備考 |
|-------|--------|--------|------|------------|------------|------------|-----------|
| 上級医更新 | 40941 | 永峰 道博 | 483 | 1996/3/1 | 2026/2/28 | 2031/2/28 | |
| 上級医更新 | 80218 | 池田 雅彦 | 491 | 1996/3/1 | 2026/2/28 | 2031/2/28 | |
| 上級医更新 | 2571 | 岩谷 眞一 | 500 | 1996/3/1 | 2026/2/28 | 2031/2/28 | |
| 上級医更新 | 1199 | 池永 英彰 | 504 | 1996/3/1 | 2026/2/28 | 2031/2/28 | |
| 上級医更新 | 82546 | 北村 和夫 | 546 | 1996/3/1 | 2026/2/28 | 2031/2/28 | 指導医更新有り |
| 上級医更新 | 24461 | 杉崎新一郎 | 563 | 1996/3/1 | 2026/2/28 | 2031/2/28 | 指導医更新有り |
| 上級医更新 | 89765 | 中澤 祐一 | 573 | 1996/7/1 | 2026/6/30 | | 終身認定医申請有り |
| 上級医更新 | 107688 | 鈴木 敏裕 | 777 | 2001/1/1 | 2025/12/31 | 2030/12/31 | |
| 上級医更新 | 111051 | 吉岡 隆知 | 788 | 2001/1/1 | 2025/12/31 | 2030/12/31 | 指導医更新有り |
| 上級医更新 | 108541 | 大山 秀樹 | 793 | 2001/1/1 | 2025/12/31 | 2030/12/31 | 理由書あり |
| 上級医更新 | 117496 | 西岡 政道 | 805 | 2001/7/1 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 上級医更新 | 133682 | 田中 みどり | 807 | 2001/7/1 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 上級医更新 | 107520 | 尾崎 和美 | 808 | 2001/7/1 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | 指導医更新有り |
| 上級医更新 | 118059 | 二宮 雅美 | 811 | 2001/7/1 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 上級医更新 | 119644 | 仲宗根 歩 | 816 | 2001/7/1 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 上級医更新 | 117492 | 市石 芳博 | 823 | 2001/7/1 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 上級医更新 | 114552 | 今井 元 | 824 | 2001/7/1 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 上級医更新 | 117434 | 岩崎 圭祐 | 825 | 2001/7/1 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 上級医更新 | 85711 | 川島 伸之 | 827 | 2001/7/1 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | 指導医更新有り |
| 上級医更新 | 82548 | 海老原 新 | 828 | 2001/7/1 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | 指導医更新有り |
| 上級医更新 | 119686 | 小林 敏郷 | 833 | 2001/12/1 | 2026/11/30 | 2031/11/30 | |
| 上級医更新 | 151968 | 荒牧 音 | 1230 | 2015/11/11 | 2025/11/30 | 2030/11/30 | |
| 上級医更新 | 167145 | 松下 真美 | 1237 | 2015/11/11 | 2025/11/30 | 2030/11/30 | |
| 上級医更新 | 173155 | 吉居 慎二 | 1248 | 2015/11/11 | 2025/11/30 | 2030/11/30 | 理由書あり |
| 上級医更新 | 403641 | 本郷 智之 | 1279 | 2021/6/9 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 上級医更新 | 160668 | 藤原 千春 | 1280 | 2021/6/9 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 上級医更新 | 181053 | 山本 耕平 | 1281 | 2021/6/9 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 上級医更新 | 187661 | 上村怜央 | 1282 | 2021/6/9 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 上級医更新 | 119527 | 古森有里子 | 812 | 2001/7/1 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 上級医更新 | 154787 | 永山智崇 | 1140 | 2011/6/8 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 上級医更新 | 10705 | 金子貞男 | 147 | 1991/10/1 | 2026/9/30 | 2031/9/30 | |
| 上級医更新 | 141083 | 菊池毅 | 1287 | 2021/10/27 | 2026/10/31 | 2031/10/31 | |
| 上級医更新 | 41977 | 長谷徹 | 185 | 1991/10/1 | 2026/9/30 | 2031/9/30 | 指導医更新有り |
| 上級医更新 | 86170 | 松原在明 | 586 | 1996/7/1 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 上級医更新 | 111524 | 並木泰次 | 822 | 2001/7/1 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 上級医更新 | 160720 | 高橋哲哉 | 1252 | 2016/6/8 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | |
| 上級医更新 | 109245 | 鈴木英明 | 819 | 2001/7/1 | 2026/6/30 | 2031/9/30 | 指導医更新有り |

| | 会員番号 | 名前 | 番号 | 登録年月日 | 現有効期間 | 新有効期間 | 備考 |
|-------|--------|-------|-----|------------|------------|------------|---------|
| 指導医更新 | 82546 | 北村和夫 | 164 | 2002/7/1 | 2026/2/28 | 2031/2/28 | 上級医更新あり |
| 指導医更新 | 24461 | 杉崎新一郎 | 290 | 1996/3/1 | 2026/2/28 | 2031/2/28 | 上級医更新あり |
| 指導医更新 | 111051 | 吉岡隆知 | 312 | 2010/10/27 | 2025/12/31 | 2030/12/31 | 上級医更新あり |
| 指導医更新 | 85711 | 川島伸之 | 317 | 2011/6/8 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | 上級医更新あり |
| 指導医更新 | 82548 | 海老原 新 | 318 | 2011/6/8 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | 上級医更新あり |
| 指導医更新 | 107520 | 尾崎和美 | 418 | 2020/7/3 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | 上級医更新あり |
| 指導医更新 | 62422 | 渡辺義男 | 83 | 1991/10/1 | 2026/9/30 | 2031/9/30 | 上級医更新あり |
| 指導医更新 | 86862 | 伊藤智美 | 422 | 2021/6/9 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | 上級医更新あり |
| 指導医更新 | 62111 | 陸川良智 | 118 | 1991/10/1 | 2026/9/30 | 2031/9/30 | 上級医更新あり |
| 指導医更新 | 105706 | 斎藤達哉 | 187 | 2003/1/1 | 2026/6/30 | 2031/6/30 | 上級医更新あり |
| 指導医更新 | 41977 | 長谷徹 | 185 | 1991/10/1 | 2026/9/30 | 2031/9/30 | 上級医更新あり |
| 指導医更新 | 109245 | 鈴木英明 | 316 | 2011/6/8 | 2026/6/30 | 2031/9/30 | 上級医更新あり |

(認定歯科衛生士審査委員会) 委員長名：湯本浩通

報告事項：

1. 2026年度認定歯科衛生士試験

申請締め切り：2026年7月15日(水)必着

試験日：2026年9月13日（日）午前11時～昼過ぎ（14：00までに終了予定）

会場：AP東京八重洲（東京都中央区）

当日試験担当：井上委員、虎谷先生委員、湯本

審査試験は、テキスト「歯科衛生士のう蝕予防管理テキストブック」をもとに実施

- ・多肢選択問題・マークシート形式で30問、40分
- ・合格基準：60点（60未満の場合＋口頭試問、場合によりレポート作成）
- ・必要に応じて、申請された症例書類をもとに面接を筆記試験時等に実施

<申請書類>

- ・症例様式：症例報告書

提出症例の対象患者：18歳以上。

なお、初診時年齢の縛りはなく、16歳以降に成人と同様の対応で1年以上の経過がある症例であれば提出可能だが、「日本小児歯科学会認定歯科衛生士申請に使用された症例は提出不可。

- ・症例数：1症例（経過観察期間・約1年以上）

- ・申請書

日本歯科保存学会会員歴：1年以上→2026年3月末までに入会していれば申請が可能

日本歯科衛生士会の会員。（入会手続き中は可）

必要研修単位は 23単位です。

- 1.う蝕予防管理に関する歯科医療・保健指導に関する経歴 9単位以上

臨床経験1年につき 3単位

- 2.本会が主催する学術大会または研修会等への出席 14単位以上

(1) 本会学術大会 5単位

(2) 認定歯科衛生士審査委員会（以下「認定審査委員会」という）が認めた歯科衛生士研修会またはシンポジウム 4単位

<申請可能な単位>（直近のもの）

◆2023年度秋季～2026年度春季学術大会(第159～164回大会)

- ・本会学術大会 5単位
- ・歯科衛生士シンポジウム 4単位
- ・認定歯科衛生士教育講演 4単位

◆日本歯科衛生学会第19回学術大会

日本歯科保存学会・日本歯科衛生学会共同企画 4単位（オンデマンド配信のみ）

※2023年度春季学術大会(第158回大会)以前の大会時や日本歯科衛生学会第18回学術大会以前の共同企画の単位（認定審査委員会が認めたもの）も申請可能です。

2. 第164回春季学術大会(鎌倉)における認定歯科衛生士教育講演

認定歯科衛生士審査委員会による認定プログラム(研修単位:4単位)

演者：武藤智美 先生 (公益社団法人日本歯科衛生士会会長・認定歯科衛生士審査委員会委員)

演題：「認定歯科衛生士が果たす責務について考えてみましょう」

座長：湯本浩通 (認定歯科衛生士審査委員会委員長・徳島大学)

3. 第164回春季学術大会(鎌倉)における歯科衛生士シンポジウム

認定歯科衛生士審査委員会による認定プログラム(研修単位:4単位)

テーマ：

「多様化する患者背景に対応したう蝕予防管理の最前線 — リスク評価と歯科衛生士の役割—」

演者：城生 麻里 先生 (昭和医科大学保健医療学部保健医療学教育学 講師)

演題：「リスクに応じたう蝕予防管理—各専門外来における取り組み—」

演者：花岡佑み子 先生 (アップルデンタルセンター)

演題：「予防型歯科医院における歯科衛生士の視点から考えるう蝕予防管理」

演者：渡辺真由美 先生

(神奈川歯科大学歯学部臨床科学系歯科診療支援学講座歯科メンテナンス学分野 診療助手)

演題：「歯科衛生士による歯科治療恐怖症患者への口腔衛生管理支援」

座長：片岡あい子 先生 (神奈川歯科大学短期大学部歯科衛生学科 准教授)

4. 第164回春季学術大会(鎌倉)における歯科衛生士シンポジウム

4月20日付で日本歯科衛生士会より以下プログラムが認定更新生涯研修の指定を受けた。

- ・ 第164回春季学術大会(鎌倉)における認定歯科衛生士教育講演
- ・ 第164回春季学術大会(鎌倉)における歯科衛生士シンポジウム

4. 日本歯科衛生学会・日本歯科保存学会共同動画コンテンツ作成

日本歯科衛生学会幹事会メンバーと日本歯科衛生士会武藤会長とで、今後の日本歯科衛生学会と日本歯科保存学会共同企画のあり方や目的、方向性について協議した。

これまで、共同企画は、日本歯科衛生学会の前日に開催

今年度より日本歯科衛生学会はオンデマンド配信はなく対面開催のみ(決定事項)

今年度(埼玉会場)での予定プログラムが多く適した会場がない

認定歯科衛生士数のさらなる増加を主目的とし、日本歯科衛生士会と保存学会にて協議のうえ、動画コンテンツの数や内容を検討し、作成していく。

動画は、保存学会・日本歯科衛生士会の双方で閲覧できるように環境設定を構築する。

日本歯科衛生士会と日本歯科保存学会の両Home Pageに掲載する方針で検討

また、連携のあり方を「認定歯科衛生士増員を目指す」という目的が主となるならば、

所管を日本歯科衛生学会から日本歯科衛生士会・認定歯科衛生士委員会に移す可能性について、日本歯科衛生士会認定歯科衛生士委員会と日本歯科衛生学会で協議中

5. 認定歯科衛生士審査試験受験者増加対策

- ・ 受験者を増やすため、2026年度以降の提出症例数は1症例とする ⇒ 委員会でも検討継続 (2025年度受験者：5名)

歯周病学会で提出した同一症例でも可 (但し、う蝕に関する病名での予防管理症例)とする。
学会入会は3月までであれば申請可

6. 認定歯科衛生士更新の条件について問い合わせ

新規申請の場合、臨床経験3年以上と記載あり、更新の場合の臨床経験についての質問

⇒ 日本歯科保存学会Home Pageにて「日本歯科衛生士会で更新を受け付け」と記載

7. 試験申請予定者からの問い合わせ

①

8月症例提出の認定衛生士の症例作成に関して、ご質問させていただきたくご連絡いたしました。う蝕予防管理テキストブックの110ページ、(3)う蝕予防マネジメントのCAMBRAについてご質問させていただきたいです。

テキストブックには、従来版はカリスクリーンを用いた項目がありますが、2023年5月の改訂版にはカリスクリーンを用いた項目がございません。

保存学会のテキストブックには一例として従来版が記載されていますが、症例作成にあたって、2023年の改訂版のフォーマットを使用しても問題はございませんでしょうか？

<回答> 症例作成にあたって、2023年の改訂版のフォーマットを使用しても問題はございません。

②

認定歯科衛生士(う蝕予防管理)試験申請を考えております。

現在、書類の準備を始めております。

貴学会HPで確認しましたところ、提出症例の対象患者が18歳以上と明記されておりました。勤務先が小児科クリニックとなっており、初診が18歳以上の子はおりません。最終メンテナンス時に18歳を迎える子は居るのですが、このような症例を対象症例として提出してもよろしいでしょうか。

認定歯科衛生士委員会にて認定歯科衛生士試験の受験要件を協議しました結果、

・16歳以上で申請を可とする方針

*厚労省の「健康日本21」が示す年齢層に基づきますと、

6~15歳は学齢期、16~24歳は青年期

- ・しかし、経過観察期間は約1年以上となりますので、実際に申請時の年齢は17歳以上になる
- ・う蝕管理に関する内容等は、青年期以降を対象とした内容とし、小児歯科と異なるものでなければならぬ
- ・小児歯科の認定歯科衛生士の申請に使用した症例は使用できない。

協議事項：

特になし

(広報 委員会) 委員長名：野杵由一郎

報告事項：

1. ホームページへの掲載について

- ・ 学術大会での企業展示の倫理規定について

各学術大会および学会ホームページの会員と非会員の両ページに掲載した（5月2日）。

協議事項：

なし

(表彰 委員会)

委員長名：柴 秀樹

2025年度 第3回常任理事会報告内容

下記の3名を優秀ポスター賞受賞者〔2025年度秋季学術大会（第163回）〕と決定した。

研究領域A（松風 優秀ポスター賞）

樋谷賢太（北海道大学歯学部歯科保存学教室）

P-21「マテリアルズインフォマティクスを応用した実験的ガラスアイオノマーセメントのデータ駆動型分析」

研究領域B（ジーシー 優秀ポスター賞）

信太実有（九州大学大学院歯学研究院歯周病学分野）

P-86「rM180アメロジェニンによる同種皮膚移植拒絶反応の抑制と創傷治癒促進機構の解明」

研究領域C（カボプランメカ 優秀ポスター賞）

鶴田はねみ（朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野歯冠修復学）

P-1「歯ブラシの摩耗がプラーク除去効果に与える影響の評価」

2025年度 第4回常任理事会報告内容

学会賞・学術賞・奨励賞審査について、以下のことを承認した。

- ・学会賞：本年度退職される6名（資料参照）の理事の先生方を授賞対象とすること
- ・学術賞：2名（資料参照）の応募者を受賞対象者とすること
- ・奨励賞：7名の候補者から成績上位6名の応募者を（資料参照）授賞対象とすること

また、編集委員会による年間優秀論文賞選考結果（3分野、3名）も承認した。

2026年度第1回常任理事会報告内容

1) 2026年度春季学術大会（第164回）の優秀ポスター賞について、研究領域Aは4演題、研究領域Bは3演題、研究領域Cは2演題の応募があったため、各領域長に応募内容の確認を依頼した。なお、研究領域Aについては、担当委員5名による予備選考を実施し、4演題から3演題へ絞り込んだ

2) 第164回学術大会にて、現地での本審査を実施する。

3) 今後の本選考委員による審査対象となる学術大会は以下の通りである。

第164回春季大会（本審査）

第165回秋季大会（予備・本審査）

第166回春季大会（予備審査まで）

4) 表彰式について

第164回学術大会総会にて表彰式を実施する。

協議事項：

- ・2026年度学会賞・学術賞・奨励賞・優秀論文賞・優秀ポスター賞（163回大会）受賞候補者の件

特定非営利活動法人日本歯科保存学会
理事長 北村 知昭 殿

特定非営利活動法人日本歯科保存学会
表彰委員会
委員長 柴 秀樹
副委員長 亀山 敦史
委員 長澤 敏行
多部田康一
和田 尚久
島田 康史
竹立 匡秀
吉村 篤利
湯本 浩通
米田 雅裕
辻本 暁正

受賞候補者推薦書

特定非営利活動法人日本歯科保存学会表彰委員会は、2026年1月26日にZoomにおいて開催しました。応募者は、学会賞に6名、学術賞に2名、奨励賞に7名でした。

提出された学会賞推薦申請書、学術賞応募申請書、奨励賞応募申請書、申請論文などについて慎重な審議の結果、本委員会は受賞候補者を以下の通り選考し、推薦申し上げます。

日本歯科保存学会学会賞（50音順）

【講評】

日本歯科保存学会の各々の専門分野において、多大な研究成果を国内外に発信されてきたこと、ならびに本会の会務運営に極めて著明な貢献を果たしてこられたことから学会賞候補者として、下記の6氏を推薦する。

| 受付 No. | 被推薦者 氏名 | フリガナ | 所 属 | 推薦資格 | 推薦理事 |
|--------|---------|-----------|------------------------------------|-------------|------|
| 1 | 高橋慶壮 | タカハシ ケイソウ | 奥羽大学歯学部歯科保存学講座/ 教授 | 口. 会務に関する貢献 | 北村知昭 |
| 2 | 西村英紀 | ニシムラ エキ | 九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座歯周病学分野/ 教授 | 口. 会務に関する貢献 | 北村知昭 |
| 3 | 沼部幸博 | ヌマベ ユキヒロ | 日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座/ 教授 | 口. 会務に関する貢献 | 北村知昭 |
| 4 | 長谷川篤司 | ハセガワ トクジ | 昭和医科大学歯学部歯科保存学講座総合診療歯科学部門/ 教授 | 口. 会務に関する貢献 | 北村知昭 |
| 5 | 宮崎真至 | ミヤザキ マシン | 日本大学歯学部保存学教室修復学講座/ 教授 | 口. 会務に関する貢献 | 北村知昭 |
| 6 | 米田雅裕 | ヨネダ マサヒロ | 福岡歯科大学総合歯科学講座総合歯科学分野/ 教授 | 口. 会務に関する貢献 | 北村知昭 |

(2) 日本歯科保存学会学術賞 (50音順)

【講評】

2名からの応募があった。選考に当たっては、主として以下の項目について考慮した。

- 1) 一連の研究成果
- 2) 学術領域への貢献度
- 3) 各委員のコメント

慎重審議の結果、下記の2氏を学術賞候補者として推薦する。

1. 進藤 智 シンドウ サトル

所 属：Nova Southeastern University College of Dental Medicine

応募論文：Piezo1 protects against inflammatory bone loss via a unique Ca²⁺-independent mechanism in osteoclasts.

Satoru Shindo, Shin Nakamura, Avery Hawthorne, Alireza Heidari, Maria Rita Pastore, Motoki Okamoto, Maiko Suzuki, Manuel Salinas, Takumi Memida, Dmitriy Minond, Alexander Bontempo, Mark Cayabyab, Yingzi Yang, Janet L Crane, Maria Hernandez, Saynur Vardar, Patrick Hardigan, Xiaozhe Han, Steven Kaltman, Toshihisa Kawai.

Frontiers in Immunology 16:1661538, 2025

上記他4編

2. 高橋 雄介 タカハシ ユウスケ

所 属：大阪大学歯学部附属病院保存科

応募論文：Novel Functional Peptide for next-generation vital pulp therapy.

M. Watanabe, M. Okamoto, S. Komichi, H. Huang, S. Matsumoto, K. Moriyama, J. Ohshima, S. Abe, M. Morita, M. Ali, K. Takebe, I. Kozaki, A. Fujimoto, K. Kanie, R. Kato, K. Uto, M. Ebara, A. Yamawaki-Ogata, Y. Narita, Y. Takahashi, and M. Hayashi

Journal of Dental Research 102 : 322-330, 2023

上記他4編

(3) 日本歯科保存学会奨励賞 (50音順)

【講評】

7名からの応募があった。選考に当たっては、以下の選考基準に従った。

- 1) 独創性：課題の着想、研究方法の選択、結果の解釈などに独自の見解が認められるか。
- 2) 論理性：実験の展開、結果の考察、結論の導き方などに妥当性がみとめられるか。
- 3) 発展性：研究の将来性、さらなる成果が期待できるか。
- 4) 貢献性：保存学領域の研究、教育、臨床への波及効果は大きいのか。

選考の結果、各委員の評定点数の総得点において、以下の6氏が共に高得点であったことより、奨励賞候補者として理事会に推薦する。

1. 大鹿 水由季 大鹿 ミユキ

所 属：愛知学院大学歯学部保存修復学講座

応募論文：Wear Resistance of Light-Cure Resin Luting Cements for Ceramic Veneers.

Journal of Functional Biomaterials 16巻 Article 5 (2025年発行)

研究発表：プライマーあるいはユニバーサルアドヒーズの併用がユニバーサルレジメンメントのPEEKブロックに対する接着耐久性に及ぼす影響

(2025年度 秋季学術大会発表)

2. 加藤 邑佳 カトウ ヨシ

所 属：明海大学歯学部機能保存回復学講座保存治療学分野

応募論文：Establishment of Dental Pulp Cell Culture System for Analyzing Dentinogenesis in Mouse Incisors.

Dentistry Journal 13巻 270頁 (2025年発行)

研究発表：マウス歯髓細胞培養システムを用いたOxytocinの象牙質形成作用

(2025年度 秋季学術大会発表)

3. 川柳 智暉 かわやなぎ トモキ

所 属：広島大学大学院医系科学研究科歯髓生物学研究室

応募論文：The oral cavity is a potential reservoir of gram-negative antimicrobial-resistant bacteria, which are correlated with ageing and the number of teeth.

Heliyon 10巻 21号 e39827 (2024年発行)

研究発表：口腔・鼻腔から分離したグラム陰性薬剤耐性菌のゲノム解析、統計学的解析および細菌叢解析による多角的検討 (2025年度 春季学術大会発表)

4. 神田 ひかる かんた ひかる

所 属：大阪大学大学院歯学研究科 歯科保存学講座

応募論文：Multimodal imaging offers new insights into understanding ion penetration in dentin caries using an animal model.

Journal of Dentistry 164巻 106228頁 (2025年発行)

研究発表：in vivo う蝕修復モデルを用いた象牙質の多面的評価法の検討 (2023年度 秋季学術大会発表)

5. 高原信太郎 たかはら しんたろう

所 属：新潟大学歯学総合病院 歯の診療科

応募論文：Influence of Tooth Maturity on Healing Outcomes in Regenerative Endodontics.

Journal of Dental Research 104巻10号 1147頁-1157頁 (2025年発行)

研究発表：再生歯内療法モデルラットを用いた歯根成長段階による治療形態の比較解析 (2023年度 春季学術大会発表)

6. 森 心汰 もり しんた

所 属：東京歯科大学歯周病学講座

応募論文：Therapeutic Potential of Local Application of Fibroblast Growth Factor-2 to Periodontal Defects in a Preclinical Osteoporosis Model.

Bioengineering 12巻 7号 748頁 (2025年発行)

研究発表：塩基性線維芽細胞細胞増殖因子 (FGF-2) の局所応用が歯周組織治療に及ぼす影響-骨粗鬆症状態下での検討- (2025年度 春季学術大会発表)

以上

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会
表彰委員会 委員長 柴 秀樹 殿

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会
編集委員会委員長 武市 収

日本歯科保存学会優秀発表賞（年間優秀論文賞）受賞者について

2025年度 特定非営利活動法人日本歯科保存学会優秀発表賞（年間優秀論文賞）受賞者について、編集委員会は慎重な審議の結果、日本歯科保存学雑誌68巻およびOperative Dentistry, Endodontology and Periodontology (ODEP) 5巻1号掲載論文から下記の3論文を受賞論文と決定しましたのでご報告いたします。

記

保存修復学分野 ジーシー優秀論文賞

酸化グラフェン超薄膜と口腔洗浄含嗽剤による抗菌性耐水コーティング（68巻3号掲載）

著者：西田絵利香，金本佑生実，石井花英，郷田 隼，宮治裕史

筆頭著者所属：北海道大学大学院歯学研究院 口腔総合治療学教室

歯内療法学分野 カボプランメカジャパン優秀論文賞

Expression of Small Integrin-binding Ligand N-linked Glycoproteins During Early Pulp Wound Healing in Rat Molars (SIBLING Proteins in Early Pulp Healing)

（ODEP 5巻1号掲載）

著者：枝並直樹，吉羽邦彦，Razi Saifullah Ibn Belal，吉羽永子，竹中彰治，大倉直人，

高原信太郎，井田貴子，Rosa Baldeon，Susan Kasimoto，Pemika Thongtade，野杻由一郎

筆頭著者所属：新潟大学大学院医歯学総合研究科 う蝕学分野

歯周病学分野 松風優秀論文賞

Type H Vessels Are Progressively Lost in a Mouse Model of Periodontitis :

A 3D Tissue-clearing Analysis of Alveolar Bone（ODEP 5巻1号掲載）

著者：進藤 智，中村 心，進藤里沙，上田智也，Donald Pham，足立哲也，

岡本基岐，鈴木麻衣子，細川義隆，細川育子，柴 秀樹，佐々木 元，

Saynur Vardar，河井敬久

筆頭著者所属：Department of Oral Science and Translational Research，

College of Dental Medicine, Nova Southeastern University

以上

(定款 委員会) 委員長名：柴 秀樹

報告事項：

ありません。

協議事項：

ありません。

(倫理・COI委員会)

委員長名：向井 義晴

報告事項：

1) 学術大会時における企業展示ルールを策定し、広報委員会により学会ホームページに掲載された。今般策定された企業展示ルールに逸脱するような展示が確認された場合に適切な対応を取るためにも、法律（個人情報保護法等）の遵守と企業側のプライバシーポリシーに関する宣誓書を事前に提出することを追記していく方向で引き続き倫理委員会で協議していくこととなった。また、企業展示および提出書類に関して何らかの問題が生じ、法的な判断を迫られた場合に備えて、倫理委員会のメンバーに弁護士を加え必要に応じて弁護士の加わった倫理審査委員会を開催して判断を仰ぐこととなった（月額報酬に1万円+税 増）。

2) 認定症例提出ならびに上級医審査に臨む先生方に対するメッセージ内容について、倫理委員会内ならびに認定委員会委員長とメール会議を行い、以下の内容が常任理事会で承認された。掲載場所は広報委員会で検討中。

1. 申請症例に使用する医療機器・歯科材料は国内においてその使用が認証・承認されているものに限る。但し、適用外の医療機器・歯科材料の使用については、事前に然るべき手続き等を行って使用した場合に限り承認する。

2. 使用する口腔内写真ならびにエックス線写真は申請者自身が撮影したものに限る。不適切な加工や既存刊行物からの引用は認められない。

3. 施術日、経過観察日は診療録どおりに正確に記載すること。

4. 上記3点のいずれかまたは全てが遵守されていないと判明した場合は合格後であってもそれを取り消すことがある。

協議事項：

なし

特定非営利活動法人日本歯科保存学会 次期理事長選出スケジュール

(新理事長任期：2027年4月1日～2029年3月31日)

| | |
|-----------------|--|
| 2025年 6月 4日 | 春季理事会にて次期理事長選出スケジュールの確認 |
| 2025年 7月 1日 | 選挙管理委員会による被選挙人の確認（被選挙人の定年調査） |
| 2025年 7月18日26日 | ⇒返送締切 |
| 2025年 7月31日 | 選挙管理委員会による理事長被推薦者の選考 （被選挙人名簿を理事に郵送（被推薦者の指名）） |
| 2025年 8月23日 | ⇒返送締切 |
| 2025年 8/23以降 | 選挙管理委員会開催（被推薦者の集計） →推薦の集計結果を常任理事会に報告 |
| 2025年 10月 3日 | 常任理事会にて次期理事長候補者若干名選出（選出候補者） →常任理事会より選出候補者に承諾を得る |
| 2025年 10月 3日以降 | 常任理事会より選挙管理委員会に選出過程の説明書を提出 →「選出過程説明書」を理事に郵送 選挙管理委員会より選出候補者へ所信表明の提出依頼 |
| 2025年10月24日前後 | 選出候補者より選挙管理委員会に所信表明を提出 →「所信表明」を理事に郵送 |
| ※秋季理事会での投票 | |
| 2025年11月 5日 | 秋季理事会にて投票により次期理事長候補者1名を選出・承認 同日理事会前に選挙管理委員会開催 （投票方法の確認・投票用紙一式の最終確認） |
| 2026年 1月 9日 | 次期理事長選挙（理事・評議員に選挙投票用紙発送） |
| 2026年 1月23日 | 投票締切日 |
| 2026年 2月10日 | 選挙管理委員会（開票作業） |
| 2026年 2月27日 | 常任理事会に選挙結果上程 |
| 2026年 6月 3日、4日 | 次期理事長承認 （理事会6/3→評議員会・総会6/4） |
| 2026年11月18日、19日 | 次期執行部(常任理事・監事)承認 （理事会11/18→評議員会・総会11/19） |
| 2027年 4月 1日 | 新執行部発足 |

4) その他の報告

(1)2025年度秋季学術大会(第163回)開催報告(吉村大会長)

日本歯科保存学会2025年度秋季学術大会開催報告

皆様方のご理解とご協力により、1,575名の参加登録をいただきました。ありがとうございました。事後のオンデマンド開催のアクセス集計、アンケートの結果もご報告させていただきます。今後の学会開催の際に、ご参考になればと思います。

1. オンデマンド・アクセス件数報告
 2. アンケート集計
 3. 収支決算報告
- 日本歯科保存学会

2025年度秋季学術大会
大会長 吉村 篤利

オンデマンド学会 アクセス件数

| | |
|-------------------|-----------------|
| ログイン 11,750 | 歯科衛生士シンポジウム 597 |
| 開会式 251 | 認定研修会 2,264 |
| 特別講演1 727 | 認定歯科衛生士教育講演 592 |
| 特別講演2 542 | 口頭発表 580 |
| 教育講演 2,006 | ポスター発表 2,159 |
| 学会主導型シンポジウム 2,395 | 閉会式 45 |
| シンポジウム1 1,961 | 表彰式 83 |
| シンポジウム2 817 | 次期学術大会予告 168 |

アンケート回答結果 回答者数 59名

1. 回答者について
 - 1) 職種
 - 歯科医師 51 86%
 - 歯科衛生士 6 10%
 - 歯科技工士 0 0%
 - 学生 0 0%
 - 企業関係者 2 3%
 - その他 0 0%
 - 2) 所属
 - 学校所属 22 37%
 - 開業医 19 32%
 - 病院勤務 7 12%
 - 開業医先勤務 5 8%
 - 企業・研究所 3 5%
 - その他 3 5%
 - 3) 日本歯科保存学会会員区分
 - 学会会員 58 98%
 - 学会非会員 1 2%
- 4) 年齢
 - 20代 1 2%
 - 30代 11 19%
 - 40代 14 24%
 - 50代 23 39%
 - 60代 7 12%
 - 70代以上 3 5%
2. 開催形式について
 - 1) 現地集合型+オンデマンド配信の両建てによる開催について
 - 満足 53 90%
 - やや満足 6 10%
 - どちらとも言えない 0 0%
 - やや不満 0 0%
 - 不満 0 0%
 - 2) オンデマンド配信期間期間について
 - 短い 11 19%
 - やや短い 32 54%
 - 丁度良い 15 25%
 - やや長い 1 2%
 - 長い 0 0%

- 3) WEBページの構成・デザインについて
 満足 29 49%
 やや満足 18 31%
 どちらとも言えない 10 17%
 やや不満 1 2%
 不満 1 2%
- 4) 今後の望ましい開催形式について
 現地集合型開催のみにするべき 1 2%
 WEB開催(オンデマンドやライブ)のみにするべき 2 3%
 Hybrid開催(現地開催+WEB)の両建て 55 93%
 その他 1 2%

3. プログラムについて

- 1) 特別講演1の内容
 満足 20 34%
 やや満足 19 32%
 どちらとも言えない 2 3%
 やや不満 0 0%
 不満 1 2%
 視聴(現地・WEB)していない 17 29%

- 2) 特別講演2の内容
 満足 19 32%
 やや満足 21 36%
 どちらとも言えない 0 0%
 やや不満 1 2%
 不満 1 2%
 視聴(現地・WEB)していない 17 29%

- 3) 教育講演の内容
 満足 22 37%
 やや満足 24 41%
 どちらとも言えない 3 5%
 やや不満 0 0%
 不満 1 2%
 視聴(現地・WEB)していない 9 15%

- 4) 学会主導型シンポジウム(マイクロスコープで挑む一歯内・修復・歯周治療の新たな展開)の内容
 満足 37 63%
 やや満足 12 20%
 どちらとも言えない 2 3%
 やや不満 0 0%
 不満 1 2%
 視聴(現地・WEB)していない 7 12%

- 5) シンポジウム1(From Biology to the Clinic: New Frontiers in Regenerative Dentistry Focusing on Inflammaging, Dentin-Pulp Complex, and Periodontal Tissue Regeneration)の内容
 満足 18 31%
 やや満足 24 41%
 どちらとも言えない 3 5%
 やや不満 0 0%
 不満 1 2%
 視聴(現地・WEB)していない 13 22%

- 6) シンポジウム2(接着技術の最前線をCatch Up)の内容
 満足 22 37%
 やや満足 16 27%
 どちらとも言えない 3 5%
 やや不満 0 0%
 不満 1 2%
 視聴(現地・WEB)していない 17 29%

- 7) 歯科衛生士シンポジウムの内容
 満足 6 10%
 やや満足 9 15%
 どちらとも言えない 2 3%
 やや不満 1 2%
 不満 0 0%
 視聴(現地・WEB)していない 41 69%

- 8) 認定研修会の内容
 満足 32 54%
 やや満足 17 29%
 どちらとも言えない 3 5%
 やや不満 1 2%
 不満 1 2%
 視聴(現地・WEB)していない 5 8%

- 9) 認定歯科衛生士教育講演の内容
 満足 7 12%
 やや満足 5 8%
 どちらとも言えない 3 5%
 やや不満 0 0%
 不満 1 2%
 視聴(現地・WEB)していない 43 73%

4. 総合評価
 満足 32 54%
 やや満足 23 39%
 どちらとも言えない 3 5%
 やや不満 0 0%
 不満 1 2%

<その他コメント>

- ①現地開催とweb開催を共に行うほうが、会員にとっては助かると思います。しかしながら、開催校の費用の負担が大きくなりますでしょうか？あるいは学会の負担が大きくなりますでしょうか？
もし、負担がかかるのであれば、学会時以外での対面開催を行なっている常任理事会や委員会をZoom開催のみにすることで、会議室使用料や理事・委員の出張費などを削減につながり、その分、web開催の費用の援助などに回せるようにも思います。その方が、学会会員全員にとって有意義な経費使用であるかと思います。現状もそのようにされているのかもしれませんが、意見の一つとして挙げさせて頂きました。今後ともよろしく願いいたします。
- ②修了証が発行される動画を最初から最後まで見て、修了証発行がされて、もう一度見返すときに「早送り」、「(早) 戻し」の設定がないことに大いに不満があります。(大変魅力的な講演があり、じっくりと繰り返し見返したいものがあつた)
研修単位の修了証を発行しない動画(「早送り」、「(早) 戻し」の設定) サイトもあつたほうが絶対に良いと思います。歯周病学会のオンデマンド配信は、研修単位付与の動画を1度最後まで見ると次から任意の部分を見返すことができるようになります。ご検討よろしく願いします。
- ③WEBも開催していただいて感謝しております。できれば、単位付きの動画にもシークバーを付けてください。操作をミスすると初めからになるのが辛いです。1日で全部視聴できないこともあります。また、聞き逃しや、興味ある演題をもう一度聞きくことを阻害しています。どうかよろしく願いいたします。
- ④インバウンドの増加や会場近くでのイベントの影響でホテルが取りづらく、またホテル側も価格を上げたり開催形式をハイブリッドにさせていただいて助かりました
- ⑤オンデマンド配信のID PWが当日参加だと連絡が来なかった。
早い段階でホテルの手配をしていて、そのときに事前登録していたつもりだったが、まだ事前登録の受け付けをしていなかった。もっと早く受け付けてほしい。
エンドの内容がプアである。講師の選定も不適切。毎回ですが、もっと臨床のできる人を選んでほしい。
再生療法が流行しているが、細菌が関与するとどんな素晴らしい理論も破綻するらしい。細菌感染は前提なので、学会として何らかの対応が必要なのではないか。実現不可能な方法に研究費を使うのは無駄である。
- ⑥これまでのWEB視聴では経験したことがないことですが、視聴途中で突然画面がぼやけ視覚情報の取得が困難となるが多々ありました。当方のインターネット回線に問題があつたのか不明ですが、再度はじめから視聴し直すことになり内容が素晴らしいだけにとても不愉快でした。
- ⑦これまでの大会ではWeb視聴で困難を感じたことはありませんでしたが、今回はMacPCで視聴できずに苦労しました。開会式や閉会式は視聴可能でしたが、講演やシンポジウムが視聴できませんでした。事務局に問い合わせても解決せず、やむなくWindowsPCを借りて視聴しました。
- ⑧可能であれば、現地と配信の両建てを続けてほしい。都合で現地に行けない時でも学会の内容が見れるからありがたいと思います。
- ⑨会場が長崎駅から近く、付近に飲食店も多くあつたためストレス無く現地参加することができた。
- ⑩研修単位になる配信については研修単位取得用のものと再生位置を自由に変えられる視聴用のものを用意してほしい
- ⑪現地参加が困難な場合もあり、経費の問題もあるかと思いますが、是非ともHybrid開催を存続していただければと思います。
- ⑫現地参加でなかつたので、WEB参加可能なのはありがたい

- ⑬今回はWeb開催期間を延長し、さらに参期登録期間も延長してもらえたので良かった。
- ⑭今回は大型イベントと重なって私の周囲でも、ホテルや飛行機が満席で参加したくてもできなかった方々がいまいましたので、ハイブリッド開催を続けてほしいです。
- ⑮今後の学会もオンデマンド配信を続けていただきたいです。
- ⑯歯科保存専門医の更新など共通研修が必須となり、現地開催のみでは継続が難しくなる。また、大会の収益を上げるためにもハイブリッド開催は必要と感じる。
- ⑰主婦はなかなか地方の学会に参加しにくいので、オンデマンドがあって助かっています。
- ⑱他学会とのコラボの内容は興味深く面白い。学会でも開業医に役立つ臨床的な内容を取り上げてもらえると嬉しい。
- ⑲点数を貯める動画において、早送りや巻き戻しができないのが不便。歯周病学会のように見る用と、承認用の動画を2種類用意して欲しい
- ⑳認定歯科衛生士の資格を持っているため歯科衛生士関連の講演にWeb参加いたしました。
こちらの受信環境が原因かもしれませんが教育講演・シンポジウムとも一瞬ではありましたが画面がぼやけて見づらい瞬間がありました。”
- ㉑保存学会の会員数確保のためにもオンライン開催を継続するべきです。現地開催のみになれば更に会員数は減少すると思います。
- ㉒木曜日-金曜日開催から土曜日-日曜日開催に変更して現地開催に足を運びやすくしてほしい。開業医にも参加しやすい日程であればいいなと思います。

日本歯科保存学会2025年度秋季学術大会(第163回) 決算

| 項 目 | 決算 | 備 考 |
|-----------------|------------|-------------------------|
| 参加登録 | 9,440,000 | 10,000 円 × 944 名 |
| 事前・歯科医師区分 | | |
| 事前・歯科衛生士区分 | 265,000 | 5,000 円 × 53 名 |
| 当日・歯科医師区分 | 6,132,000 | 12,000 円 × 511 名 |
| 当日・歯科衛生士区分 | 402,000 | 6,000 円 × 67 名 |
| 展示料 | 1,250,000 | 50,000 円 × 25 コマ |
| 賛助会員 | | |
| 非賛助会員 | 1,740,000 | 60,000 円 × 29 コマ |
| 広告掲載料 | 210,000 | 30,000 円 × 7 社 |
| 賛助会員Web広告掲載料 | | |
| 非賛助会員Web広告掲載料 | 100,000 | 50,000 円 × 2 社 |
| 協賛金 | 450,000 | 50,000 円 × 9 口 |
| 企業協賛 | | |
| セミナー協賛 | 1,875,000 | |
| 開催助成金 | 2,100,000 | |
| 長崎国際観光コンベンション協会 | | |
| 自己資金 | 5,100,000 | |
| 日本歯科保存学会 | | |
| 日本歯科保存学会認定研修会 | 250,000 | |
| 雑収入 | 2,620 | 預金利息等 |
| 学術大会小計 | 29,316,620 | |
| 懇親会参加費 | 770,000 | 10,000 円 × 77 名 |
| [合 計] | 30,086,620 | |
| 【支出の部】 | | |
| 項 目 | 決算 | 備 考 |
| <事前準備諸経費> | | |
| 大会HP・登録/演題処理関係費 | 1,711,150 | JTBシステム・大会HP運営 |
| 印刷物・製作関係費 | 491,200 | ポスター・趣意書・各種封筒類 |
| 通信関係費 | 346,430 | ポスター・趣意書・参加登録者宛プログラム発送等 |
| 雑役費 | 162,900 | 準備委員会運営費・備品消耗品費 |
| <<事前準備諸経費計>> | 2,711,680 | |
| <学術大会当日運営諸経費> | | |
| 会場借用費 | 4,959,403 | 出島メッセ長崎借用費 |
| 映像・音響・照明等機材関係費 | 3,998,755 | 講演会場内、映像・音響・照明等機材関係費 |
| 備品・制作物関係費 | 2,507,650 | 看板・展示パネル・テーブル等レンタル品 |
| 運営諸経費 | 3,215,277 | 会場設営費、ごみ処理費、運営人件費・旅費 |
| オンデマンド開催運営諸経費 | 2,554,825 | 特設サイト構築費・配信関係費等 |
| 講演関係費 | 1,902,660 | 講師料・旅費・記念品等 |
| <<事前準備諸経費計>> | 19,138,570 | |
| <事後処理関係費> | | |
| 印刷物・製作関係費 | 131,798 | 事務印刷費 |
| 通信関係費 | 151,980 | 事務通信費等 |
| <<事後処理関係費計>> | 283,778 | |
| 学術大会支出小計 | 22,134,028 | |
| 懇親会関係費 | 1,865,130 | |
| 飲食代 | | |
| 会場関係費・雑役費 | 215,000 | |
| 懇親会支出小計 | 2,080,130 | |
| [事 務 委 託 費] | 3,008,662 | |
| [消 費 税] | 2,595,564 | |
| [合 計] | 29,818,384 | 残金 ¥268,236 |

(2)2026年度秋季学術大会(第165回)準備状況報告(増田大会長)

2026年度秋季学術大会(第165回)準備状況報告

開催概要

テーマ シン・歯科保存学 — 美しき挑戦 新・真・深
会期 2026年11月19日(木)・20日(金)
会場 キッセイ文化ホール (長野県松本文化会館)
大会長 増田 宜子 (松本歯科大学歯科保存学講座(歯内))
演題登録募集期間 2026年6月4日(木)12:00 ~ 2026年8月3日(月)14:00
事前参加登録募集期間 2026年6月4日(木) 12:00 ~ 2026年10月2日(金) 14:00

日本歯科保存学会2026年度
The 165th meeting of the Japanese Society of Conservative Dentistry
秋季学術大会 第165回

会期 2026年 **11月19日(木)20日(金)**
会場 **長野県松本文化会館(キッセイ文化ホール)**
〒390-0311 長野県松本市水沢69-2
大会長 **増田 宜子**
松本歯科大学 歯科保存学講座(歯内) 教授

シン・歯科保存学
— 美しき挑戦 新・真・深

運営事務局
日本歯科保存学会2026年度秋季学術大会(第165回)運営事務局

(一財)口腔保健協会 コンベンション事業部
〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル
Tel:03-3947-8761 Fax:03-3947-8873 E-mail: jscd165@kokuhoken.jp

(3)今後の学術大会の開催予定と今年度の年間スケジュール(北村理事長)

日本歯科保存学会 学術大会開催予定 (2026年度春季大会～2029年度秋季大会)

| | 日 時 | 会 場 | 担当校・大会長 |
|-----------------------|------------------------------------|--------------------------|----------------------|
| 2026年度春季大会 (第164回) | 2026.6.3 (水) 6/4 (木)～5 (金) | 鎌倉芸術館 | 神歯大・保存修復学 向井義晴教授 |
| 2026年度秋季大会 (第165回) | 2026.11.18 (水) 11/19 (木)～20 (金) | キッセイ文化ホール (長野県松本文化会館) | 松歯大・歯科保存学 増田宜子教授 |
| 2027年度春季大会 (第166回) | 2027.6.9 (水) 6/10 (木)～11 (金) | 名古屋国際会議場 | 愛院大・歯内治療学 諸富孝彦教授 |
| 2027年度秋季大会 (第167回) | 2027.11.3 (水・祝日) 11/4 (木)～5 (金) | 福岡国際会議場 | 福歯大・歯科保存学 松崎英津子教授 |
| 2028年度春季大会 (第168回) | 2028. | 未定 | 北海道大・歯科保存学 友清 淳教授 |
| 2028年度秋季大会 (第169回) | 2028. | 未定 | 広島大・歯髓生物学 柴 秀樹教授 |
| 2029年度春季大会 (第170回) | 2029. | 未定 | 奥羽大・保存修復学 山田嘉重教授 |
| 2029年度秋季大会 (第171回) | 2029. | 未定 | 岡山大・歯科保存学 鈴木茂樹教授 |

(注) 上段：各種委員会、理事会開催日 下段：評議員会、総会、学術大会開催日

- ・ 第9回日韓歯科保存学会学術大会：2007年11月8日～9日（岡山大学担当）
- ・ 第10回日韓歯科保存学会学術大会：2008年11月28日～29日（ソウル）
- ・ 第11回日韓歯科保存学会学術大会：2009年11月12日～14日（済州島）
（大韓歯科保存学会50周年記念大会）
- ・ 第12回日韓歯科保存学会学術大会：2010年10月28日～29日（朝日大学担当）
- ・ 第13回日韓歯科保存学会学術大会：2011年11月10日～11日（ソウル）
- ・ 第14回日韓歯科保存学会学術大会：2012年11月22日～23日（広島大学担当）
- ・ 第15回日韓歯科保存学会学術大会：2013年11月23日～24日（韓国・Gyeongju）
- ・ 第16回日韓歯科保存学会学術大会：2014年10月30日～31日（日歯大新潟担当）
- ・ 第17回日韓歯科保存学会学術大会：2015年11月12日～13日（日大松戸担当）
（日本歯科保存学会60周年記念大会）
- ・ 第18回日韓歯科保存学会学術大会：2016年10月22日～23日（ソウル）
- ・ 第19回日韓歯科保存学会学術大会：2017年10月26日～27日（岩手医科大学担当）
- ・ 第20回日韓歯科保存学会学術大会：2018年11月10日（ソウル）
（日韓歯科保存学会20周年記念大会）
- ・ 第21回日韓歯科保存学会学術大会：2019年11月9日（韓国）（ConsAsia 2019併催）
- ・ 第22回日韓歯科保存学会学術大会：2020年11月16日～30日（明海大学担当：Zoom）
- ・ 第23回日韓歯科保存学会学術大会：2021年11月11日（韓国担当：Zoom）
- ・ 第24回日韓歯科保存学会学術大会：2022年11月10日～11日（岡大担当）
- ・ 第25回日韓歯科保存学会学術大会：2023年11月4日～5日（ソウル）
- ・ 第26回日韓歯科保存学会学術大会：2024年11月21日～22日（大歯大担当）
- ・ 第27回日韓歯科保存学会学術大会：2025年10月25～26日（韓国）
- ・ 第28回日韓歯科保存学会学術大会：2026年11月19日～20日（松歯大担当）

(4)70周年記念式典について(北村理事長)
学会ホームページに開催報告を以下のように掲載した。

特定非営利活動法人日本歯科保存学会 70周年記念式典

このたび、令和7年11月23日(日)に、歴史と伝統を誇る明治記念館(東京都港区)におきまして、本学会創立70周年記念式典・特別講演・祝賀会を盛大に挙行いたしました。
輝かしい70年の歩みを記念する式典には、日本歯科医師会より高橋英登会長(末瀬一彦常務理事様にご代読賜りました)、そして日本歯科医学会より小林隆太郎会長をお迎えし、ご丁寧なる祝辞を頂戴いたしました。



林美加子前理事長のご挨拶



日本歯科医師会常務理事 末瀬一彦様



日本歯科医学会会長 小林隆太郎様

記念式典に続き執り行われました特別講演では、『空を見上げて、宇宙を夢見てー宇宙探査の現場からー』と題し、宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所より曾根理嗣先生をお迎えいたしました。最先端の宇宙探査に関する夢とロマン溢れる貴重なご講演は、ご参加の皆様を深く魅了いたしました。



宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所
曾根理嗣先生

当日は、本学会名誉会員の皆様、関連学会の代表者様、日頃より温かいご支援を賜っております賛助会員企業の皆様など、総勢約110名もの方々にご臨席賜り、会場は終始、和やかかつ華やいだ雰囲気になりました。

記念式典・特別講演に続き執り行われました祝賀会では、皆様の笑顔が溢れる中、本学会の更なる発展を誓い合う、記念すべき一日となりました。これもひとえに皆様方の長年にわたるご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

今後とも、本学会の活動に変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

70周年記念式典 収支決算報告書

(収入の部)

| 項 目 | 金 額 | 備 考 |
|---------|-----------|-----------------------|
| 特別事業費より | 3,000,000 | |
| 会費 | 450,000 | 10,000 円×45 名 (理事・監事) |
| ご祝儀 | 1,000,000 | 49 名・団体 |
| 合 計 | 4,450,000 | |

(支出の部)

| 項 目 | 金 額 | 備 考 |
|--------|-----------|--------------------|
| 講師接遇費 | 104,000 | 謝礼・交通費・事前打ち合わせ |
| 運営費用一式 | 3,479,022 | 口腔保健協会コンベンション事業部委託 |
| 事務局費 | 52,000 | 事務局休日出勤 2 名 |
| 交通費 | 52,000 | 林前理事長分 (理事長代理として) |
| 合 計 | 3,687,022 | |
| | | |
| 収支差額 | 762,978 | 本会計へ繰入 |

| | | |
|-----|---|--|
| 未払金 | 0 | |
|-----|---|--|

(5)日本歯科医学会報告(北村理事長)

・日本歯科医学会会長賞選考結果

林 美加子先生が研究部門にて授賞者に選出された。



日歯学会発第110号

令和8年1月22日

日本歯科保存学会

理事長 北村 知昭 様

日本歯科医学会
会長 小林 隆太郎



令和7年度日本歯科医学会会長賞授賞者の選考結果について

謹啓 時下益々ご清祥のことと慶賀に存じます。

平素は、本学会会務運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、貴職からご推薦いただきました標記候補者につきましては、本学会顕彰審議会ならびに理事会において厳正なる審査の結果、授賞者に決定いたしましたので通知いたします。

なお、本学会第117回評議員会（令和8年2月17日開催）において授賞式を執り行うことを申し添えます。

謹言

記

○ 林 美加子 氏（本学会会長賞授賞基準第3条第一号該当）

・令和8年度診療報酬改定対応について

1. (1)診療報酬改定において対応する優先度が高い技術
①うち、学会等から医療技術評価分科会に提案のあったもの

| 未・既 区分 | 整理番号 | 申請技術名 | 申請団体名 | 評価(案) | ページ番号 |
|-----------|--------|-------------------------------------|----------|-------------------|-------|
| 既 | 413201 | 上顎骨悪性腫瘍手術ならびに下顎骨悪性腫瘍手術における超音波切削機器加算 | 日本口腔外科学会 | 提案について妥当性が示されている。 | 2844 |
| 既 | 427201 | NiTiロータリーファイルによる根管形成加算の施設基準の見直し | 日本歯科保存学会 | 提案について妥当性が示されている。 | 2895 |

1. (2)医療技術評価分科会としては、今回改定では対応を行わない技術
①うち、学会等から医療技術評価分科会に提案のあったもの

| 未・既 区分 | 整理番号 | 申請技術名 | 申請団体名 | 評価(案) | ページ番号 |
|-----------|--------|---|----------|--------------------------|-------|
| 未 | 427101 | CAD/CAMインレー保護コーティング | 日本歯科保存学会 | 評価すべき医学的有用性が十分に示されていない | 2881 |
| 未 | 427102 | 根面露出象牙質硬さ検査 | 日本歯科保存学会 | 評価すべき医学的有用性が十分に示されていない | 2885 |
| 既 | 427202 | 重度要介護高齢者等に対する充填処置加算 | 日本歯科保存学会 | 別途評価を行うべき根拠が十分に示されていない。 | 2899 |
| 既 | 427203 | 臼歯複雑窩洞充填時の隔壁加算 | 日本歯科保存学会 | 別途評価を行うべき根拠が十分に示されていない。 | 2904 |
| 既 | 427204 | 直接歯髄保護処置における特定保険医療材料料としてMineral Trioxide Aggregate (MTA)の算定 | 日本歯科保存学会 | 再評価すべき医学的有用性が十分に示されていない。 | 2909 |
| 既 | 427206 | 電氣的根管長測定検査における根管側枝検査加算 | 日本歯科保存学会 | 別途評価を行うべき根拠が十分に示されていない。 | 2919 |
| 既 | 427207 | 一部抜直の廃止 | 日本歯科保存学会 | 再評価すべき医学的有用性が十分に示されていない。 | 2923 |

2. 医療技術評価分科会における評価の対象とならない提案又は中医協総会において一部若しくは全部が議論された提案
①うち、学会等から医療技術評価分科会に提案のあったもの

| 未・既 区分 | 整理番号 | 申請技術名 | 申請団体名 | 備考 | ページ番号 |
|-----------|--------|---------------|------------|---|-------|
| 未 | 382105 | 手術時医療材料安全廃棄料 | 日本臨床整形外科学会 | 制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。 | 2713 |
| 未 | 406101 | 3Dプリント義歯 | 日本顎咬合学会 | 中医協総会において、当該提案の全部又は一部に係るテーマについて議論が行われている。 | 2787 |
| 未 | 427103 | う蝕リスク検査 | 日本歯科保存学会 | 使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。 | 2890 |
| 既 | 427205 | CAD/CAMインレー修復 | 日本歯科保存学会 | 中医協総会において、当該提案の全部又は一部に係るテーマについて議論が行われている。 | 2913 |

FDI制作声明対応についてはう蝕治療ガイドライン作成小委員会にて検討を行った。

日 歯 発 第 8 8 号

令和 8 年 4 月 1 5 日

(学 術 課 扱 い)

日 本 歯 科 医 学 会
会 長 小 林 隆 太 郎 様

公益社団法人 日本歯科医師会
会 長 高 橋 英 登



FDI 世界歯科大会総会において審議予定の
FDI 政策声明案の検討について (ご依頼)

平素より本会会務運営に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年 9 月にプラハにて開催される標記会議において、添付資料にあります FDI 政策声明案が審議される運びとなっております。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮に存じますが、下記の貴学会分科会からの政策声明案の内容に関わる修正点および当該政策声明案に対するご意見を、是非とも賜りたく、お願い申し上げます。なお、学会名を記載させていただきましたが、貴学会のご判断で、関連する他の学会も指名していただいても結構です。

ご意見の取り纏めにつきましては、添付の記入用紙に、英文でご記入の上、6 月 1 日 (月) までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

記

政策声明案

① Basic Dental Education (基礎歯科教育)

* 日本歯科医学教育学会

② Bisphenol A in Dentistry (歯科医療におけるビスフェノール A)

* 日本歯科薬物療法学会

③ Lifelong Oral Health (生涯にわたる口腔保健)

* 日本口腔衛生学会

④ Minimally Invasive Intervention for Caries Management (MIICM)



(う蝕管理のための最小侵襲介入)

* 日本歯科保存学会

⑤ Radiation Safety in Dentistry (歯科における安全な放射線)

* 日本歯科放射線学会

【添付資料】

① FDI からの送付状 ② 記入用紙 ③ FDI 政策声明案 (英)

※ 貴会からの回答は②記入用紙に英文でご記入願います。

※ なお、FDI 政策声明案の日本語訳をご参考までに、5 月中旬を目途に改めてお送りさせていただきます。

FDI POLICY STATEMENT

Minimally Invasive Intervention for Caries Management (MIICM)

Revised version adopted by the FDI General Assembly: 2026, Prague, Czech Republic

Revised version adopted by the FDI General Assembly: 2016, Poznań, Poland

Original version adopted by the FDI General Assembly: 2002, Vienna, Austria

CONTEXT

Dental caries remains one of the most prevalent noncommunicable diseases worldwide. Since the 2016 revision of this policy statement, advancements in evidence-based caries management and a refined understanding of Minimal Intervention Dentistry have emerged. Minimally Invasive Intervention for Caries Management (MIICM) prioritizes early caries detection and conservative treatment strategies to maintain tooth integrity while improving patient outcomes. This sustainable approach aligns with contemporary demands for patient-centered dental care through preventive protocols and minimally disruptive therapeutic interventions.

Dental caries is a demineralization process. It can be arrested or reversed in its early stages through patient-centered strategies, including dietary sugar reduction, twice-daily biofilm removal with tooth brushing and interdental cleaning, and use of fluoride toothpaste along with bioactive materials. Professionally applied fluoride therapies (varnish or gel) and dental sealants remain foundational. Researchers continue to explore advanced dental materials to remineralize initial carious lesions¹.

MIICM integrates contemporary diagnostic tools, risk assessment protocols, and preventive-therapeutic strategies to manage initial dental caries. MIICM focuses on early detection and prevention of initial caries. Visual-tactile examination with aid of advanced technologies facilitates precise detection of carious lesions and assessment of carious lesion activity and risk². Validated risk assessment tools guide clinicians in selecting evidence-based interventions and tailoring intervals of supporting care.

SCOPE

Minimally invasive dentistry focuses on selectively removing only irreversibly demineralized enamel and dentin while preserving healthy tissue³. This approach intentionally leaves carious dentin beneath restorations, as evidence shows such retained lesions remain stable without causing clinical complications⁴. In its early stages, the demineralization process of caries activity can be arrested or even reversed⁵. Evidence supports repairing defective restorations over replacement, reducing unnecessary treatment, and preserving tooth integrity⁶.

The MIICM approach focuses on conserving tooth structure through six core principles: preventive strategies to maintain sound teeth, early detection of carious lesions, assessment of caries risk and activity, remineralization of non-cavitated lesions, personalized recall intervals, minimally invasive operative techniques, and restoration repair over replacement where clinically appropriate.

UNIVERSAL POLICY PRINCIPLES

MIICM is a prevention-oriented, patient-centered, evidence-based practice. Its core principles include equitable access, clinical sustainability, and scientific integrity, ensuring treatments are both biologically effective and socially responsible.

POLICY

The FDI supports the integration of MIICM into prevention-focused, personcentered oral-health systems. MIICM aligns with evidence-based practice by prioritizing early identification, risk-based decision making, and minimally invasive care. Stakeholders at all levels are encouraged to promote MIICM through education, implementation, and research that strengthen equitable access and long-term oral-health outcomes.

KEYWORDS

Minimal Intervention Dentistry, dental caries, caries prevention, caries management, minimally invasive restoration.

DISCLAIMER

This statement reflects the best available evidence at the time of publication. Implementation should consider cultural, economic, and clinical contexts.

REFERENCES

1. Zhang OL, Niu JY, Yin IX, Yu OY, Mei ML, Chu CH. Bioactive Materials for Caries Management: A Literature Review. *Dent J*. 2023 Feb 23;11(3):59.
2. Tassery H, Levallois B, Terrer E, Manton DJ, Otsuki M, Koubi S, Gugnani N, Panayotov I, Jacquot B, Cuisinier F, Rechmann P. Use of new minimum intervention dentistry technologies in caries management. *Aust Dent J*. 2013;58: 40-59.
3. Widbiller M, Weiler R, Knuttel H, Galler KM, Buchalla W, Scholz KJ. Biology of selective caries removal: a systematic scoping review protocol. *BMJ Open*. 2022 Feb 17;12(2):e061119.
4. Schwendicke F, Frencken JE, Bjorndal L, Maltz M, Manton DJ, Ricketts D, Van Landuyt K, Banderjee A, Campus G, Domejean S, Fontana M, Leal S, Lo E, Machiulskiene V, Schulte A, Splieth C, Zandona AF, Innes NPT. Managing carious lesions: Consensus recommendations on carious tissue removal. *Adv Dent Res*. 2016; 28(2):58-67.
5. Chaiwat A, Chunchacheevachaloke E, Kidkhunthod P, Pakawanit P, Ajcharanukul O. Enamel Remineralization and Crystallization after Fluoride Iontophoresis. *J Dent Res*. 2023 Apr;102(4):402-411.
6. Fernandez E, Martin J, Vildosola P, Oliveira Junior OB, Gordan V, Mjor I, Bersezio C, Estay J, de Andrade MF, Moncada G. Can repair increase the longevity of composite resins? Results of a 10-year clinical trial. *J Dent*. 2015 Feb;43(2):279-86.

全般的なご意見（案）：

う蝕管理における低侵襲介入（MIICM）の考え方、6つのアプローチについては、健全歯質の維持を重視する観点から賛同する。そのうち、低侵襲歯科治療におけるう蝕象牙質の選択的除去について、日本では、GRADEアプローチに基づく学会診療ガイドラインにおいて、「暫間的間接覆髄によるう蝕除去」が推奨されている。

今後、教育、臨床、および研究を通じた十分な議論のもと、「う蝕病変の管理」の観点から、う蝕象牙質の選択的除去に関する考え方について整理・検討を進め、追加情報発信を行う必要があると考えられる。

(6)日本歯科医学会連合報告(北村理事長)

野杵理事が出席した。

一般社団法人日本歯科医学会連合 令和7 (2025) 年度臨時総会 次第

開催日時 令和8 (2026) 年3月13日 (金) 15:30-16:30 (予定)

開催形式 オンライン

開会の辞 宮崎副理事長

挨拶 安井理事長

議事録確認

1) 令和7 (2025) 年度定時総会 資料1 (P1-3)

議事 (審議事項)

第1号議案 令和8 (2026) 年度事業計画に関する件 資料2 (P4-6)

定款第13条第三号

報告, 連絡事項

1. 総務報告 (安井総務担当) 資料3 (P7-22)

1) 一般社団法人日本CST監理・支援機構 (P7-9)

2) 理事会議事録 (P10-20)

3) 庶務報告 (P21-22)

2. 財務報告 (柳井財務担当) 資料4 (P23)

1) 令和8 (2026) 年度予算について (P23)

3. 委員会報告 資料5 (P24-44)

1) 将来構想推進委員会 (安井担当役員)

2) 政策連携渉外委員会 (安井総務担当) (P24)

3) 医療職連携委員会 (柳井担当役員) (P25)

4) 企画広報委員会 (宮崎担当役員)

5) 大型研究推進委員会 (安井担当役員)

6) 国際活動委員会 (細川担当役員) (P26-31)

7) 医療安全調査委員会 (末瀬担当役員) (P32-37)

8) ICT活用委員会 (一戸担当役員) (P38-44)

4. 臨時委員会等報告 資料6 (P45-55)

1) 歯学系学会集合体組織検討ワーキンググループ (安井担当役員) (P 45-48)

2) 商標登録展開ワーキンググループ (柳井担当役員) (P49-50)

3) 顎骨骨密度デンタルエックス線画像診断に関する検討ワーキンググループ (柳井担当役員) (P51-53)

4) 歯科技工士学術活動支援ワーキンググループ (柳井担当役員) (P54)

5) 歯科衛生士学術活動支援ワーキンググループ (柳井担当役員) (P55-56)

5. 日本歯科医学会連合雑誌について (柳井担当役員) 資料7 (P57-58)

6. Asian Pacific Journal of Dentistry (APJD) について (柳井担当役員) 資料8 (P59-61)

7. その他

協議事項

その他

閉会

(7)日本歯科専門医機構報告(北村理事長、島田歯科保存専門医認定委員長)
A)歯科保存専門医運用審査の承認

令和8年3月5日

一般社団法人 日本歯科専門医機構
理事長 今井 裕 殿

「歯科保存専門医制度」の令和7年度第2期運用審査について(報告)

日本歯科専門医機構(以下「本機構」という。)専門医申請学会評価認定委員会(以下「本委員会」という。)は、日本歯科保存学会及び日本歯内療法学会(以下「申請学会」という。)の定める「歯科保存専門医制度」の運用について、その適正性および公正性等を審査・評価した。本委員会は、申請書類に対する書面審査・評価を踏まえ、令和8年2月5日オンラインを併用したハイブリッド形式の会議により、申請学会代表者等へのヒアリングならびに各種申請書類に係るサンプリング審査を実施した。

本委員会は、当該期間中における「歯科保存専門医制度」の運用等について審議の結果、下記の結論に至ったので、本委員会議事概要を添えてここに報告する。

記

本機構制度認証学会名(代表者氏名)
特定非営利活動法人 日本歯科保存学会(北村 知昭)
一般社団法人 日本歯内療法学会(柴 秀樹)

【結論】

本委員会は、ヒアリングにおいて質疑応答の結果、申請学会より改善方法やその時期が提示され、おおむね適正かつ公平に運営されていることを確認した。ただし、議事録の改善(審議内容・評価プロセスの明確化)、申請書類の整備(審査者名・印鑑、臨床実績表確認日、指導医記入)、専門医取得要件(学会発表・論文発表の必要性)、適切な診断名、COIの徹底(企業とのセミナー不認可)、ならびにホームページの改善等についてさらなる協議を続けることを条件に承認した。

以上

専門医申請学会評価認定委員会

| | | | | | |
|------|-------|-----|-------|-----|-------|
| 担当理事 | 鳥山 佳則 | 委 員 | 石垣 佳希 | 委 員 | 小笠原 正 |
| 委員長 | 宮崎 隆 | 委 員 | 細川 隆司 | 委 員 | 新谷 誠康 |
| 副委員長 | 安井 利一 | 委 員 | 河野 章江 | 委 員 | 水口 俊介 |
| 副委員長 | 北村 知昭 | 委 員 | 齋藤 正寛 | 委 員 | 松香 芳三 |
| 副委員長 | 齋藤 功 | 委 員 | 大槻 昌幸 | 委 員 | 原田 浩之 |
| 委 員 | 五十嵐昭子 | 委 員 | 音琴 淳一 | 委 員 | 嶋田 淳 |
| 委 員 | 青木 孝文 | 委 員 | 太田 嘉英 | 委 員 | 里村 一人 |
| 委 員 | 小見山 道 | 委 員 | 近藤 紀之 | 委 員 | 吉成 伸夫 |

一般社団法人日本歯科専門医機構
令和7年度第5回専門医申請学会評価認定委員会
第2期運用審査 第1回ヒアリング
歯科保存専門医 議事概要

1. 日時：令和8年2月5日（木）13時30分～14時45分
2. 場所：日本歯科専門医機構事務局（ハイブリッド形式）
3. 出席者（順不同、敬称略）：
委員 宮崎 隆、安井 利一、音琴 淳一（機構事務局）
鳥山 佳則（担当理事）、五十嵐 昭子、小見山 道、齋藤 正寛（WEB）
欠席 齋藤 功、青木 孝文、石垣 佳希、河野 章江
陪席者 今井 裕（機構事務局）、秋山 仁志（WEB）
4. 挨拶
今井理事長より挨拶があった。
5. 議事録概要
運用審査評価票指摘事項の回答を基に各委員より質疑応答が行われた。その結果概ね適切に運用されていることが確認されたが、以下の指摘があり、対応が求められた。
 - 1) 議事録は審議内容・評価プロセスを明確にし、評価内容がわかるよう改善すること
 - 2) 申請書類の整備：審査者名・印鑑、臨床実績表確認日、指導医欄等記入（空欄で申請しないこと）
 - 3) 専門医取得要件として学会発表・論文発表の必要性について検討する
 - 4) 診断名は診療報酬病名ではなく、学術的に適切な診断名にすべき
 - 5) セミナー実施場所が企業のケースがあり、COI上、機構は企業とのセミナーは研修として認めない方針のため、確認し報告することを要請した
 - 6) ホームページの市民向けの掲載をアクセスしやすくすること及び専門医・研修施設等記載内容の確認を記録に残すこと

以上

B)臨時社員総会対応 (3月6日開催)

島田歯科保存専門医認定委員会委員長が出席した。

一般社団法人日本歯科専門医機構 令和7年度 臨時社員総会 次第

開催日時 令和8年3月5日 (木)16時00分～17時30分 (予定)

開催場所 AP市ヶ谷 5FDルーム(ハイブリッド形式)

1. 開会の辞

2. 挨拶 理事長 今井 裕

3. 社員数ならびに出席社員数

社員数 29団体 (定足数 15団体)

出席社員数 29団体

会場参加 日本歯科医師会、日本歯科麻酔学会、日本顎関節学会、日本障害者歯科学会、日本口腔インプラント学会、日本有病者歯科医療学会、日本口腔外科学会、日本補綴歯科学会、日本歯科医療管理学会、日本小児歯科学会 日本歯科医学教育学会、日本歯科保存学会、日本歯周病学会、日本歯科審美学会、日本顎咬合学会、日本接着歯学会、日本臨床歯周病学会、日本口腔衛生学会、日本口腔内科学会

WEB参加 日本歯科医学会連合、日本レーザー歯学会、日本歯内療法学会、日本歯科放射線学会、日本顎顔面インプラント学会、日本口腔腫瘍学会 日本口腔診断学会、日本老年歯科医学会、日本歯科薬物療法学会、日本矯正歯科学会

陪席 厚生労働省医政局帽科保健課 小澤 諒 課長補佐

4. 議事録の確認 令和7年度定時社員総会議事録 (案)

資料1

5. 報告・連絡

(1) 庶務報告

資料2

(2) 会計報告

資料3

(3) 委員会報告

資料4-1～22

(4) 新たな専門領域に関する協議の進捗状況

資料5

(5) 令和6年度厚生労働省委託事業

資料6

(6) 令和7年度厚生労働省委託事業

資料7-1～5

(7) 令和7年度運用審査について

資料8-1～9

(8) 次期役員候補者選考会議の設遣と委員の選出について

資料9-1～7

(9) 令和7年度ワークショップの開催結果について

資料10-1・2

(10) 令和7年度機構主催共通研修の開催について

資料11

(11) 認定証について

資料12-1・2

(12) 広報活動について

資料13

(13) 日本歯科医師会との連携

資料14-1～3

(14) その他

6. 協議事項

(1) 令和8年度事業計画ならびに予算について

資料15 (当日資料)

(2) 会務運営について

(3) その他

7.閉会の辞

C)令和8年度定時社員総会（6月26日開催予定）

諸富認定委員長が出席予定である。

D)歯科保存専門医認定委員会報告

2026年度第1回委員会を5月7日にオンライン開催で予定している。

2025（令和7）年度歯科保存専門医認定委員会 収支決算報告書
（2025（令和7）年4月1日～2026（令和8）3月31日）

（収入の部）

| 項 目 | 予 算 | 金 額 | 備 考 |
|--------|-----------|-----------|---|
| 前年度繰越金 | 209,413 | 209,413 | |
| 繰入金 | 4,000,000 | 4,000,000 | 日本歯科保存学会より2,700,000円、日本歯内療法学会より1,300,000円 |
| 審査料 | 0 | 0 | |
| 登録料 | 0 | 0 | |
| 利息 | 0 | 689 | |
| 小計 | 4,000,000 | 4,000,689 | |
| 合計 | 4,209,413 | 4,210,102 | |

（支出の部）

| 項 目 | 予 算 | 金 額 | 備 考 |
|-------------------|-------------|-----------|---|
| 事務委託費 | 2,688,840 | 3,040,950 | 224,070円×9か月（含、前年度未払1か月）、341,440円×2か月 |
| 会議費 | 3,000,000 | 544,023 | 認定委員会 59,950円、筆記試験 499,023円 |
| 印刷費 | 200,000 | 371,651 | 事務印刷代 124,151円、歯科保存専門医指導医証作成 247,500円 |
| 通信費 | 33,000 | 74,280 | 宅急便 840円、郵券(切手等) 66,870円、モバイルWiFi 4,150円、振込手数料 2,420円 |
| 広報経費 | 600,000 | 22,000 | 筆記試験オンラインフォーム作成費 22,000円 |
| 雑費 | 46,000 | 1,100 | 文房具 0円、残高証明発行手数料 550円、通帳維持管理料 550円 |
| 日本歯科専門医機構 審査費用 | 2,200,000 | 0 | （運用審査費は歯内・保存各学会で負担するので、本委員会での負担はなし） |
| 合計 | 8,767,840 | 4,054,004 | |
| 次年度繰越金 | △ 4,558,427 | 156,098 | 三菱UFJ銀行 0619279の残高 |
| 未払金 | 0 | 690,800 | |

2026（令和8）年度歯科保存専門医認定委員会 収支予算案

（2026（令和8）年4月1日～2027（令和9）3月31日）

（収入の部）

| 項 目 | 2026予算 | 2025予算 | 収支 | 備 考 |
|--------|-----------|-----------|-----------|--|
| 前年度繰越金 | 156,098 | 156,098 | | |
| 繰入金 | 6,400,000 | 4,000,000 | 2,400,000 | 2026年度の負担割合＝保存67.5：歯内32.5 日本歯科保存学会より4,320,000円、日本歯内療法学会より2,080,000円 |
| 雑収入 | 1,000 | 0 | 1,000 | 利息ほか |
| 小 計 | 6,401,000 | 4,000,000 | 2,401,000 | |
| 合 計 | 6,557,098 | 4,156,098 | 2,401,000 | |

（支出の部）

| 項 目 | 2026予算 | 2025予算 | 収支 | 備 考 |
|--------|-----------|-------------|-------------|--------------------------------------|
| 事務委託費 | 5,122,000 | 2,688,840 | 2,433,160 | 341,440円×15か月（含、運用審査対応費1か月、前年度未払2か月） |
| 会議費 | 600,000 | 3,000,000 | △ 2,400,000 | 認定委員会、筆記試験 |
| 印刷費 | 300,000 | 200,000 | 100,000 | 事務印刷代、歯科保存専門医指導医証作成 |
| 通信費 | 80,000 | 33,000 | 47,000 | 宅急便、郵券（切手等）、モバイルWiFi、振込手数料 |
| 広報経費 | 400,000 | 600,000 | △ 200,000 | 筆記試験オンラインフォーム作成費、ホームページ制作費 |
| 雑費 | 10,000 | 46,000 | △ 36,000 | 文房具、残高証明発行手数料、通帳維持管理料 |
| 合 計 | 6,512,000 | 6,567,840 | △ 55,840 | |
| 次年度繰越金 | 45,098 | △ 2,411,742 | 2,456,840 | 三菱UFJ銀行 0619279の残高 |
| 未 払 金 | 0 | 0 | | |

(8)日本学術会議関係報告(北村理事長)

令和8年10月から6年間の会員候補者推薦依頼があり、北村理事長を推薦した。

(9)日本歯学系学会協議会報告(北村理事長)

選挙の結果、北村理事長が次期理事候補に選出された。

一般社団法人日本歯学系学会協議会 (Council of Japan Dental Science of Societies)
〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル4階 口腔保健協会内
TEL : 03-3947-8891 FAX : 03-3947-8341
E-mail : cjds@kokuhoken.or.jp

2026年4月14日

特定非営利活動法人日本歯科保存学会
北村 知昭 先生

一般社団法人日本歯学系学会協議会
理事長 今井 裕

理事選出に伴う選挙開票結果及び理事就任のお願い

拝啓

春暖の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は会務運営にご協力いただきまして、厚くお礼申し上げます。

2026年3月31日に本協議会理事選挙の開票作業が行われ、その結果、貴学会よりご推薦いただきました

北村 知昭 先生

が選出されました事をご通知させていただきます。

次期役員につきましては2026年6月に開催の社員総会にて承認いただき、2年後の定時社員総会終結時までの任期となりますので、今後ともご協力いただきますようお願い致します。

正式案内は後日郵送、メールにてご連絡させていただきますが、2026年6月16日(火)に開催されます総会の前(13時~13時30分予定)にZoomにて次期理事予定者の会を開催し、総会に向けて準備をさせていただく予定です。詳細につきましては、後日メールにてご連絡いたします。お忙しい所申し訳ありませんが、あらかじめご理解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

(10)歯学系学会社会保険委員会連合会報告(北村理事長)

次期役員候補に関するメール持ち回り会議が開催された。

協議の結果、承認：28学会、不承認：0学会、未回答：2学会にて以下役員案が承諾された。

歯学系学会社会保険委員会連合 2026・2027年度(2026年4月1日~2028年3月31日)役員(案)

| | |
|------|-------------------------|
| 会 長 | 中納 治久 ((公社) 日本矯正歯科学会) |
| 常任委員 | 會田 英紀 ((公社) 日本補綴歯科学会) |
| | 岩渕 博史 ((一社) 日本歯科薬物療法学会) |
| | 上田 倫弘 ((公社) 日本口腔外科学会) |
| | 小牧 基浩 ((特非) 日本歯周病学会) |
| | 阪口 英夫 ((一社) 日本老年歯科医学会) |
| | 鈴木 広幸 ((公社) 日本小児歯科学会) |
| 監 事 | 今井 裕 |
| | 久光 久 |
| 顧 問 | 外木 守雄 ((一社) 日本口腔内科学会) |

(敬称略 50音順)

(11)消費税・インボイス対応について(北村理事長、村松常任理事)

顧問税理士より「令和7年度の課税売上が1千万円を超えましたので、令和9年度から課税事業者(消費税納付対象法人)となります」旨、連絡があった。

消費税対応にあたって、以下2点が主たる対応となる、

- 1) インボイス番号の取得
- 2) 認定関係の申請料対応の確認(現行の申請料+消費税とする)
※歯科保存専門医の申請料・審査料も各学会入るので、同様対応予定。

→11月の理事会で関係諸規約の改正を行い、2027年度より適用する予定である。

(12)その他

- ・厚生労働省「歯科健診等のあり方等に関する検討会」構成委員推薦のお願い(北村理事長)
北村理事長を推薦として回答した。

医政発0203第1号
令和8年2月3日

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会
理事長 北村 知昭 殿

厚生労働省医政局長
(公印省略)

「歯科健診等のあり方等に関する検討会」構成員の推薦について(依頼)

厚生労働行政につきまして平素から格段のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

健康で質の高い生活を営む上で、口腔の健康の保持、増進が重要な役割を果たしていることから、定期的な歯科健診の機会・歯科診療の受診を通じて、生涯を通じた歯・口腔の健康を実現していくことが重要です。当課では、生涯を通じた歯科健診(いわゆる国民皆歯科健診)の推進に向けて、効率的・効果的な歯科健診や受診勧奨等の検討を行うモデル事業や、簡易スクリーニング検査の開発支援などの取組を実施してきたところです。

今般、新たに検討会を設置し、歯科健診の考え方の整理を含め、生涯を通じた歯科健診を更に進めていくために必要な議論を行いたいと考えています。

つきましては、標記の検討会は開催に向け、現在準備をしているところですが、貴会から構成員のご推薦を令和8年2月16日までにご回答いただきますよう、お願い申し上げます。

・歯科再生医療推進ネットワーク協議会報告(河野委員長)

2月27日に第11回協議会が開催され学術委員会より高柴委員が出席した。

第11回歯科再生医療推進ネットワーク協議会議事要旨

1. 日時:2026年2月27日(金)15:00~16:30
2. 開催方法:オンライン(Zoom)
3. 出席者(敬称略):

歯科基礎医学会(大島勇人)、日本歯科保存学会(高柴正悟)、日本補綴歯科学会(江草 宏)、日本歯周病学会(竹立匡秀)、日本歯科医史学会(渋谷 鑛)、日本歯科医療管理学会(柴垣博一)、日本臨床口腔病理学会(前田初彦)、日本歯内療法学会(松崎英津子)、日本口腔腫瘍学会(上田倫弘)、日本再生歯科医学会(今井弘一)、東京形成歯科研究会(奥寺 元)、日本口腔外科学会(山田陽一)、日本顎変形症学会(濱田良樹)、日本再生医療学会(寺井崇二、飛田護邦、右近裕一朗、大島勇人、温川友美子、清水もも子)

欠席(日本歯科理工学会、日本歯科薬物療法学会、日本接着歯学会、日本レーザー歯学会、日本有病者歯科医療学会、日本口腔科学会)

未回答(日本口腔インプラント学会、日本顎顔面補綴学会、日本顎顔面インプラント学会、日本外傷歯学会、日本口腔リハビリテーション学会、日本歯科医学会、国公立大学歯科臨床研究推進会議)

4. 報告事項

1) 各学会等出席者の自己紹介

各学会等出席者より自己紹介があった。

2) 第10回歯科再生医療推進ネットワーク協議会議事要旨の確認(資料1)

資料1に基づき第10回歯科再生医療推進ネットワーク協議会議事要旨が確認された。

3) 日本再生医療学会における再生医療ナショナルコンソーシアム事業の紹介について

右近裕一朗NC運営委員より資料2に基づき令和7年度再生医療等実用化基盤促進事業「再生医療の普及を支援する再生医療ナショナルコンソーシアムの充実」の紹介があった。6つのモジュールである「臨床研究計画等に対する技術支援」「再生医療に携わる人材の育成と教育」「再生医療等の安全性・科学的妥当性を評価する体制の構築」「再生医療等臨床研究の産学連携支援」「患者・市民への再生医療等の情報発信」「日本の再生医療等の国際展開を目指した計画の策定」について説明があった。再生医療等の安全性・科学的妥当性に関して、歯科のレジストリーについて意見交換があった。

4) 認定再生医療等委員会の審査ガイダンスについて

飛田護邦理事より認定再生医療等委員会の審査ガイダンスの紹介があった。安確法施行規則第十条に「医師又は歯科医師は、再生医療等を行う際には、その安全性及び妥当性について、科学的文献その他の関連する情報又は十分な実験の結果に基づき、倫理的及び科学的観点から十分検討しなければならない」とあるが、課長通知で「...『妥当性』については、再生医療等を受ける者の利益として、当該再生医療等の有効性が安全性におけるリスクを上回ることが十分予測されることを含む者であること。...『科学的文献その他の関連する情報』については、...『認定再生医療等委員会の適切な審査等業務実施のためのガイダンス(手引き)』における科学的文献チェックリストを参考に判断すること。...」と明記された。また、妥当性は、①法的適合性、②科学的妥当性、③倫理的妥当性の三層構造として捉え、最低条件の捉え方の重要性が示された。

5) 「間葉系幹細胞」に関する用語整理および今後の対応について

寺井崇二副理事長より資料3に基づき「間葉系幹細胞」に関する用語整理および今後の対応について説明があった。日本再生医療学会の方針は、「国際的な科学的知見と用語の標準化を踏まえ、国内においても混乱を避けるため用語を統一する。」ことであり、用語の厳密性(科学的議論)、幹細胞性の蓋然性(臨床応用)、リスク分類と安全性評価の3つの原則の提唱があった。広義の細胞群として、組織由来の接着性細胞集団である間葉系間質細胞Mesenchymal Stromal Cellと部分集合としての「自己複製能」と「多分可能」という特性をもつ間葉系幹細胞Mesenchymal Stem Cellという用語の階層構造の説明があった。最後に、用語統一の意義、今後の学会対応の説明の後に、意見交換が行われた。

6) 歯科再生医療関係のシンポジウムについて

大島勇人理事長補佐より、第25回日本再生医療学会総会(3月19日～20日、於:神戸国際会議場・神戸国際展示場)にて、「シンポジウム17 歯科再生医療の現状と展望」(座長:大島勇人、江草宏;演者:江草宏、大庭伸介、丸川恵理子、窪木拓男、美島健二、高橋克)、「シンポジウム34 歯科再生医療のイノベーションと展望; 再生医療で描く未来地図」(座長:星和人、山田陽一;演者:飛田護邦、池谷真、鷺尾薫、星和人、山田陽一)で歯科再生医療関係のシンポジウムが企画されている事の報告があった。

5. 協議事項

1) 歯科再生医療推進に向けて

大島勇人理事長補佐より資料4に基づき歯科再生医療推進に向けた今後の対応について説明があった。歯科再生医療における現状の課題である、(1)基礎・臨床・行政・企業間の連携、(2)国民(患者)および世界に向けての情報発信、(3)情報共有できる仕組み構築、(4)提言や提案の発出を踏まえ、歯科再生医療の強力な推進のためには、今後日本再生医療学会の中にワーキンググループ(WG)の立ち上げの必要性が示された。既存の「歯科再生医療推進ネットワーク協議会」が各学会間の情報共有・意見交換の場であるのに対し、本WGはミッション遂行のための具体的な施策を立案し、実効性のある活動を展開する実行部隊として機能する。

・「学術大会時等における学会発表とプレスリリースにおける申し合わせ」制定について
(向井委員長)

ホームページに以下のように掲載した。

The screenshot shows the website of The Japanese Society of Conservative Dentistry (日本歯科保存学会). The header includes the society's name in English and Japanese, the year 1955, and navigation links for 'Site Map', 'English', and 'Related Links'. A red button says 'Member's page is here'. The main navigation bar has tabs for 'Dentistry Preservation', 'Society Introduction', 'Certified Dentists / Senior Dentists', 'Citizens Open Forum', 'Academic Conference Information', and 'Joining Information'. The current page is 'Academic Conference Information', with a breadcrumb trail 'Home > Academic Conference Information'. A sidebar on the left contains a banner for the 164th Spring Academic Conference (2026), a notice about not using the society's name without permission, and a 'Conflict of Interest (COI)' section. The main content area is titled 'Academic Conference Information' and lists three items: 1. Important notice from the ethics committee regarding research presentations at the conference. 2. Notice regarding the submission of presentation topics and speaker changes (140KB). 3. Notice regarding the rules for corporate exhibitions at the conference (109KB).

2025年10月

学術大会時における企業展示ルールの制定について

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会
理事長 北村 知昭
倫理委員会委員長 向井 義晴

各社に於かれましては益々清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より日本歯科保存学会の学会活動、特に春・秋季の学術大会においては平素よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。多分野連携が年々活発になる中、本学会の学術大会においても医科・歯科問わず多くの領域の企業・メーカーから協賛いただける状況となって参りました。

これを受けまして、本学会では**企業展示におけるルール**を設けさせていただき事と致しました。本遵守事項は、本学会員の保護のため、個人情報保護法等、法律に沿ったものであることが基本姿勢となっています。以下、ご確認の上、遵守いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。規約：参加者に強引な勧誘、すなわち、不快感を与える過度な営業活動を慎んでいただく、および他の出展者を含む参加者への迷惑行為の厳禁を原則としたく、以下4項目について遵守をお願いすることとしました。

【学術大会時における企業展示ルール】

- 1) アンケート等の記入は展示ブース内に限ること
- 2) 得られた個人情報を利用した勧誘等を行わないこと
- 3) 取得した個人情報を、本人の同意なく第三者に提供・漏洩しないこと
- 4) 学術大会にふさわしくない内容※を含まないこと

上記を遵守できない場合、以降の本学会学術大会での企業展示を認めない。

※学術大会にふさわしくない内容の例

- ・概ね本学会と関連が無いと考えられる企業による、個人情報の取得等を主目的とした展示の申請。
- ・ロゴマークの使用を主目的とした、あるいは保存学会からの推薦・推奨を絡めた展示の申請。

8. 協議事項

1) 次期理事長選挙結果の件(山本委員長)

2026年2月10日

特定非営利活動法人
日本歯科保存学会
理事長 北村 知昭 殿

日本歯科保存学会 次期理事長選出に伴う選挙開票結果についての報告書

1. 選挙人(理事および評議員：総数285名)に投票用紙を送付。投票期間は2026年1月9日(金)～1月23日(金)とした。なお、投票締切日は1月23日(当日消印有効)とした。
2. 選挙管理委員会を2026年2月10日(火)に口腔保健協会およびZoomでのハイブリット形式にて開催し、開票作業を行った。
(出席者：【会場】山本松男 委員長、事務局2名
【Zoom】長野孝俊・林丈一郎・海老原隆・鈴木茂樹 各委員)
3. 「役員の構成と選出に関する規程」「理事長選出に関する細則」「理事長選挙内規 1・2」に従い、公正かつ厳正に開票作業を行った。
4. 開票結果は下記の通りである。
投票総数：217票(2026年1月23日 当日消印有効) (投票率 76.14 %)
有効投票数：203票
(結果) ・前田英史 202 票
 ・その他理事票 0 票
 ・氏名(前田英史)に二重線し、下欄に無記載 1 票
無効投票数：14 票

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会
選挙管理委員会

委員長 山本 松男
副委員長 長野 孝俊
委員 林 丈一郎
 海老原 隆
 鈴木 茂樹

2) 理事 (1・2号) 承認の件(北村理事長)

－理事推薦 (1号理事) の件－ (提出順)

- * 松崎英津子 理事(福岡歯科大学口腔治療学講座歯科保存学分野) よりご推薦
米田 雅裕 理事(福岡歯科大学総合歯科学講座総合歯科学分野) よりご推薦
吉永 泰周 (ヨシカ Yasu) 教授
(福岡歯科大学口腔治療学講座歯周病学分野)
・2004/04/01 入会 (会員 No. 150976)
(上級医 : No. 1178、指導医 : No.407)
- * 西谷 佳浩 理事 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科歯科保存学分野) よりご推薦
白方 良典 (シラカ ヨシノ) 教授
(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科歯周病学分野)
・2001/04/01 入会 (会員 No. 139096)
(認定資格なし)
- * 山田 嘉重 理事 (奥羽大学歯学部歯科保存学講座保存修復学分野) よりご推薦
臼井 通彦 (ウスイ ミチヒコ) 教授
(奥羽大学歯学部歯科保存学講座歯周病学分野)
・2007/04/26 入会 (会員 No. 142403)
(上級医 : No. 1180、指導医 : No.452)
- * 武市 収 理事 (日本大学歯学部保存学教室歯内療法学講座) よりご推薦
佐藤 秀一 理事 (日本大学歯学部保存学教室歯周病学講座) よりご推薦
高見澤俊樹 (タカミザワ トシキ) 教授
(日本大学歯学部保存学教室修復学講座)
・1996/04/15 入会 (会員 No. 133778)
(上級医 : No. 869、指導医 : No.280)
- * 北村 知昭 理事 (九州歯科大学歯科保存再生治療学講座口腔保存治療学分野) よりご推薦
松田 真司 (マツダ シンジ) 教授
(九州歯科大学歯科保存再生治療学講座歯周病学分野)
・2007/07/20 入会 (会員 No. 167922)
(認定資格なし)

－理事推薦 (2号理事) の件－ (提出順)

- * 北村 知昭 理事 (九州歯科大学歯科保存再生治療学講座口腔保存治療学分野) よりご推薦
高橋 礼奈 (タカハシ レイ) 教授
(東京科学大学大学院口腔健康教育学分野)
・2007/04/10 入会 (会員 No. 166454)
(上級医 : No. 1253、指導医 : No.427)

3) 次期4号理事（臨床医）について(吉村委員長)

日本歯科保存学会 理事(第3条第4号)一覧
(任期：2027年4月1日～2029年3月31日) 臨床歯科医

| | 氏名 | フリガナ | 所属 | |
|---|-------|---------|------------------|----|
| 1 | 木ノ本喜史 | キノモトヨシミ | きのもと歯科（大阪府吹田市） | 留任 |
| 2 | 中島 貴子 | ナカジマタカ | なかじま歯科クリニック（新潟市） | 新任 |

【役員の構成と選出に関する規程】

（理事の委嘱）

第3条 理事長は、次の各号のいずれかに該当する者を理事として委嘱することができる。

- （1） 歯科大学又は大学歯学部で歯科保存学の主任教授又は科目担当教授。ただし、定数は1機関3名とする。
- （2） 前号以外の臨床系教授、基礎系教授、医科大学歯科系教授、総合病院歯科系部長及びこれらに相当し、本会での活躍が顕著で理事長が推薦する者。ただし、その総数は12名以内とし、理事長は地域性、分野別に偏りがないように配慮して推薦する。
- （3） 日本歯科衛生士会から推薦を得た歯科衛生士2名以内。
- （4） 渉外委員会規程第2条(1)に基づく人選による65歳以下の臨床歯科医2名以内。なお、任期中に65歳になった場合、その年度で任期満了とする。

2 理事として推薦され、常任理事会及び理事会で承認が得られた者は、直ちに理事会に出席できる。ただし、総会において選任されるまでの期間は、オブザーバーとする。

【渉外委員会規程】

第2条 委員会は、次の事項を審議する。

- （1） 臨床歯科医および他機関からの理事被推薦者の人選

4) 名誉会員承認の件(北村理事長)

— 名誉会員推薦の件 —

(50音順)

| | 学会役職 | 被推薦者 | 同フリガナ | 推薦者 | 推薦者所属 |
|---|------|-------|-----------|----------------------|--------|
| 1 | 元理事 | 高橋慶壮 | タカハシ ケイソウ | 山田嘉重 | 奥羽大学 |
| 2 | 元理事 | 西村英紀 | ニシムラ エキ | 前田英史 和田尚久 | 九州大学 |
| 3 | 元理事 | 沼部幸博 | ヌマベ ユキヒロ | 興地隆史 北村和夫 | 日本歯科大学 |
| 4 | 元理事 | 長谷川篤司 | ハセガワ トクジ | 小林幹宏 鈴木規元 山本松男 | 昭和医科大学 |
| 5 | 元理事 | 宮崎真至 | ミヤザキ マシン | 武市 収 佐藤秀一 | 日本大学 |
| 6 | 元理事 | 米田雅裕 | ヨネダ マサヒロ | 松崎英津子 | 福岡歯科大学 |

5) 2025年度事業報告の件(北村理事長)

2025年度特定非営利活動法人日本歯科保存学会事業報告書

1. 日本歯科保存学雑誌発行 Vol.68.No.2～Vol.69.No.1 (年間5号)
2. 英文誌「Operative Dentistry, Endodontology and Periodontology」(略称：ODEP) 5巻1号発行
3. 第162回春季学術大会および総会／第163回秋季学術大会開催
4. 2025年度学会賞・学術賞・奨励賞・優秀発表賞等の選考
5. 認定医および上級医試験・認定歯科衛生士審査の実施
6. 関連団体(関連学会や日本歯科衛生士会等)との連携
7. 大韓歯科保存学会および台湾牙體復形学会との学術交流、その他海外学会との国際交流推進
8. 各種委員会活動
9. 学術委員会による学術大会における学会主導型プログラムの企画
10. 診療ガイドラインおよび教育ガイドラインの検討・作成
11. 会員数増加対策の具体的検討
12. ホームページ管理・運営
13. 市民公開フォーラム開催
14. NPO法人としての活動・対応
15. 歯科保存専門医制度の運用
16. 70周年記念式典の施行
17. その他

6) 2025年度決算報告の件(監査報告)(村松常任理事、中村監事、桃井監事)

日本歯科保存学会 2025年度収支決算書

(2025年4月1日～2026年3月31日)

| 歳入 | 項目 | 予算 | 決算 | 執行率 | 備考 |
|--------------|-------------|-------------|------------|--|----|
| | 前年度繰越金 | 75,100,122 | 75,100,122 | 100.0% | |
| 年度会費 | 49,140,000 | 48,071,593 | 97.8% | | |
| (1)入会金 | 350,000 | 267,000 | 76.3% | 1,000円×267名 | |
| (2)本年度会費 | 42,441,000 | 40,618,593 | 95.7% | | |
| (3)過年度会費 | 4,149,000 | 5,028,000 | 121.2% | 16(9,000)、17(9,000)、18(9,000)、19(18,000)、20(45,000)、21(45,000)、22(279,000)、23(968,000)、24(3,646,000) | |
| (4)次年度会費 | 300,000 | 308,000 | 102.7% | 26(280,000)、27(28,000) | |
| (5)賛助会費 | 1,900,000 | 1,850,000 | 97% | 29社 37口 | |
| 論文掲載料 | 3,200,000 | 2,318,583 | 72.5% | 68巻1号(150,777)、68巻2号(254,400)、68巻3号(420,851)、68巻4号(204,668)、68巻5号(254,225)、69巻1号(90,930)、英文誌4巻1号(90,930)、英文誌5巻1号(235,124) | |
| 広告掲載料 | 2,000,000 | 1,874,400 | 93.7% | 春抄(519,200)、68巻2号(202,400)、68巻3号(272,800)、68巻4号(272,800)、秋抄(202,400)、68巻5号(246,400)、英文誌5巻1号(158,400) | |
| 日本歯科専門医機構関係費 | 1,477,000 | 2,750,000 | 186.2% | 申請料・審査料(110名、28施設) | |
| 認定歯科衛生士関連費 | 250,000 | 50,000 | 20.0% | 申請料5名 | |
| 日歯学会助成金 | 990,000 | 990,000 | 100.0% | 2025年度日歯学会助成金(990,000) | |
| 雑収入 | 800,000 | 7,361,915 | 920.2% | 銀行利息(130,287)、損保ジャパン集金事務費(518,260)、学術著作権協会複写料(167,143)、メテオ文献許諾使用料(11,464)、用語集印税(17,688)、ラベル代(173,413)、70周年記念式典参加費・御祝金(1,450,000円)、第162回大会余剰金返金(611,564)、第163回大会余剰金返金(268,236)、特別事業費取崩(4,000,000) | |
| 小計 | 57,857,000 | 63,416,491 | 109.6% | | |
| 合計 | 132,957,122 | 138,516,613 | 104.2% | | |

| 歳出 | 項目 | 予算 | 決算 | 執行率 | 備考 |
|--------------|-------------|-------------|-----------|---|---------------------|
| | 次年度春季学会費 | 2,500,000 | 2,500,000 | 100.0% | 2026年度春季学術大会(第164回) |
| 次年度秋季学会費 | 2,500,000 | 2,500,000 | 100.0% | 2026年度秋季学術大会(第165回) | |
| オンデマンド配信費 | 4,000,000 | 4,000,000 | 100.0% | 2025年度春季学術大会(第162回)・秋季学術大会(第163回) | |
| 抄録集印刷費 | 3,200,000 | 3,084,844 | 96.4% | 春季(1,415,978)、秋季(1,668,866) | |
| 会誌印刷費 | 11,100,000 | 8,067,972 | 72.7% | 68巻2号(1,108,690)、68巻3号(1,172,985)、68巻4号(949,135)、68巻5号(1,272,315)、英文誌5巻1号(1,829,872)、69巻1号(1,668,866)、電子ジャーナル掲載用サーバー(16,500) | |
| 通信連絡費 | 1,300,000 | 1,770,631 | 136.2% | 会費請求(903,838)、切手・はがき代(479,216)、TEL・FAX料(70,084)、宅配代(119,807)、振込料・手数料(60,126)、Zoom利用料(107,530)、メールマガジン配信(30,030) | |
| 事務費 | 1,500,000 | 1,479,621 | 98.6% | 封筒(287,100)、資料印刷(343,718)、事務用消耗品費(292,313)、大会時資料(324,830)、領収書(136,400)、委嘱状(84,260)、会員データ作成費(11,000) | |
| 日歯学会分担金 | 150,000 | 150,000 | 100.0% | 2025年度 | |
| 日歯学会連合会費 | 1,401,900 | 1,405,800 | 100.3% | 2025年度 | |
| 日本歯科専門医機構年会費 | 300,000 | 300,000 | 100.0% | 2025年度 | |
| 日本歯科専門医機構関係費 | 5,500,000 | 4,272,000 | 77.7% | 歯科保存専門医認定委員会へ(2,600,000)、機構運用審査料(1,562,000)、機構制度審査料(0)、機構共通研修審査料(110,000) | |
| 認定衛生士関連費 | 1,000,000 | 40,000 | 4.0% | 試験運営費(40,000)、バッジ発送代(0)、日本歯科衛生学会関連費(0) | |
| 各種委員会費 | 7,600,000 | 7,468,160 | 98.3% | 常任理事会(2,426,199)、大会時理事会・委員会費(4,318,170)、編集委員会(3,850)、学術用語委員会(9,223)、表彰委員会(0)、学会のあり方委員会(10,950)、選挙管理委員会(45,000)、う蝕治療ガイドライン委員会(496,768) | |
| 事務局出張費 | 460,000 | 669,418 | 145.5% | 松山・長崎 | |
| 学会事務局委託費 | 6,270,000 | 6,270,000 | 100.0% | 522,500×12ヵ月 | |
| 英文校閲費 | 660,000 | 772,200 | 117.0% | 68巻2号(14,300)、68巻3号(31,460)、68巻4号(17,160)、68巻5号(22,880)、69巻1号(22,880)、英文誌5巻1号(663,520) | |
| 国際交流費 | 1,400,000 | 976,475 | 69.7% | 大韓歯科保存学会との交流費(529,740)、台湾牙體復形学会との交流費(55,290)、トルコ関連学会との交流費(0)、CosAsiaとの交流費(11,023) | |
| 表彰費 | 2,100,000 | 2,155,650 | 102.7% | 2025年度学会賞(10件)、学術賞(2件)、奨励賞(6件)、優秀症例ポスター発表賞(6件)、認定医上級医優秀症例発表賞(4件)、表彰楯・賞状作成代(485,650) | |
| ホームページ運営費 | 615,000 | 616,000 | 100.2% | ドメイン使用料(66,000)、HP更新・管理費(550,000) | |
| 市民公開フォーラム開催費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 100.0% | 2会場 | |
| 関連団体経費 | 300,000 | 210,000 | 70.0% | 会議出張費(120,000)、歯学協年会費(50,000)、歯保連年会費(40,000) | |
| 法人運営費 | 1,800,000 | 1,775,859 | 98.7% | 都民税・事業税(92,100)、国税(68,800)、税理士顧問料12ヶ月分(396,000)、顧問弁護士料12ヶ月分(396,000)、法人学会事務費12ヶ月分(660,000)、決算報酬代(66,000)、役員登記(45,430)、源泉所得税(51,529) | |
| 予備費 | 200,000 | 3,970,422 | 1985.2% | 慶弔費(62,400)、新聞広告出稿料(110,000)、3学会(保存・審美・接着)合同国際講演会協賛費(100,000)、PCメンテナンス費用(11,000円)、70周年記念式典開催費用(3,687,022) | |
| 仮払 | - | 0 | - | | |
| 小計 | 56,856,900 | 55,455,052 | 97.5% | | |
| 積立金 | 会員データ構築費 | 500,000 | 500,000 | 100.0% | 2025年度 |
| | 特別事業費 | 500,000 | 500,000 | 100.0% | 2025年度 |
| 次年度繰越金 | 75,100,222 | 82,061,561 | 109.3% | 銀行(普1)7,211,792、銀行(普2)49,349,769、銀行(定)27,500,000 | |
| 合計 | 132,957,122 | 138,516,613 | 104.2% | | |

会員データ構築積立金決算書

自 2025年4月1 日

至 2026年3月31日

単位:円

| 収入の部 | | | 支出の部 | | |
|--------|------------|----|--------|------------|----|
| 科目 | 金額 | 摘要 | 科目 | 金額 | 摘要 |
| 本部会計より | 500,000 | | 本年度支出 | 175,775 | ① |
| 銀行利息 | 18,759 | | | | |
| 前年度繰越金 | 12,538,095 | | 次年度繰越金 | 12,881,079 | |
| 合計 | 13,056,854 | | 合計 | 13,056,854 | |

①バーコードカード作製代

特別事業費収支決算書

自 2025年4月1 日

至 2026年3月31日

単位:円

| 収入の部 | | | 支出の部 | | |
|--------|------------|----|--------|------------|-----|
| 科目 | 金額 | 摘要 | 科目 | 金額 | 摘要 |
| 本部会計より | 500,000 | | 本年度支出 | 5,000,000 | ①②③ |
| 銀行利息 | 33,099 | | | | |
| 前年度繰越金 | 19,243,531 | | 次年度繰越金 | 14,776,630 | |
| 合計 | 19,776,630 | | 合計 | 19,776,630 | |

①第162回春季大会時開催の学会主導型プログラム 500,000円

②第163回秋季大会時開催の学会主導型プログラム 500,000円

③70周年記念式典 4,000,000円

日本歯科保存学会 認定委員会 2025年度収支決算報告書

(2025年4月1日～2026年3月31日)(単位:円)

| 歳入の部 | 項 目 | 予算 | 決算 | 執行率 | 備 考 |
|------|--------|------------|------------|------------|-------------------------------|
| | | 前年度繰越金 | 27,764,109 | 27,764,109 | 100.0% |
| | 認定医申請料 | 700,000 | 940,000 | 134.3% | 10,000円×94人 |
| | 認定医審査料 | 1,400,000 | 1,880,000 | 134.3% | 20,000円×94人 |
| | 認定医登録料 | 700,000 | 780,000 | 111.4% | 10,000円×78人 |
| | 上級医申請料 | 100,000 | 710,000 | 710.0% | 10,000円×71人 |
| | 上級医審査料 | 300,000 | 2,100,000 | 700.0% | 30,000円×70人 |
| | 上級医登録料 | 100,000 | 80,000 | 80.0% | 10,000円×8人 |
| | 指導医申請料 | 100,000 | 90,000 | 90.0% | 10,000円×9人 |
| | 指導医審査料 | 300,000 | 150,000 | 50.0% | 30,000円×5人 |
| | 指導医登録料 | 100,000 | 80,000 | 80.0% | 10,000円×8人 |
| | 認定医更新料 | 1,100,000 | 1,090,000 | 99.1% | 10,000円×109人 |
| | 上級医更新料 | 2,090,000 | 1,080,000 | 51.7% | 10,000円×108人 |
| | 指導医更新料 | 570,000 | 220,000 | 38.6% | 10,000円×22人 |
| | 雑収入 | 3,000 | 3,924 | 130.8% | 銀行利息、2,263円、認定証・カード再発行料1,000円 |
| | 小 計 | 7,563,000 | 9,203,924 | 121.7% | |
| | 合 計 | 35,327,109 | 36,968,033 | 104.6% | |

| 歳出の部 | 項 目 | 予算 | 決算 | 執行率 | 備 考 |
|------|-------------|------------|------------|---------|------------------------------|
| | | 会 議 費 | 1,900,000 | 837,927 | 44.1% |
| | 研 修 会 費 | 500,000 | 500,000 | 100.0% | 第162回大会、第163回大会 |
| | 事 務 印 刷 費 | 1,400,000 | 840,672 | 60.0% | 認定証・更新記録カード・資料作成費 |
| | 事 務 消 耗 品 費 | 100,000 | 0 | 0.0% | 文具代 |
| | 通 信 費 | 500,000 | 205,879 | 41.2% | 振込料、TEL・FAX代、切手・レターパック・宅配便代 |
| | 事 務 委 託 費 | 1,835,460 | 1,835,460 | 100.0% | 152,955円×12ヶ月分 |
| | 認定委員会積立金 | 500,000 | 500,000 | 100.0% | |
| | 予 備 費 | 100,000 | 110,000 | 110.0% | 認定資格申請フォーム作成費 |
| | 仮 払 金 | - | 0 | - | |
| | 小 計 | 6,835,460 | 4,829,938 | 70.7% | |
| | 次月度繰越金 | 28,491,649 | 32,138,095 | 112.8% | 銀行(普)2,925,891 郵振 29,192,534 |
| | 合 計 | 35,327,109 | 36,968,033 | 104.6% | |

2025年度 特定非営利活動法人日本歯科保存学会

認定委員会積立金収支決算

自 2025年4月1日

至 2026年3月31日

単位:円

| 収入の部 | | | 支出の部 | | |
|-----------|------------|----|--------|------------|----|
| 科目 | 金額 | 摘要 | 科目 | 金額 | 摘要 |
| 認定委員会会計より | 500,000 | | 本年度支出 | 1,581,048 | ① |
| 銀行利息 | 9,520 | | | | |
| 前年度繰越金 | 13,370,266 | | 次年度繰越金 | 12,298,738 | |
| 合計 | 13,879,786 | | 合計 | 13,879,786 | |

①DNI研修単位管理システム業務委託費・年間保守管理費

(単位：円)

| 科目 | 特定非営利活動に係る事業 | | その他事業 | | 合計 |
|--------------------------|--------------|------------|---------|-----------|-------------|
| | 金額 | 小計・合計 | 金額 | 小計・合計 | |
| 1 【A】 経常収益 | | | | | |
| 2 1 受取会費 | | 47,964,593 | | 0 | 47,964,593 |
| 3 受取入会金 | 287,000 | | | | |
| 4 正会員受取会費 | 45,847,593 | | | | |
| 5 賛助会員受取会費 | 1,850,000 | | | | |
| 6 2 受取寄附金 | | 0 | | 0 | 0 |
| 7 3 受取助成金等 | | 990,000 | | 0 | 990,000 |
| 8 日歯学会助成金 | 990,000 | | | | |
| 9 4 事業収益 | | 16,938,888 | | 0 | 16,938,888 |
| 10 論文掲載料 | 3,064,488 | | | | |
| 11 広告掲載料 | 1,874,400 | | | | |
| 12 認定事業収益 | 12,000,000 | | | | |
| 13 5 その他の収益 | | 2,698,802 | | 728,415 | 3,427,217 |
| 14 受取利息 | 194,589 | | | | |
| 15 70周年記念式典開催収益 | 1,450,000 | | | | |
| 16 その他の雑収益 | 1,054,213 | | 728,415 | | |
| 17 経常収益計 | | 68,592,283 | | 728,415 | 69,320,698 |
| 18 【B】 経常費用 | | | | | |
| 19 1 事業費 | | | | | |
| 20 (1) 人件費 | | 0 | | 0 | 0 |
| 21 (2) その他経費 | | 52,895,939 | | 201,503 | 52,897,442 |
| 22 学会運営費 | 9,000,000 | | | | |
| 23 会誌発行費 | 11,152,816 | | | | |
| 24 日歯学会分担金 | 150,000 | | | | |
| 25 日歯学会連合会費 | 1,405,800 | | | | |
| 26 日本歯科専門医機構年会費 | 300,000 | | | | |
| 27 市民公開フォーラム運営費 | 1,000,000 | | | | |
| 28 認定事業関連費 | 40,000 | | | | |
| 29 英文校閲費 | 772,200 | | | | |
| 30 国際交流費 | 978,475 | | | | |
| 31 表彰費 | 2,155,650 | | | | |
| 32 関連団体経費 | 310,000 | | | | |
| 33 特別事業費 | 1,000,000 | | | | |
| 34 会員データ構築事業費 | 175,775 | | | | |
| 35 認定委員会事業費 | 5,910,988 | | | | |
| 36 旅費交通費 | 669,418 | | | | |
| 37 日本歯科専門医機構審査認定料等 | 4,272,000 | | | | |
| 38 各種委員会費 | 600,316 | | 78,475 | | |
| 39 通信連絡費 | 1,521,480 | | 17,974 | | |
| 40 事務費 | 1,325,896 | | 15,663 | | |
| 41 学会事務局委託費 | 5,577,115 | | 65,885 | | |
| 42 法人運営費 | 145,063 | | 17,033 | | |
| 43 ホームページ運営費 | 547,927 | | 6,473 | | |
| 44 70周年記念式典開催費 | 3,687,022 | | | | |
| 45 事業費計 | | 52,895,939 | | 201,503 | 52,897,442 |
| 46 2 管理費 | | | | | |
| 47 (1) 人件費 | | 0 | | 0 | 0 |
| 48 (2) その他経費 | | 9,489,471 | | 0 | 9,489,471 |
| 49 各種委員会費 | 6,789,369 | | | | |
| 50 通信連絡費 | 171,051 | | | | |
| 51 事務費 | 149,062 | | | | |
| 52 学会事務局委託費 | 627,000 | | | | |
| 53 法人運営費 | 1,458,863 | | | | |
| 54 ホームページ運営費 | 61,600 | | | | |
| 55 支払手数料 | 60,126 | | | | |
| 56 渉外費 | 62,400 | | | | |
| 57 雑費 | 110,000 | | | | |
| 58 管理費計 | | 9,489,471 | | 0 | 9,489,471 |
| 59 経常費用計 | | 62,185,410 | | 201,503 | 62,386,913 |
| 60 当期経常増減額【A】-【B】・・・① | | 6,406,873 | | 526,912 | 6,933,785 |
| 61 【C】 経常外収益 | | | | | |
| 62 経常外収益計 | | 0 | | 0 | 0 |
| 63 【D】 経常外費用 | | | | | |
| 64 経常外費用計 | | 0 | | 0 | 0 |
| 65 当期経常外増減額【C】-【D】・・・② | | 0 | | 0 | 0 |
| 66 経理区分振替額・・・③ | | | | | |
| 67 税引前当期正味財産増減額①+②+③・・・④ | | 526,912 | | △ 526,912 | |
| 68 法人税、住民税及び事業税・・・⑤ | | | | | 182,100 |
| 69 前期繰越正味財産額・・・⑥ | | | | | 152,587,223 |
| 70 次期繰越正味財産額④-⑤+⑥ | | | | | 159,338,908 |

令和7年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

(単位：円)

| 科 | 目 | 金 額 | 小計・合計 |
|----|---------------------------------------|-------------|-------------|
| 1 | 【A】 資 産 の 部 | | |
| 2 | 1 流動資産 | | |
| 3 | 現金預金 | 114,199,656 | |
| 4 | 未収入金 | 745,905 | |
| 5 | 前払費用 | 5,000,000 | |
| 6 | 会員データ構築積立金 | 12,881,079 | |
| 7 | 特別事業費特定資産 | 14,776,630 | |
| 8 | 認定委員会積立金 | 12,298,738 | |
| 9 | 流動資産合計・・・① | | 159,902,008 |
| 10 | 2 固定資産 | | |
| 11 | (1) 有形固定資産 | | |
| 12 | (2) 無形固定資産 | | |
| 13 | (3) 投資その他の資産 | | |
| 14 | 固定資産合計・・・② | | |
| 15 | 【A】 資 産 合 計 ①+② | | 159,902,008 |
| 16 | 【B-1】 負 債 の 部 | | |
| 17 | 1 流動負債 | | |
| 18 | 前受金 | 353,000 | |
| 19 | 未払法人税等 | 182,100 | |
| 20 | 流動負債合計・・・③ | | 535,100 |
| 21 | 2 固定負債 | | |
| 22 | 長期前受金 | 28,000 | |
| 23 | 固定負債合計・・・④ | | 28,000 |
| 24 | 負 債 合 計 ③+④ | | 563,100 |
| 25 | 【B-2】 正 味 財 産 の 部 | | |
| 26 | 前期繰越正味財産額 | | 152,587,223 |
| 27 | 当期正味財産増減額 | | 6,751,685 |
| 28 | 正 味 財 産 合 計 | | 159,338,908 |
| 29 | 【B】 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】 + 【B-2】 | | 159,902,008 |
| 30 | | | |
| 31 | | | |

令和7年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、「NPO法人会計基準」（平成22年7月20日 NPO法人会計基準協議会）によっている。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

| | 学術大会開催事業 | 市民公開講座等活動事業 | 機関誌発行事業 | 広報活動事業 | 連携交流事業 | 認定事業 | 広告掲載事業 |
|----------------|------------|-------------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|
| 1 I 経常収益 | | | | | | | |
| 2 1. 受取会費 | 13,909,733 | 2,398,230 | 10,552,210 | 1,438,937 | 4,796,459 | 959,293 | 479,645 |
| 3 2. 受取寄附金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4 3. 受取助成金等 | 990,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5 4. 事業収益 | 0 | 0 | 3,064,488 | 0 | 0 | 12,000,000 | 1,874,400 |
| 6 5. その他収益 | 879,800 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 0 |
| 7 経常収益計 | 15,779,533 | 2,398,230 | 13,616,698 | 1,438,937 | 4,796,459 | 12,960,293 | 2,354,045 |
| 8 II 経常費用 | | | | | | | |
| 9 (1) その他経費 | | | | | | | |
| 10 学会運営費 | 9,000,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 11 会誌発行費 | 0 | 0 | 11,152,816 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 12 日歯学会分担金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 150,000 | 0 | 0 |
| 13 日歯学会連合会費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,405,800 | 0 | 0 |
| 14 機構年会費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 300,000 | 0 | 0 |
| 15 市民公開フォーラム運営 | 0 | 1,000,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 16 認定事業関連費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 40,000 | 0 |
| 17 英文校閲費 | 0 | 0 | 772,200 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 18 国際交流費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 976,475 | 0 | 0 |
| 19 表彰費 | 2,155,650 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 20 関連団体経費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 310,000 | 0 | 0 |
| 21 特別事業費 | 1,000,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 22 データ構築事業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 23 認定委員会 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,910,986 | 0 |
| 24 旅費交通費 | 669,418 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 25 機構認定料等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,272,000 | 0 |
| 26 70周年記念式典 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 27 各種委員会費 | 75,040 | 75,040 | 75,040 | 75,040 | 75,039 | 75,039 | 75,039 |
| 28 通信連絡費 | 190,185 | 190,185 | 190,185 | 190,185 | 190,185 | 190,185 | 190,185 |
| 29 事務費 | 165,737 | 165,737 | 165,737 | 165,737 | 165,737 | 165,737 | 165,737 |
| 30 事務局委託費 | 697,140 | 697,140 | 697,140 | 697,139 | 697,139 | 697,139 | 697,139 |
| 31 法人運営費 | 18,133 | 18,133 | 18,133 | 18,133 | 18,133 | 18,133 | 18,133 |
| 32 ホームページ運営 | 68,491 | 68,491 | 68,491 | 68,491 | 68,491 | 68,491 | 68,491 |
| 33 支払手数料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 34 渉外費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 35 雑費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 36 経常費用計 | 14,039,794 | 2,214,726 | 13,139,742 | 1,214,725 | 4,356,999 | 11,437,710 | 1,214,724 |
| 37 当期経常増減額 | 1,739,739 | 183,504 | 476,956 | 224,212 | 439,460 | 1,522,583 | 1,139,321 |

| | 科目 | 著作権使用 料事業 | その他事 業 | 事業部門 計 | 管理部門 | 合計 | | |
|----|-------------|--------------|-----------|------------|-----------|------------|--|--|
| 38 | I 経常収益 | | | | | | | |
| 39 | 1. 受取会費 | 0 | 3,837,167 | 38,371,674 | 9,592,919 | 47,964,593 | | |
| 40 | 2. 受取寄附金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 41 | 3. 受取助成金等 | 0 | 0 | 990,000 | 0 | 990,000 | | |
| 42 | 4. 事業収益 | 0 | 0 | 16,938,888 | 0 | 16,938,888 | | |
| 43 | 5. その他収益 | 728,415 | 1,623,413 | 3,232,628 | 194,589 | 3,427,217 | | |
| 44 | 経常収益計 | 728,415 | 5,460,580 | 59,533,190 | 9,787,508 | 69,320,698 | | |
| 45 | II 経常費用 | | | | | | | |
| 46 | (1) その他経費 | | | | | | | |
| 47 | 学会運営費 | 0 | 0 | 9,000,000 | | 9,000,000 | | |
| 48 | 会誌発行費 | 0 | 0 | 11,152,816 | | 11,152,816 | | |
| 49 | 日歯学会分担金 | 0 | 0 | 150,000 | | 150,000 | | |
| 50 | 日歯学会連合会費 | 0 | 0 | 1,405,800 | | 1,405,800 | | |
| 51 | 機構年会費 | 0 | 0 | 300,000 | | 300,000 | | |
| 52 | 市民公開フォーラム運営 | 0 | 0 | 1,000,000 | | 1,000,000 | | |
| 53 | 認定事業関連費 | 0 | 0 | 40,000 | | 40,000 | | |
| 54 | 英文校閲費 | 0 | 0 | 772,200 | | 772,200 | | |
| 55 | 国際交流費 | 0 | 0 | 976,475 | | 976,475 | | |
| 56 | 表彰費 | 0 | 0 | 2,155,650 | | 2,155,650 | | |
| 57 | 関連団体経費 | 0 | 0 | 310,000 | | 310,000 | | |
| 58 | 特別事業費 | 0 | 0 | 1,000,000 | | 1,000,000 | | |
| 59 | データ構築事業 | 0 | 175,775 | 175,775 | | 175,775 | | |
| 60 | 認定委員会 | 0 | 0 | 5,910,986 | | 5,910,986 | | |
| 61 | 旅費交通費 | 0 | 0 | 669,418 | | 669,418 | | |
| 62 | 機構認定料等 | 0 | 0 | 4,272,000 | | 4,272,000 | | |
| 63 | 70周年記念式典 | 0 | 3,687,022 | 3,687,022 | | 3,687,022 | | |
| 64 | 各種委員会費 | 78,475 | 75,039 | 678,791 | 6,789,369 | 7,468,160 | | |
| 65 | 通信連絡費 | 17,974 | 190,185 | 1,539,454 | 171,051 | 1,710,505 | | |
| 66 | 事務費 | 15,663 | 165,737 | 1,341,559 | 149,062 | 1,490,621 | | |
| 67 | 事務局委託費 | 65,885 | 697,139 | 5,643,000 | 627,000 | 6,270,000 | | |
| 68 | 法人運営費 | 17,033 | 18,132 | 162,096 | 1,458,863 | 1,620,959 | | |
| 69 | ホームページ運営 | 6,473 | 68,490 | 554,400 | 61,600 | 616,000 | | |
| 70 | 支払手数料 | 0 | 0 | 0 | 60,126 | 60,126 | | |
| 71 | 渉外費 | 0 | 0 | 0 | 62,400 | 62,400 | | |
| 72 | 雑費 | 0 | 0 | 0 | 110,000 | 110,000 | | |
| 73 | 経常費用計 | 201,503 | 5,077,519 | 52,897,442 | 9,489,471 | 62,386,913 | | |
| 74 | 当期経常増減額 | 526,912 | 383,061 | 6,635,748 | 298,037 | 6,933,785 | | |

令和7年度 財産目録

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

(単位:円)

| 科 | 目 | 金額 | 小計 | 合計 |
|-----------------|---------------------------------|------------|-------------|-------------|
| 【A】 資産の部 | | | | |
| 1 | 流動資産 | | | |
| 1 | 現金預金 | | 114,199,656 | |
| 2 | 三菱UFJ銀行駒込支店普通預金 No.0510579 | 7,211,792 | | |
| 3 | 三菱UFJ銀行駒込支店普通預金 No.4469651 | 47,349,769 | | |
| 4 | 三菱UFJ銀行駒込支店普通預金 No.0510553 | 2,925,891 | | |
| 5 | 三菱UFJ銀行駒込支店定期預金 No.0273362 | 27,500,000 | | |
| 6 | ゆうちょ銀行振替口座 00130-8-552710 | 29,212,204 | | |
| 7 | 未収入金 | | 745,905 | |
| 8 | 学会会誌論文掲載料 | 510,130 | | |
| 9 | ODEP論文掲載料 | 235,775 | | |
| 10 | 前払費用 | | 5,000,000 | |
| 11 | 第164回2026年度春季学術大会 | 2,500,000 | | |
| 12 | 第165回2026年度秋季学術大会 | 2,500,000 | | |
| 15 | 会員データ構築積立金 | | 12,881,079 | |
| 16 | 三菱UFJ銀行駒込支店定期預金 No.1055328 | 12,881,079 | | |
| 17 | 特別事業費特定資産 | | 14,776,630 | |
| 18 | 三菱UFJ銀行駒込支店定期預金 No.8784597 | 14,776,630 | | |
| 19 | 認定委員会積立金 | | 12,298,738 | |
| 20 | 三菱UFJ銀行駒込支店定期預金 No.0383061 | 12,298,738 | | |
| 23 | 流動資産合計・・・① | | | 159,902,008 |
| 24 | 2 固定資産 | | | |
| 25 | (1) 有形固定資産 | | | |
| 26 | (2) 無形固定資産 | | | |
| 27 | (3) 投資その他の資産 | | | |
| 28 | 固定資産合計・・・② | | | 0 |
| 29 | 【A】 資産合計 ①+② | | | 159,902,008 |
| 30 | 【B-1】 負債の部 | | | |
| 31 | 1 流動負債 | | | |
| 32 | 前受金 | | 353,000 | |
| 34 | 令和8年度会費 | 353,000 | | |
| 35 | 未払法人税等 | | 182,100 | |
| 36 | 法人税及び地方法人税 | 83,000 | | |
| 37 | 法人事業税 | 23,900 | | |
| 38 | 法人住民税 | 75,200 | | |
| 39 | 流動負債合計・・・③ | | | 535,100 |
| 40 | 2 固定負債 | | | |
| 41 | 長期前受金 | | 28,000 | |
| 42 | 令和9年度会費 | 28,000 | | |
| 44 | 固定負債合計・・・④ | | | 28,000 |
| 45 | 【B-1】 負債合計 ③+④ | | | 563,100 |
| 46 | 【B-2】 正味財産合計 【A】 - 【B-1】 | | | 159,338,908 |

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
 特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

(単位:円)

| 科 目 | | 決算額 |
|-----|--------------|-----------|
| 1 | I 経常収益 | |
| 2 | 1 事業収入 | 728,415 |
| 3 | 雑収入 | 728,415 |
| 4 | 経常収益計 | 728,415 |
| 5 | II 経常費用 | |
| 6 | 1 事業費 | |
| 7 | 各種委員会費 | 78,475 |
| 8 | 通信連絡費 | 17,974 |
| 9 | 事務費 | 15,663 |
| 10 | 学会事務局委託費 | 65,885 |
| 11 | 法人運営費 | 17,033 |
| 12 | ホームページ運営費 | 6,473 |
| 13 | 経常費用計 | 201,503 |
| 14 | 非収益事業への振替額 | 526,912 |
| 15 | 税引前当期正味財産増減額 | 0 |
| 16 | 法人税、住民税及び事業税 | 182,100 |
| 17 | 当期正味財産増減額 | △ 182,100 |

収益事業貸借対照表

令和8年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

(単位:円)

| 科 目 | | 金額 | | |
|-----|------------|---------|-----------|-----------|
| 1 | I 資産の部 | | | |
| 2 | 1 流動資産 | | | |
| 3 | 現金預金 | 0 | | |
| 4 | 流動資産合計 | | 0 | |
| 5 | 2 固定資産 | | | |
| 6 | 固定資産合計 | | 0 | |
| 7 | 資産合計 | | | 0 |
| 8 | II 負債の部 | | | |
| 9 | 1 流動負債 | | | |
| 10 | 未払法人税等 | 182,100 | | |
| 11 | 流動負債合計 | | 182,100 | |
| 12 | 2 固定負債 | | | |
| 13 | 固定負債合計 | | 0 | |
| 14 | 負債合計 | | | 182,100 |
| 15 | III 正味財産の部 | | | |
| 16 | 前期繰越正味財産 | | 0 | |
| 17 | 当期正味財産増減額 | | △ 182,100 | |
| 18 | 正味財産合計 | | | △ 182,100 |
| 19 | 負債及び正味財産合計 | | | 0 |

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会
理 事 長 北村 知昭 殿
財務担当常任理事 村松 敬 殿

特定非営利活動法人日本歯科保存学会の 2025 年度の事業ならびに決算各項について監査を行った結果、その正確かつ適正なることを認めます。

2026年4月30日

特定非営利活動法人日本歯科保存学会

監 事 中 村 勝 文 印

監 事 桃 井 保 子 印

7) 2026年度事業計画(案)の件(北村理事長)

2026年度特定非営利活動法人日本歯科保存学会事業計画 (案)

1. 日本歯科保存学雑誌発行 Vol.69.No.2～Vol.70.No.1 (年間4号)
2. 英文誌「Operative Dentistry, Endodontology and Periodontology」(略称：ODEP) 6巻1,2号発行
3. 第164回春季学術大会および総会／第165回秋季学術大会および総会開催
4. 2027年度学会賞・学術賞・奨励賞・優秀発表賞等の選考
5. 認定医および上級医試験・認定歯科衛生士審査の実施
6. 関連団体(関連学会や日本歯科衛生士会等)との連携
7. 大韓歯科保存学会および台湾牙體復形学会との学術交流、その他海外学会との国際交流推進
8. 各種委員会活動
9. 学術委員会による学術大会における学会主導型プログラムの企画
10. 診療ガイドラインおよび教育ガイドラインの検討・作成
11. 会員数増加対策の具体的検討
12. ホームページ管理・運営
13. 市民公開フォーラム開催
14. NPO法人としての活動・対応
15. 「歯科保存専門医制度」の運営
16. その他

8) 2026年度予算(案)の件(村松常任理事)

特定非営利活動法人日本歯科保存学会2026年度予算(案)

(2026年4月1日～2027年3月31日) (単位:円)

| 項目 | | 2026年度予算 | 2025年度予算 | 差 異 | 備 考 |
|------------|--------------|-------------|------------|---|--|
| 入 | 前年度繰越金 | 82,061,561 | 75,100,122 | 6,961,439 | |
| | 年度会費 | 48,941,000 | 49,140,000 | △ 199,000 | |
| | (1)入会金 | 275,000 | 350,000 | △ 75,000 | 1,000円×275名 |
| | (2)本年度会費 | 41,732,000 | 42,441,000 | △ 709,000 | 正会員A 11,000円×4,275名×0.86=40,442,000円、 正会員B 5,000円×300名×0.86=1,290,000円 |
| | (3)過年度会費 | 4,674,000 | 4,149,000 | 525,000 | 130名('23-'25未納者)×29,000円×0.2+140名('24-'25未納者)×20,000円×0.3+350名('25未納者)×11,000円×0.8 |
| | (4)次年度会費 | 360,000 | 300,000 | 60,000 | 年度末入会手続き者 正会員A×30名、正会員B×6名 |
| | (5)賛助会費 | 1,900,000 | 1,900,000 | 0 | |
| | 論文掲載料 | 3,200,000 | 3,200,000 | 0 | (印刷費の30%×0.90)+未収分 |
| | 広告掲載料 | 2,000,000 | 2,000,000 | 0 | 例年実績より(会誌6号分、春季・秋季抄録号) |
| | 日本歯科専門医機構関係費 | 1,600,000 | 1,477,000 | 123,000 | 移行率50% 申請料本人が機構への申請料10,000円の他に受益者負担として10,000円を保存学会に納める場合 |
| 認定歯科衛生士関連費 | 100,000 | 250,000 | △ 150,000 | 申請料 10名 | |
| 日歯学会助成金 | 990,000 | 990,000 | 0 | 日本歯科医学会助成金(2024年度実績:990,000円) | |
| 雑収入 | 1,000,000 | 800,000 | 200,000 | 銀行利息、損保ジャパン集金事務費、出版著作権複写料、学協会著作権複写料、その他 | |
| 小計 | 57,831,000 | 57,857,000 | △ 26,000 | | |
| 合計 | 139,892,561 | 132,957,122 | 6,935,439 | | |

| 項目 | | 2026年度予算 | 2025年度予算 | 差 異 | 備 考 |
|--------------|--------------|-------------|------------|--|--|
| 出 | 次年度春季学会費 | 2,500,000 | 2,500,000 | 0 | 2027年度春季学術大会(第166回) |
| | 次年度秋季学会費 | 2,500,000 | 2,500,000 | 0 | 2027年度秋季学術大会(第167回) |
| | オンデマンド配信費 | 4,000,000 | 4,000,000 | 0 | 2026年度春季(第164回)・秋季(第165回)学術大会 |
| | 雑発 抄録集印刷費 | 3,200,000 | 3,200,000 | 0 | 1,600,000円×2号分 |
| | 誌行 会誌印刷費 | 11,100,000 | 11,100,000 | 0 | 和文誌1,850,000円×4号、英文誌1,850,000円×2号 |
| | 通信連絡費 | 1,500,000 | 1,300,000 | 200,000 | 会費請求、郵送料、市外通話料、FAX代、宅配運賃 |
| | 事務費 | 1,500,000 | 1,500,000 | 0 | 封筒、資料印刷、その他 |
| | 日歯学会分担金 | 150,000 | 150,000 | 0 | 2025年度実績 |
| | 日歯学会連合会費 | 1,450,000 | 1,401,900 | 48,100 | 2025年度実績 |
| | 日本歯科専門医機構年会費 | 300,000 | 300,000 | 0 | 2025年度実績 |
| | 日本歯科専門医機構関係費 | 5,500,000 | 5,500,000 | 0 | 事務委託費、会議・試験運営費(2025年度実績:歯内療法:保存=35:65) |
| | 認定歯科衛生士関連費 | 500,000 | 1,000,000 | △ 500,000 | 審査会開催・試験運営費(1回)、歯科衛生学会での講演料 |
| | 各種委員会費 | 7,600,000 | 7,600,000 | 0 | 常任理事会(4回)340万円、理事会・各種委員会(2回)120万円、各種委員会費:教育問題委員会100万円(模型製作費)、社保小委員会10万円、う蝕治療GL小委員会80万円、学会のあり方委員会20万円 他 |
| | 事務局出張費 | 400,000 | 460,000 | △ 60,000 | 3名(学会事務局2名+編集事務局1名。横浜・松本) |
| | 学会事務局委託費 | 6,270,000 | 6,270,000 | 0 | 522,500円(消費税込み)×12ヶ月 |
| | 英文校閲費 | 800,000 | 660,000 | 140,000 | 和文誌・英文誌の添削料1号あたり110,000円×6号分 |
| | 国際交流費 | 1,400,000 | 1,400,000 | 0 | 大韓歯科保存学会・台湾牙體復形学会・トルコ歯科関連学会との交流費 |
| | 表彰費 | 2,200,000 | 2,100,000 | 100,000 | 学会賞・学術賞・奨励賞賞牌および副賞 |
| | ホームページ運営費 | 620,000 | 615,000 | 5,000 | ホームページ管理・更新費、ドメイン使用料 |
| 市民公開フォーラム開催費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | 運営費 | |
| 関連団体経費 | 300,000 | 300,000 | 0 | 歯学協会費、歯保連会費、その他 | |
| 法人運営費 | 1,800,000 | 1,800,000 | 0 | 税金(法人住民税、法人事業税、国税)、税理士顧問料12ヶ月(396,000円)、法人事務委託費12ヶ月(660,000円)、顧問弁護士料12ヶ月(396,000円) | |
| 予備費 | 200,000 | 200,000 | 0 | その他 | |
| 小計 | 56,790,000 | 56,856,900 | △ 66,900 | | |
| 積立金 | | | | | |
| 会員データ構築費 | 500,000 | 500,000 | 0 | | |
| 特別事業費 | 500,000 | 500,000 | 0 | | |
| 次年度繰越金 | 82,102,561 | 75,100,222 | 7,002,339 | | |
| 合計 | 139,892,561 | 132,957,122 | 6,935,439 | | |

1,041,000 単年度収支

会員データ構築積立金収支予算<案>

自 2026年4月1 日

至 2027年3月31日

単位:円

| 収入の部 | | | 支出の部 | | |
|--------|------------|----|--------|------------|----|
| 科目 | 金額 | 摘要 | 科目 | 金額 | 摘要 |
| 本部会計より | 500,000 | | 本年度支出 | 300,000 | ① |
| 銀行利息 | 20,000 | | | | |
| 前年度繰越金 | 12,881,079 | | 次年度繰越金 | 13,101,079 | |
| 合計 | 13,401,079 | | 合計 | 13,401,079 | |

①バーコード付きカード作製費:300,000円(300枚作製代および200枚発送代)

特別事業費収支予算<案>

自 2026年4月1 日

至 2027年3月31日

単位:円

| 収入の部 | | | 支出の部 | | |
|--------|------------|----|--------|------------|----|
| 科目 | 金額 | 摘要 | 科目 | 金額 | 摘要 |
| 本部会計より | 500,000 | | 本年度支出 | 1,000,000 | ①② |
| 銀行利息 | 35,000 | | | | |
| 前年度繰越金 | 14,776,630 | | 次年度繰越金 | 14,311,630 | |
| 合計 | 15,311,630 | | 合計 | 15,311,630 | |

①第164回春季大会時開催の学会主導型プログラム 500,000円

②第165回秋季大会時開催の学会主導型プログラム 500,000円

特定非営利活動法人日本歯科保存学会認定委員会2026年度予算(案)
(2026年4月1日～2027年3月31日)

単位:円

| 項 目 | 2026年度予算 | 2025年度予算 | 差 異 | 備 考 |
|--------|------------|------------|-------------|--|
| 前年度繰越金 | 32,138,095 | 27,764,109 | 4,373,986 | |
| 認定医申請料 | 800,000 | 700,000 | 100,000 | 10,000×80人(第28回,第29回) |
| 認定医審査料 | 1,600,000 | 1,400,000 | 200,000 | 20,000×80人(第28回,第29回) |
| 認定医登録料 | 800,000 | 700,000 | 100,000 | 10,000×80人(第27回,第28回) |
| 上級医申請料 | 0 | 100,000 | △ 100,000 | 2026年度より受付停止 |
| 上級医審査料 | 0 | 300,000 | △ 300,000 | 2026年度より受付停止 |
| 上級医登録料 | 500,000 | 100,000 | 400,000 | 10,000×50人(2025年度受付者分) |
| 指導医申請料 | 50,000 | 100,000 | △ 50,000 | 10,000×5人 |
| 指導医審査料 | 150,000 | 300,000 | △ 150,000 | 30,000×5人 |
| 指導医登録料 | 50,000 | 100,000 | △ 50,000 | 10,000×5人 |
| 認定医更新料 | 1,100,000 | 1,100,000 | 0 | 10,000×110名(第7回・第8回・第20回・第21回:上級医取得者は除く) |
| 上級医更新料 | 1,000,000 | 2,090,000 | △ 1,090,000 | 10,000×100人(第10回,第11回,第22回,第23回,第29回,第30回,第39回,第40回,第49回,第50回,第58回,第59回:歯科保存専門医移行者は除く) |
| 指導医更新料 | 100,000 | 570,000 | △ 470,000 | 10,000×10人(歯科保存専門医移行者は除く) |
| 雑収入 | 5,000 | 3,000 | 2,000 | 銀行利息、認定証・カード再発行料 |
| 小 計 | 6,155,000 | 7,563,000 | △ 1,408,000 | |
| 合 計 | 38,293,095 | 35,327,109 | 2,965,986 | |

| 項 目 | 2026年度予算 | 2025年度予算 | 差 異 | 備 考 |
|-------------|------------|------------|-------------|-----------------------------|
| 会 議 費 | 1,000,000 | 1,900,000 | △ 900,000 | 委員会費、試験運営費 |
| 研 修 会 費 | 500,000 | 500,000 | 0 | 第166回、第167回大会時 |
| 事 務 印 刷 費 | 1,000,000 | 1,400,000 | △ 400,000 | 申請書、認定証、研修記録簿、資料作成費 |
| 事 務 消 耗 品 費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 文具代 |
| 通 信 費 | 500,000 | 500,000 | 0 | 振込料、TEL・FAX代、切手・宅配便代、認定証送送料 |
| 事 務 委 託 費 | 1,836,000 | 1,835,460 | 540 | 152,955円×12ヶ月分(消費税含む) |
| 認定委員会積立金 | 500,000 | 500,000 | 0 | |
| 予 備 費 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 小 計 | 5,536,000 | 6,835,460 | △ 1,299,460 | |
| 次年度繰越金 | 32,757,095 | 28,491,649 | 4,265,446 | 三菱UFJ銀行(普)、郵便振替 |
| 合 計 | 38,293,095 | 35,327,109 | 2,965,986 | |

2026年度 特定非営利活動法人日本歯科保存学会
認定委員会積立金収支予算(案)

自 2026年4月 1日
至 2027年3月31日

単位:円

| 収 入 の 部 | | | 支 出 の 部 | | |
|-----------|------------|---------|---------|------------|-----|
| 科 目 | 金 額 | 摘 要 | 科 目 | 金 額 | 摘 要 |
| 認定委員会会計より | 500,000 | 本年度積立金分 | 本年度支出 | 1,200,000 | ① |
| 銀行利息 | 10,000 | | | | |
| 前年度繰越金 | 12,298,738 | | 次年度繰越金 | 11,608,738 | |
| 合 計 | 12,808,738 | | 合 計 | 12,808,738 | |

<支出内訳>

①DNI研修単位管理システム業務委託費・年間保守管理費・出張費

収 支 予 算 書

(第24期)

自 令和8年4月1日
至 令和9年3月31日

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

東京都豊島区駒込1丁目43番9号

収支予算書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

(単位:円)

| | 科 目 | 予算額 | 前年度予算額 | 増減 | 備考 |
|----|------------------|-------------|-------------|-------------|----|
| 1 | I 事業活動収支の部 | | | | |
| 2 | 事業活動収入 | | | | |
| 3 | 会費収入 | 48,941,000 | 49,140,000 | △ 199,000 | |
| 4 | 入会金収入 | 275,000 | 350,000 | △ 75,000 | |
| 5 | 会費収入 | 46,766,000 | 46,890,000 | △ 124,000 | |
| 6 | 法人会費収入 | 1,900,000 | 1,900,000 | 0 | |
| 7 | 事業収入 | 13,050,000 | 14,487,000 | △ 1,437,000 | |
| 8 | 論文掲載料収入 | 3,200,000 | 3,200,000 | 0 | |
| 9 | 広告掲載料収入 | 2,000,000 | 2,000,000 | 0 | |
| 10 | 日本歯科専門医機構関係費収入 | 1,600,000 | 1,477,000 | 123,000 | |
| 11 | 認定委員会事業収入 | 6,150,000 | 7,560,000 | △ 1,410,000 | |
| 12 | 認定歯科衛生士関連収入 | 100,000 | 250,000 | △ 150,000 | |
| 13 | 補助金等収入 | 990,000 | 990,000 | 0 | |
| 14 | 日本歯科医学会助成金 | 990,000 | 990,000 | 0 | |
| 15 | 雑収入 | 1,070,000 | 804,000 | 266,000 | |
| 16 | 利息収入 | 70,000 | 4,000 | 66,000 | |
| 17 | 雑収入 | 1,000,000 | 800,000 | 200,000 | |
| 18 | 事業活動収入計 | 64,051,000 | 65,421,000 | △ 1,370,000 | |
| 19 | 事業活動支出 | | | | |
| 20 | 事業費支出 | 56,537,000 | 60,923,860 | △ 4,386,860 | |
| 21 | 春季・秋季学会費支出 | 5,000,000 | 5,000,000 | 0 | |
| 22 | 春秋季学会オンデマンド配信費支出 | 4,000,000 | 4,000,000 | 0 | |
| 23 | 会誌発行費支出 | 14,300,000 | 14,300,000 | 0 | |
| 24 | 日歯学会分担金支出 | 150,000 | 150,000 | 0 | |
| 25 | 日歯学会連合会費支出 | 1,450,000 | 1,401,900 | 48,100 | |
| 26 | 日本歯科専門医機構年会費支出 | 300,000 | 300,000 | 0 | |
| 27 | 日本歯科専門医機構関係費支出 | 5,500,000 | 5,500,000 | 0 | |
| 28 | 認定衛生士関連支出 | 500,000 | 1,000,000 | △ 500,000 | |
| 29 | 各種委員会費支出 | 2,900,000 | 2,900,000 | 0 | |
| 30 | 事務局出張費支出 | 400,000 | 460,000 | △ 60,000 | |
| 31 | 学会事務局委託費支出 | 5,643,000 | 5,643,000 | 0 | |
| 32 | 英文校閲費支出 | 800,000 | 660,000 | 140,000 | |
| 33 | 国際交流費支出 | 1,400,000 | 1,400,000 | 0 | |
| 34 | 表彰費支出 | 2,200,000 | 2,100,000 | 100,000 | |
| 35 | ホームページ運営費支出 | 558,000 | 553,500 | 4,500 | |
| 36 | 市民公開フォーラム開催費支出 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | |
| 37 | 関連団体経費支出 | 300,000 | 300,000 | 0 | |
| 38 | 通信運搬費支出 | 1,350,000 | 1,170,000 | 180,000 | |
| 39 | 事務費支出 | 1,350,000 | 1,350,000 | 0 | |
| 40 | 認定委員会事業費支出 | 6,136,000 | 7,435,460 | △ 1,299,460 | |
| 41 | 会員データ構築事業費支出 | 300,000 | 300,000 | 0 | |
| 42 | 特別事業費支出 | 1,000,000 | 4,000,000 | △ 3,000,000 | |
| 43 | 管理費支出 | 7,489,000 | 7,468,500 | 20,500 | |
| 44 | 各種委員会費支出 | 4,700,000 | 4,700,000 | 0 | |
| 45 | 学会事務局委託費支出 | 627,000 | 627,000 | 0 | |
| 46 | ホームページ運営費支出 | 62,000 | 61,500 | 500 | |
| 47 | 通信運搬費支出 | 150,000 | 130,000 | 20,000 | |
| 48 | 事務費支出 | 150,000 | 150,000 | 0 | |
| 49 | 法人運営費支出 | 1,800,000 | 1,800,000 | 0 | |
| 50 | 事業活動支出計 | 64,026,000 | 68,392,360 | △ 4,366,360 | |
| 51 | 事業活動収支差額 | 25,000 | △ 2,971,360 | 2,996,360 | |
| 52 | II 投資活動収支の部 | | | | |
| 53 | 投資活動収入 | | | | |
| 54 | 積立金取崩収入 | 1,500,000 | 1,500,000 | 0 | |
| 55 | 会員データ積立金取崩収入 | 500,000 | 500,000 | 0 | |
| 56 | 特別事業積立金取崩収入 | 500,000 | 500,000 | 0 | |
| 57 | 認定委員会積立金取崩収入 | 500,000 | 500,000 | 0 | |
| 58 | 投資活動収入計 | 1,500,000 | 1,500,000 | 0 | |
| 59 | 投資活動支出 | | | | |
| 60 | 積立金繰入支出 | 1,500,000 | 1,500,000 | 0 | |
| 61 | 会員データ積立金繰入支出 | 500,000 | 500,000 | 0 | |
| 62 | 特別事業積立金繰入支出 | 500,000 | 500,000 | 0 | |
| 63 | 認定委員会積立金繰入支出 | 500,000 | 500,000 | 0 | |
| 64 | 投資活動支出計 | 1,500,000 | 1,500,000 | 0 | |
| 65 | 投資活動収支差額 | 0 | 0 | 0 | |
| 66 | III 予備費支出 | 300,000 | 300,000 | 0 | |
| 67 | 当期収支差額 | △ 275,000 | △ 3,271,360 | 2,996,360 | |
| 68 | 前期繰越収支差額 | 154,156,103 | 148,016,123 | 6,139,980 | |
| 69 | 次期繰越収支差額 | 153,881,103 | 144,744,763 | 9,136,340 | |

9) 学会認定医・上級医英語表記について(諸富委員長)
認定委員会資料をご参照ください。

10) Cons Asia (アジア保存歯科学会) への加入について(齋藤委員長)
国際交流委員会資料をご参照ください。